
羽曳野市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 圏域、年齢、性別	2
(2) 認定・該当状況別	2
(3) 回答の記入者	3
3. ご家族や生活状況について	4
(1) 家族構成	4
(2) 暮らし・住まいの状況	5
① 介護・介助の必要性	5
② 主な介護者	8
③ 経済状況	9
4. からだを動かすことについて	10
(1) 運動・転倒の状況	10
◆運動器の機能低下リスク	14
◆転倒リスク	15
(2) 外出の状況	16
① 外出の頻度	16
◆閉じこもりのリスク	17
② 外出を控えているか	20
③ 外出の際の移動手段	22
④ 運動習慣	24
5. 食べることについて	27
(1) 口腔	27
① 口内の健康状態	27
◆口腔機能の低下リスク	29
② 歯の状況	30
(2) 栄養	34
① 体重の状況	34
◆栄養改善のリスク	34

◆低栄養のリスクの判定	36
② 孤食の状況	37
6. 毎日の生活について	39
(1) 物忘れ	39
◆認知機能の低下リスク	40
(2) IADL の状況	42
(3) 社会との関わり	45
(4) 活動への参加状況について	53
(5) 地域活動づくりへの参加意向	62
7. たすけあいについて	64
(1) 周囲との相互の関係	64
◆たすけあい合計点	68
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	69
(3) 友人・知人との関係性	70
8. 健康について	73
(1) 健康状態	73
① 主観的な健康感	73
② こころの健康	74
◆うつリスク	76
(2) 飲酒・喫煙	77
(3) 病気の状況	79
(4) 健康管理	81
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について	84
(1) 認知症の症状の有無	84
(2) 認知症の相談窓口の周知状況	88
10. 高齢者の暮らしについて	95
11. 調査結果のまとめ	108

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、高齢者の生活の状況や心身の状態などについて把握し、リスクや社会参加状況を分析します。第9期高年者いきいき計画の策定に向けての基礎資料として、地域課題の抽出を行い、求められる介護予防事業や、地域包括ケアシステム構築などの推進に活用します。

(2) 調査の実施について

対象者	令和5年1月1日現在、羽曳野市内にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く) 3,300名
実施期間	令和5年1月18日(水)～令和5年2月10日(金)
実施方法	郵送配布、郵送回収(回収率向上のための礼状兼督促はがきを送付)

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
3,300件	2,603件	2,552件	77.3%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

2. 回答者の属性

(1) 圏域、年齢、性別

単位：％

		母数 (n)	圏域		
			東	中	西
全体		2,552	33.2	30.5	36.4
性別	男性	1,127	34.0	30.4	35.6
	女性	1,425	32.5	30.5	37.0
年齢	前期高齢者	1,234	33.5	28.6	37.9
	後期高齢者	1,318	32.9	32.2	34.9
年齢	65～69歳	550	33.3	29.1	37.6
	70～74歳	684	33.6	28.2	38.2
	75～79歳	596	35.7	29.9	34.4
	80～84歳	462	30.3	32.9	36.8
	85歳以上	260	30.8	36.5	32.7
性・年齢	男性 前期高齢者	553	34.4	27.8	37.8
	後期高齢者	574	33.6	32.9	33.4
	女性 前期高齢者	681	32.7	29.2	38.0
	後期高齢者	744	32.3	31.7	36.0

単位：％

		母数 (n)	小学校区													
			は び きの 埴 生 (前)	羽 曳 が 丘	駒 ヶ 谷	恵 我 之 荘	古 市	古 市 南	高 鷺	高 鷺 南	高 鷺 北	埴 生 南	西 浦	西 浦 東	丹 比	白 鳥
全体		2,552	6.6	11.9	2.8	7.1	8.9	6.5	5.2	10.9	6.4	12.0	5.8	4.2	6.7	4.9
性別	男性	1,127	5.9	11.6	2.8	8.0	8.3	6.7	4.3	10.7	6.1	13.0	5.8	5.1	6.5	5.4
	女性	1,425	7.2	12.1	2.8	6.5	9.4	6.3	6.0	11.1	6.6	11.3	5.9	3.6	6.9	4.5
年齢	前期高齢者	1,234	5.5	10.4	2.4	7.8	8.8	6.2	5.7	11.7	5.9	12.7	6.9	4.4	6.9	4.9
	後期高齢者	1,318	7.6	13.3	3.2	6.5	9.0	6.8	4.8	10.2	6.8	11.4	4.9	4.1	6.5	4.9
年齢	65～69歳	550	4.9	11.8	1.6	8.4	9.8	6.5	4.7	12.4	5.3	12.4	6.5	3.8	6.9	4.9
	70～74歳	684	6.0	9.2	2.9	7.3	8.0	5.8	6.4	11.1	6.4	13.0	7.2	4.8	6.9	4.8
	75～79歳	596	6.5	11.6	3.0	6.7	10.6	6.9	4.4	10.1	5.5	11.7	5.9	4.7	7.7	4.7
	80～84歳	462	8.7	14.1	2.4	7.1	6.3	7.8	5.6	10.6	8.2	10.2	5.2	3.7	5.2	5.0
	85歳以上	260	8.1	15.8	5.0	5.0	10.4	4.6	4.2	10.0	7.3	12.7	1.9	3.5	6.2	5.4
性・年齢	男性前期高齢者	553	5.2	9.2	2.7	10.1	8.0	7.1	4.9	11.6	4.9	13.4	6.7	5.1	6.3	4.9
	後期高齢者	574	6.4	13.9	2.8	5.9	8.7	6.3	3.7	9.9	7.3	12.5	4.9	5.1	6.6	5.9
	女性前期高齢者	681	5.7	11.3	2.1	5.9	9.5	5.4	6.3	11.7	6.8	12.2	7.0	3.8	7.3	4.8
	後期高齢者	744	8.5	12.8	3.5	7.0	9.3	7.1	5.6	10.5	6.5	10.5	4.8	3.4	6.5	4.2

(2) 認定・該当状況別

単位：％

		母数 (n)	認定該当状況			
			(一 般 高 齢 者 自 立)	事 業 対 象 者	要 支 援 1	要 支 援 2
全体		2,552	92.9	0.2	4.3	2.6
性・年齢	男性 前期高齢者	553	98.6	0.2	0.5	0.7
	後期高齢者	574	90.8	0.2	6.3	2.8
	女性 前期高齢者	681	98.2	0.1	0.9	0.7
	後期高齢者	744	85.5	0.4	8.6	5.5
圏域	東	846	94.3	0.4	3.1	2.2
	中	778	92.4	0.1	5.0	2.4
	西	928	92.0	0.2	4.7	3.0
小学校区	はびきの埴生（前）	168	94.6	0.6	2.4	2.4
	羽曳が丘	303	91.4	—	6.3	2.3
	駒ヶ谷	71	95.8	1.4	1.4	1.4
	恵我之荘	182	94.5	0.5	4.4	0.5
	古市	228	92.5	0.4	3.5	3.5
	古市南	165	93.3	0.6	5.5	0.6
	高鷺	133	88.7	—	5.3	6.0
	高鷺南	279	91.0	0.4	5.4	3.2
	高鷺北	163	92.0	—	4.9	3.1
	埴生南	307	92.2	—	5.2	2.6
	西浦	149	98.0	—	1.3	0.7
	西浦東	108	96.3	—	1.9	1.9
	丹比	171	93.6	—	3.5	2.9
	白鳥	125	92.0	—	3.2	4.8

(3) 回答の記入者

単位：％

		母数 (n)	記入者					
			あて名のご本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	調査対象者のケアマネジャー	その他	無回答
全体		2,552	85.7	3.5	0.9	0.0	0.7	9.2
性・年齢	男性 前期高齢者	553	89.7	2.2	0.5	—	1.3	6.3
	後期高齢者	574	79.3	5.2	1.6	—	0.9	13.1
	女性 前期高齢者	681	90.5	0.9	0.7	—	0.3	7.6
	後期高齢者	744	83.3	5.5	0.9	0.1	0.4	9.7
圏域	東	846	85.0	4.6	0.5	—	0.5	9.5
	中	778	85.6	2.7	1.4	—	0.5	9.8
	西	928	86.4	3.1	1.0	0.1	1.0	8.4
認定該当状況	一般高齢者	2,371	86.9	2.7	0.8	—	0.7	8.9
	総合事業対象者	6	△100.0	—	—	—	—	—
	要支援 1・2	175	▼ 69.1	△ 14.3	3.4	0.6	—	12.6

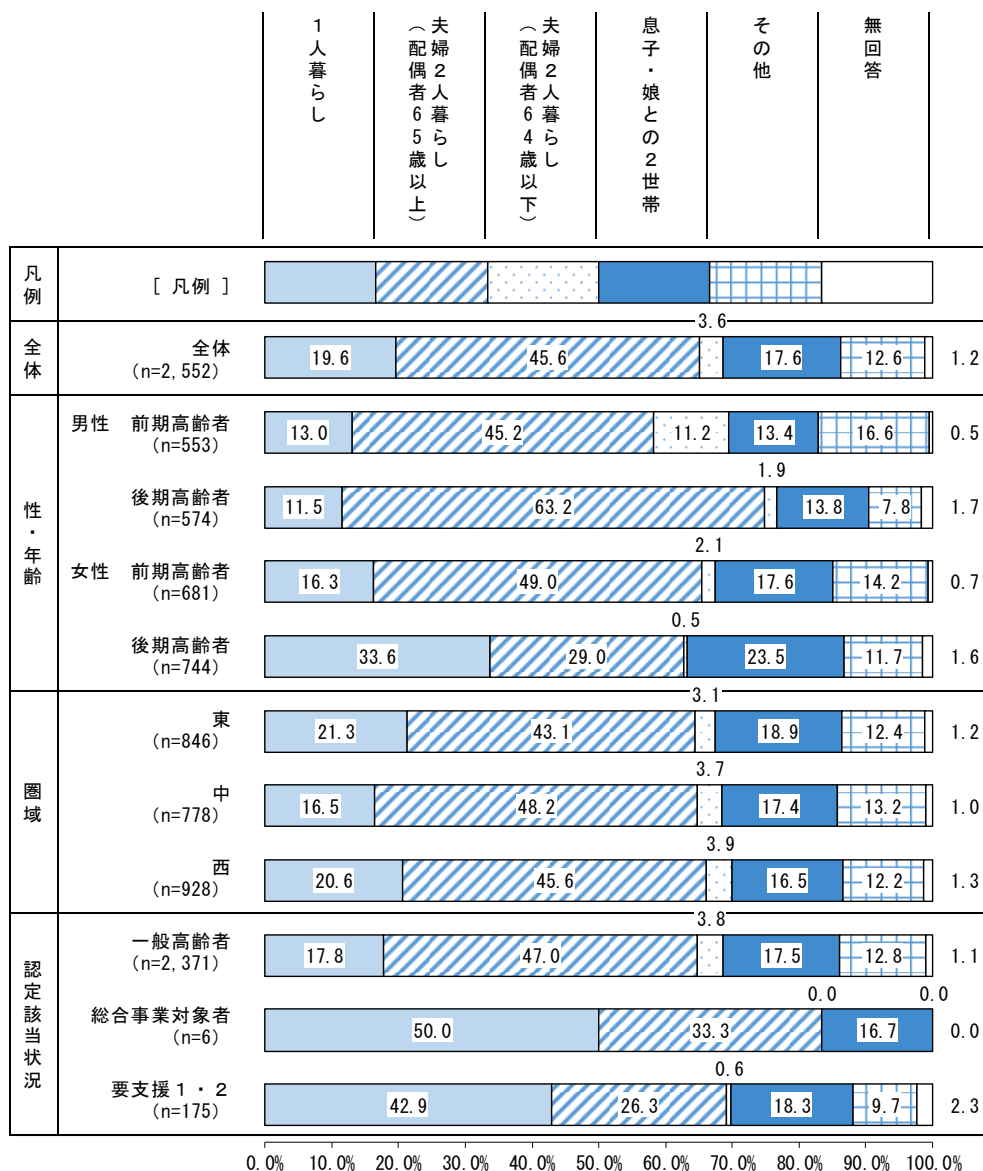
3. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問1.1 家族構成をお教えてください。(1つに○)

【全体】	
○	家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 45.6%で最も多く、次いで「1人暮らし」が 19.6%、「息子・娘との2世帯」が 17.6%となっています。
【性・年齢】	
○	「1人暮らし」は女性 後期高齢者が 33.6%と他の区分に比べて多くなっています。
○	「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」は男性 後期高齢者が 63.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
【圏域】	
○	「1人暮らし」は中が 16.5%と他の圏域に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】	
○	要支援1・2では、「1人暮らし」が 42.9%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 26.3%、「息子・娘との2世帯」が 18.3%となっています。

【家族構成】



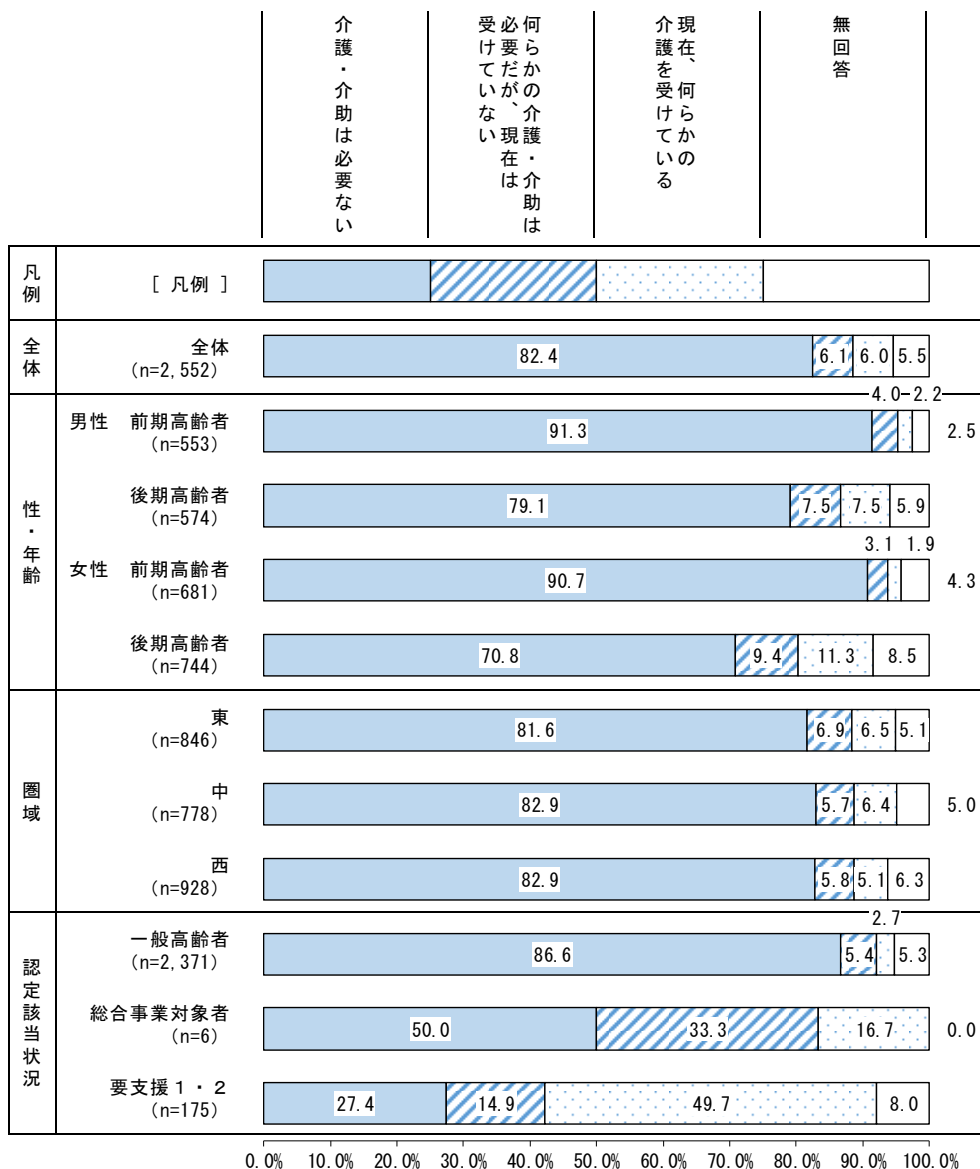
(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

【全体】
○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が82.4%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が6.0%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2では、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が14.9%となっています。

【介護・介助の必要性】

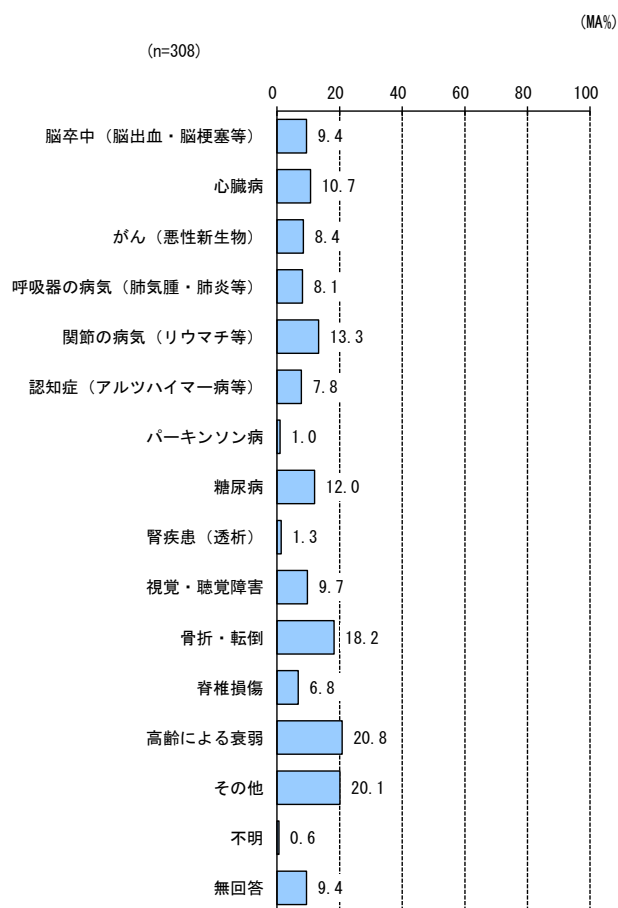


●問1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

【全体】

○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が20.8%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が18.2%、「関節の病気（リウマチ等）」が13.3%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因 (MA)】



【性・年齢】

- 男性 前期高齢者では、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「関節の病気（リウマチ等）」が20.6%で最も多く、次いで「がん（悪性新生物）」が17.6%、「認知症（アルツハイマー病等）」「糖尿病」が11.8%となっています。
- 「関節の病気（リウマチ等）」は男性 後期高齢者が4.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「視覚・聴覚障害」は男性 後期高齢者が16.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「骨折・転倒」は男性 前期高齢者が2.9%と他の区分に比べて少なくなっている一方で、女性 後期高齢者は27.3%と多くなっています。

【圏域】

- 「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」は東が15.0%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「糖尿病」は東が8.0%と他の圏域に比べて少なくなっています。
- 「骨折・転倒」は西が22.8%と他の圏域に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病
	全体	308	9.4	10.7	8.4	8.1	13.3	7.8	1.0	12.0
性・年齢	男性 前期高齢者	34	△ 20.6	8.8	17.6	8.8	20.6	11.8	5.9	11.8
	後期高齢者	86	10.5	15.1	12.8	10.5	4.7	9.3	-	14.0
	女性 前期高齢者	34	11.8	11.8	11.8	5.9	11.8	-	2.9	8.8
	後期高齢者	154	5.8	8.4	3.2	7.1	16.9	7.8	-	11.7
圏域	東	113	12.4	13.3	9.7	15.0	12.4	8.8	0.9	8.0
	中	94	8.5	8.5	8.5	3.2	10.6	5.3	1.1	16.0
	西	101	6.9	9.9	6.9	5.0	16.8	8.9	1.0	12.9
認定該当状況	一般高齢者	192	9.4	9.9	11.5	6.3	9.4	9.9	1.0	11.5
	総合事業対象者	3	-	△ 33.3	-	△ 33.3	△ 66.7	-	-	-
	要支援1・2	113	9.7	11.5	3.5	10.6	18.6	4.4	0.9	13.3

単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		308	1.3	9.7	18.2	6.8	20.8	20.1	0.6	9.4
性・年齢	男性 前期高齢者	34	2.9	5.9	▼ 2.9	5.9	▼ 5.9	23.5	-	8.8
	後期高齢者	86	2.3	16.3	10.5	7.0	24.4	16.3	2.3	7.0
	女性 前期高齢者	34	2.9	2.9	11.8	-	11.8	17.6	-	14.7
	後期高齢者	154	-	8.4	27.3	8.4	24.0	22.1	-	9.7
	圏域	東	113	1.8	10.6	14.2	5.3	20.4	16.8	0.9
	中	94	1.1	9.6	18.1	5.3	21.3	22.3	-	8.5
	西	101	1.0	8.9	22.8	9.9	20.8	21.8	1.0	11.9
認定該当状況	一般高齢者	192	1.6	8.9	12.0	7.3	18.8	20.3	0.5	12.5
	総合事業対象者	3	-	-	△ 33.3	-	△ 66.7	33.3	-	-
	要支援1・2	113	0.9	11.5	△ 28.3	6.2	23.0	19.5	0.9	4.4

② 主な介護者

●問1.2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

【全体】

- 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」「介護サービスのヘルパー」が 27.6%で最も多く、次いで「娘」が 27.0%、「息子」が 22.4%となっています。

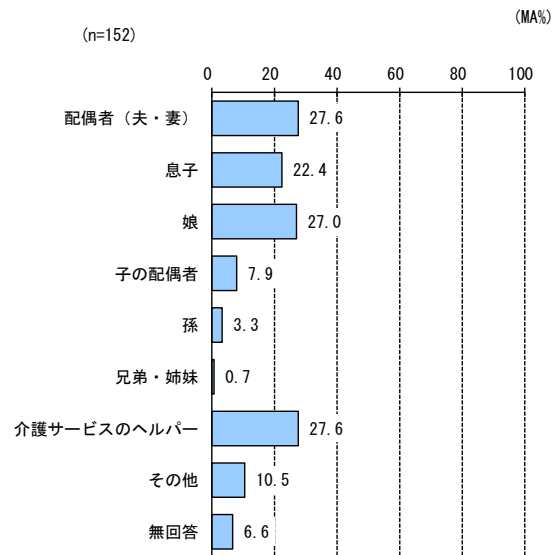
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者（夫・妻）」が多くなっています。一方で、女性では「介護サービスのヘルパー」が多くなっています。

【家族構成】

- 「配偶者（夫・妻）」は夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）が 63.8%、夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）が 80.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「介護サービスのヘルパー」は 1 人暮らしが 61.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護者 (MA)】



単位：%

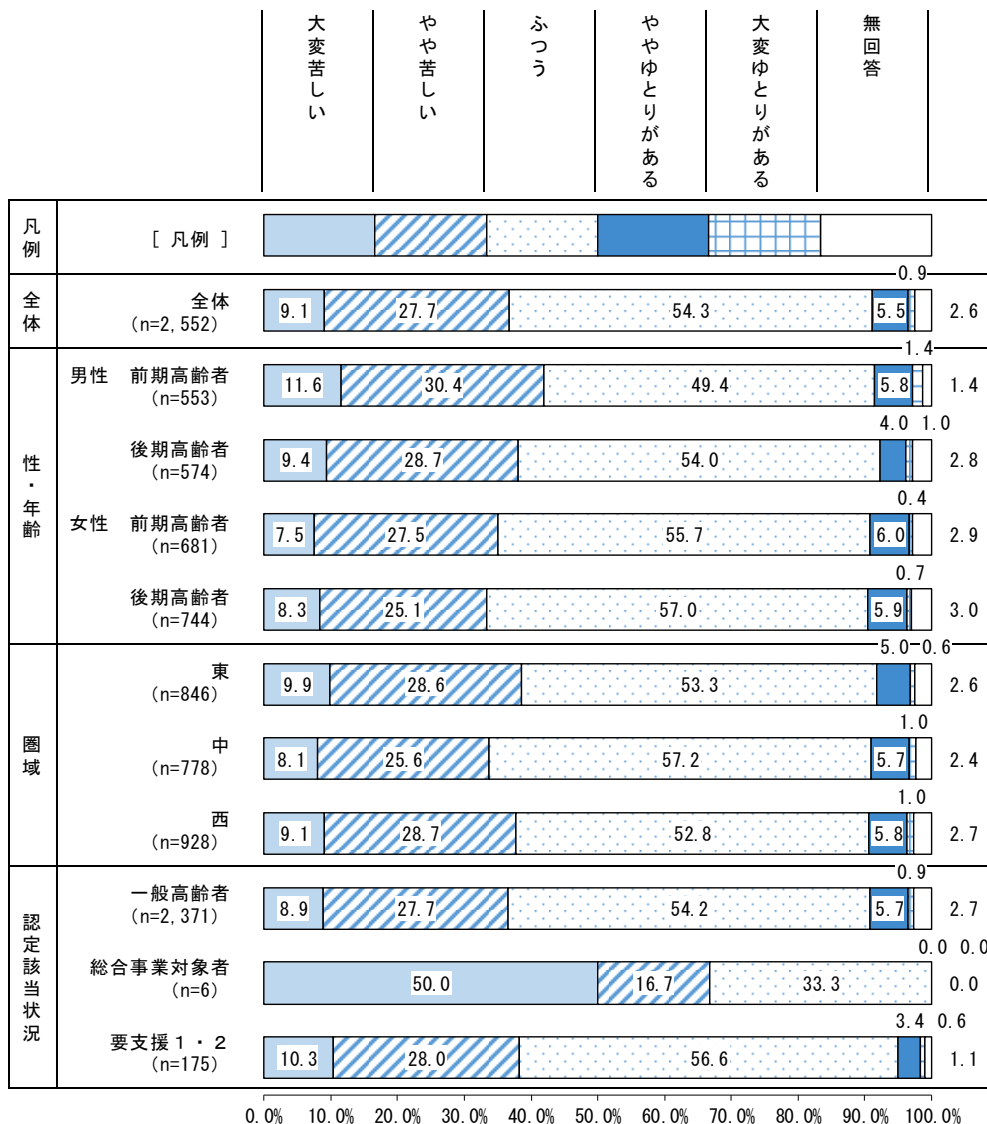
		母数 (n)	主な介護者 (MA)									単位：%
			配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その他	無回 答	
全体		152	27.6	22.4	27.0	7.9	3.3	0.7	27.6	10.5	6.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	12	△ 50.0	25.0	25.0	8.3	-	-	▼ 8.3	25.0	-	
	後期高齢者	43	△ 51.2	▼ 9.3	▼ 11.6	-	2.3	-	25.6	14.0	4.7	
	女性 前期高齢者	13	△ 38.5	▼ 7.7	23.1	-	-	7.7	23.1	7.7	23.1	
	後期高齢者	84	▼ 10.7	31.0	35.7	13.1	4.8	-	32.1	7.1	6.0	
圏域	東	55	29.1	23.6	21.8	5.5	-	-	21.8	10.9	9.1	
	中	50	32.0	14.0	32.0	12.0	2.0	-	32.0	10.0	4.0	
	西	47	21.3	29.8	27.7	6.4	8.5	2.1	29.8	10.6	6.4	
認定該当状況	一般高齢者	64	37.5	26.6	25.0	9.4	3.1	1.6	▼ 6.3	12.5	7.8	
	総合事業対象者	1	-	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	要支援 1・2	87	20.7	18.4	28.7	6.9	3.4	-	△ 43.7	9.2	5.7	
家族構成	1人暮らし	47	-	27.7	25.5	2.1	4.3	2.1	△ 61.7	12.8	6.4	
	夫婦 2人暮らし（配偶者65歳以上）	47	△ 63.8	▼ 4.3	▼ 14.9	2.1	-	-	▼ 17.0	8.5	10.6	
	夫婦 2人暮らし（配偶者64歳以下）	5	△ 80.0	-	20.0	-	-	-	-	40.0	-	
	息子・娘との2世帯	35	▼ 14.3	△ 37.1	△ 45.7	△ 25.7	5.7	-	▼ 5.7	2.9	2.9	
	その他	18	▼ 16.7	△ 33.3	27.8	5.6	5.6	-	▼ 16.7	16.7	5.6	

③ 経済状況

●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

【全体】	
○	経済状況について、「ふつう」が54.3%で最も多く、次いで「やや苦しい」が27.7%、「大変苦しい」が9.1%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は36.8%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“苦しい方”が多くなっています。

【経済状況】



4. からだを動かすことについて

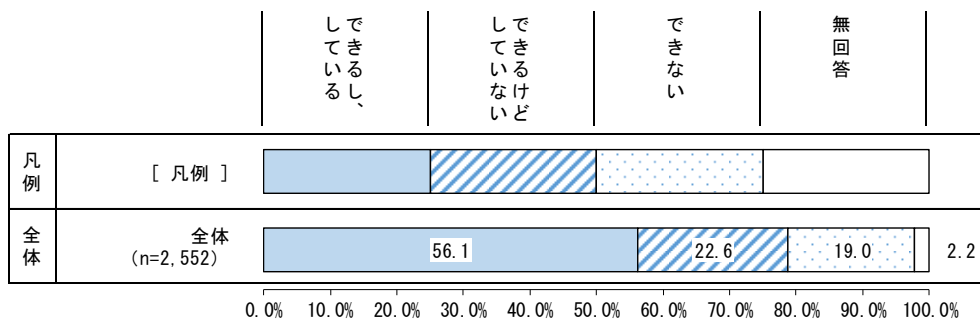
(1) 運動・転倒の状況

●問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

【全体】

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が56.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が22.6%、「できない」が19.0%となっています。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】

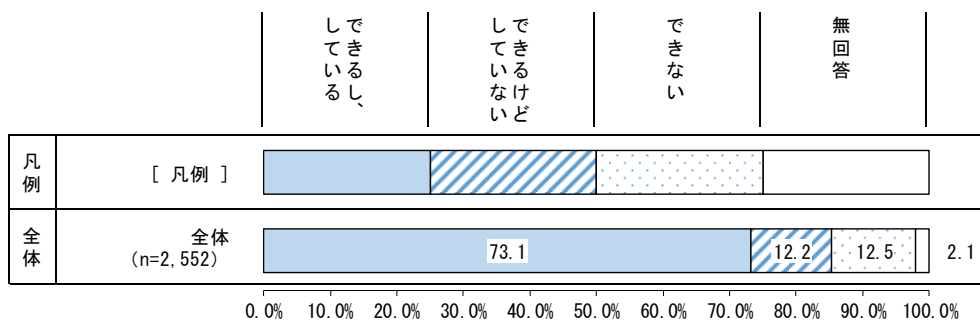


●問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

【全体】

- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が73.1%で最も多く、次いで「できない」が12.5%、「できるけどしていない」が12.2%となっています。

【椅子に座った状態からの立ち上がり】



●問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

【全体】

- 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が74.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.5%、「できない」が8.2%となっています。

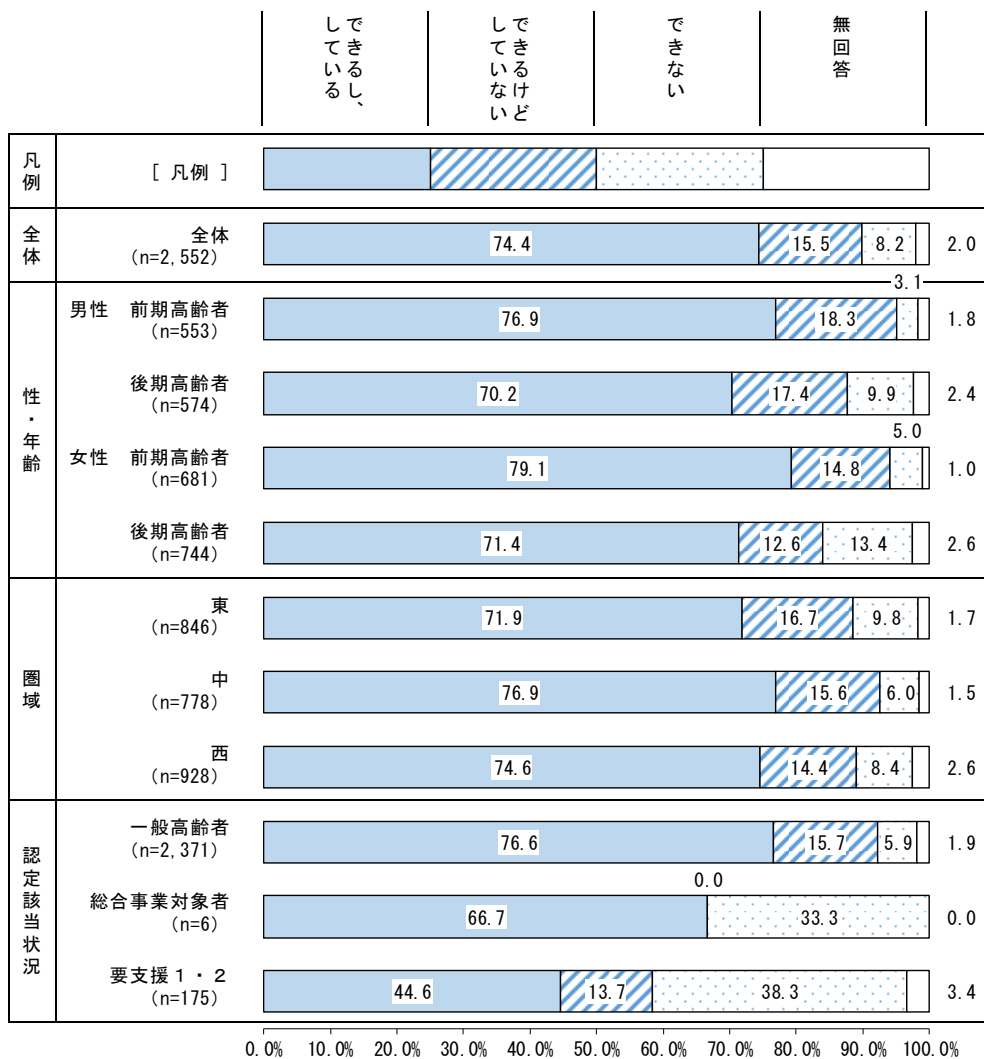
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。
- 「できない」は女性 後期高齢者が13.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「できるし、している」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が少なくなっています。

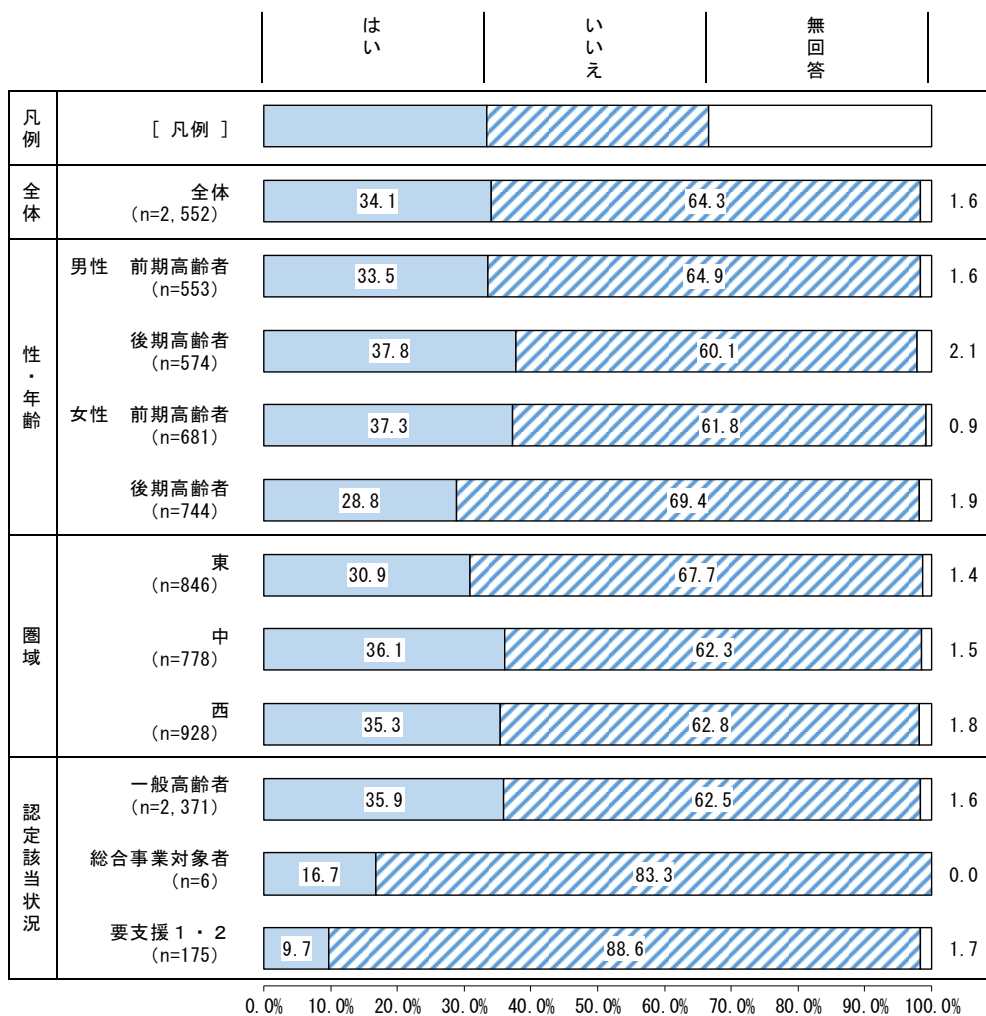
【15分位続けての歩行】



- 問2.4 1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますか。
(1つに○)

【全体】	
○	30分以上の汗をかく運動について、「はい」が34.1%、「いいえ」が64.3%となっています。
【性・年齢】	
○	「はい」は女性 後期高齢者が28.8%と他の区分に比べて少なくなっている一方で、男性 後期高齢者が37.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】	
○	「はい」は東が30.9%と他の圏域に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】	
○	「はい」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が少なくなっています。

【30分以上の汗をかく運動】

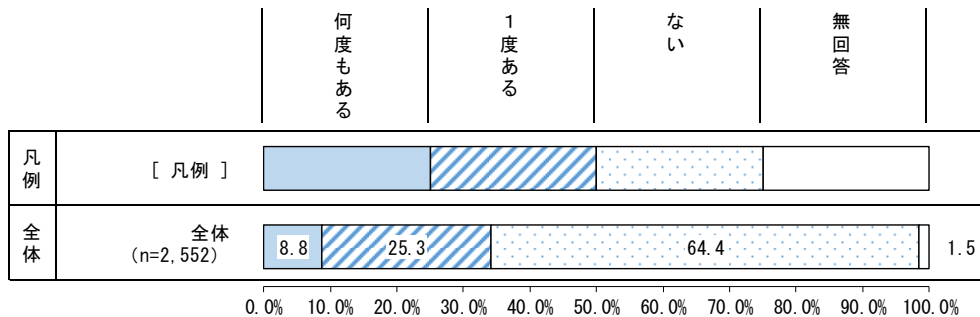


●問2.5 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

【全体】

○ 転倒経験について、「ない」が64.4%で最も多く、次いで「1度ある」が25.3%、「何度もある」が8.8%となっています。

【転倒経験】

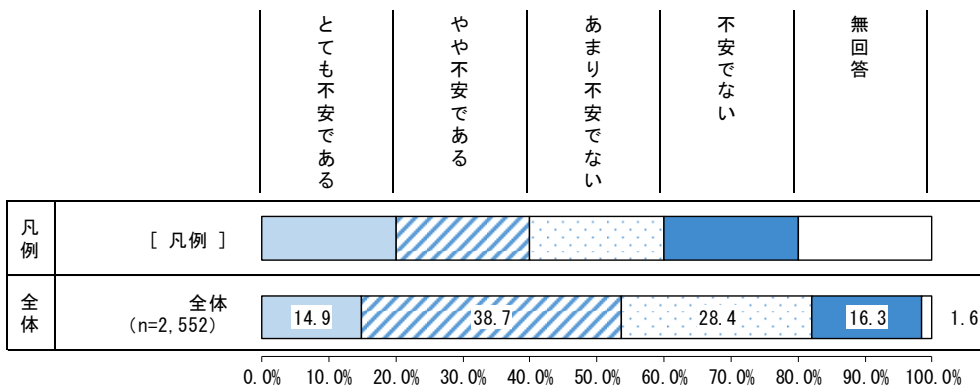


●問2.6 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

【全体】

○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が38.7%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が28.4%、「不安でない」が16.3%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安な方”は53.6%となっています。

【転倒に対する不安】



◆運動器の機能低下リスク

●運動器の機能低下リスクの判定方法

以下の設問に対して 5 問中 3 問以上該当する場合は、運動器の機能低下リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15 分位続けて歩いていますか	できない
過去 1 年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1 度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／やや不安である

【全体】

- 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が 16.5%、「非該当」が 83.5%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。特に、女性では 28.6%と他の区分に比べて多くなっています。

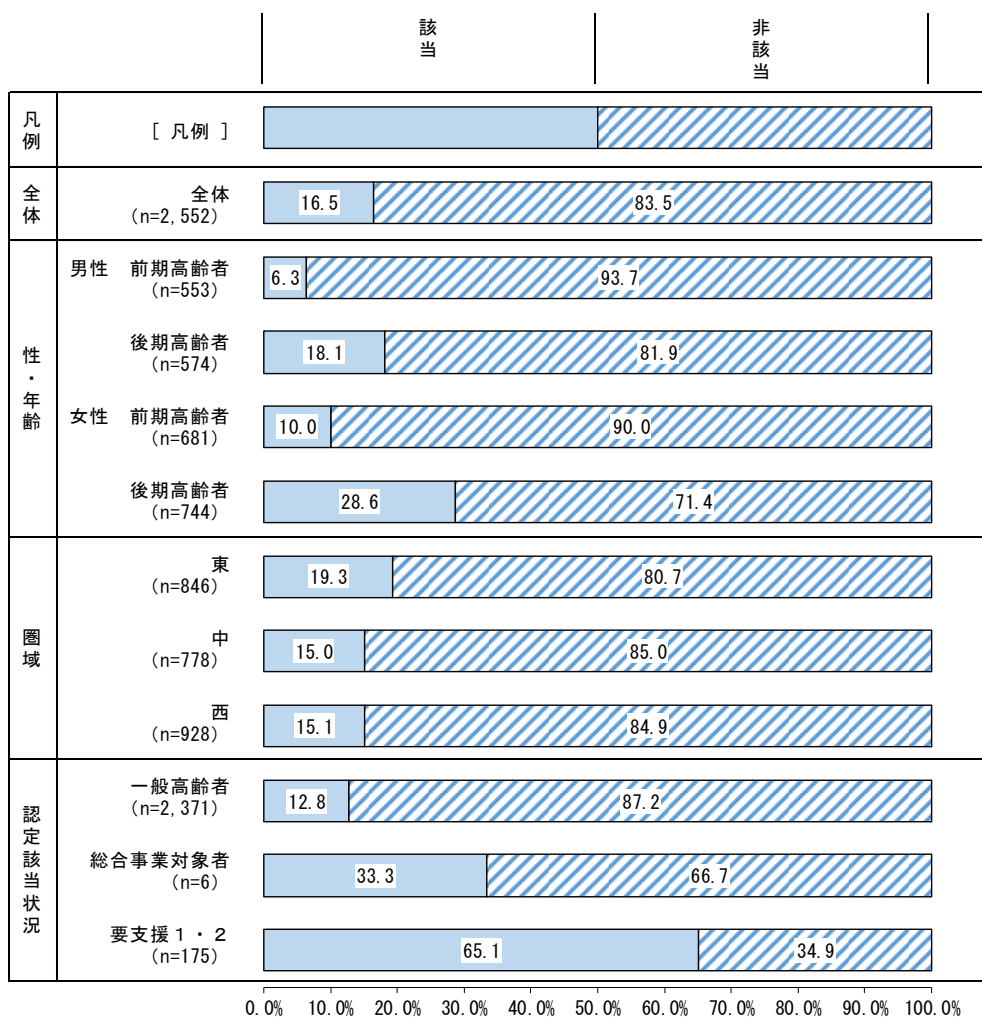
【圏域】

- 「該当」は東が 19.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「該当」は一般高齢者に比べて、要支援 1・2の方が多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】



◆転倒リスク

●転倒リスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

【全体】

○ 転倒リスクについて、「該当」が34.1%、「非該当」が65.9%となっています。

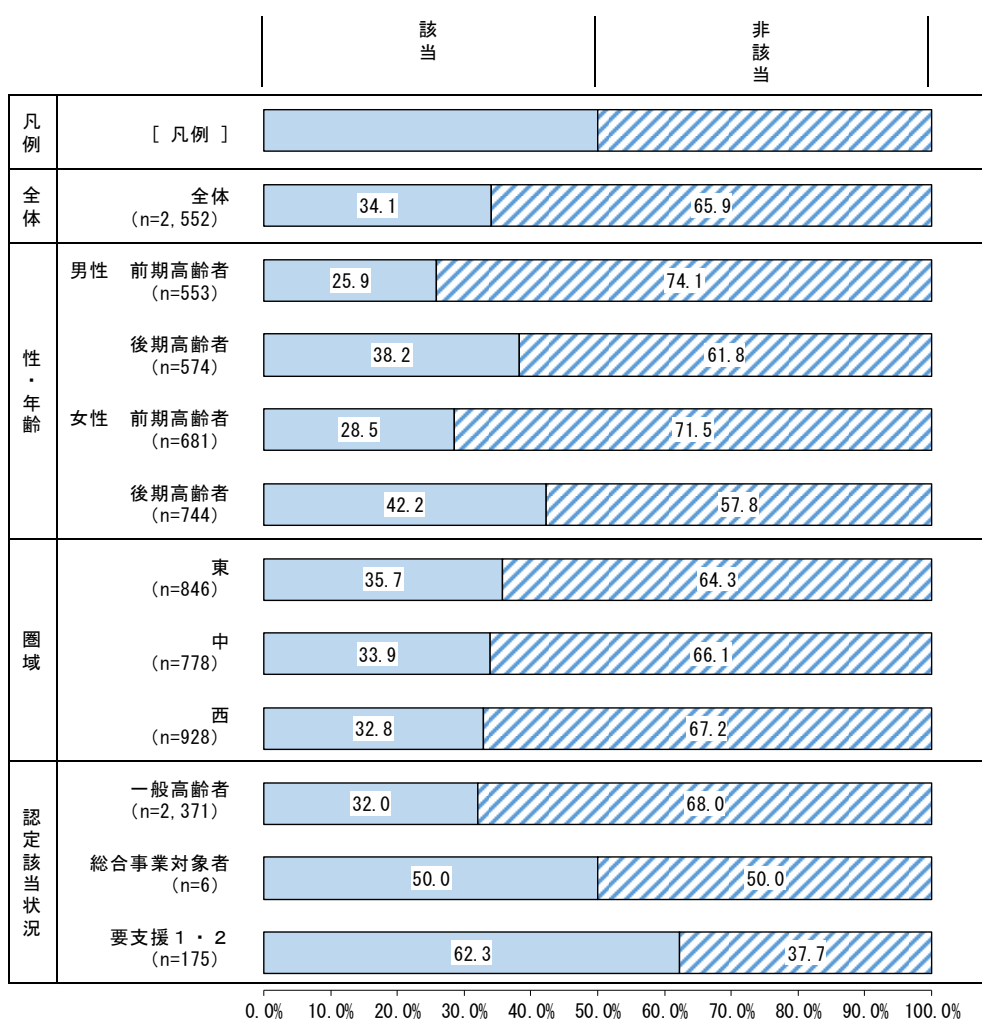
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が多くなっています。

【転倒リスク】



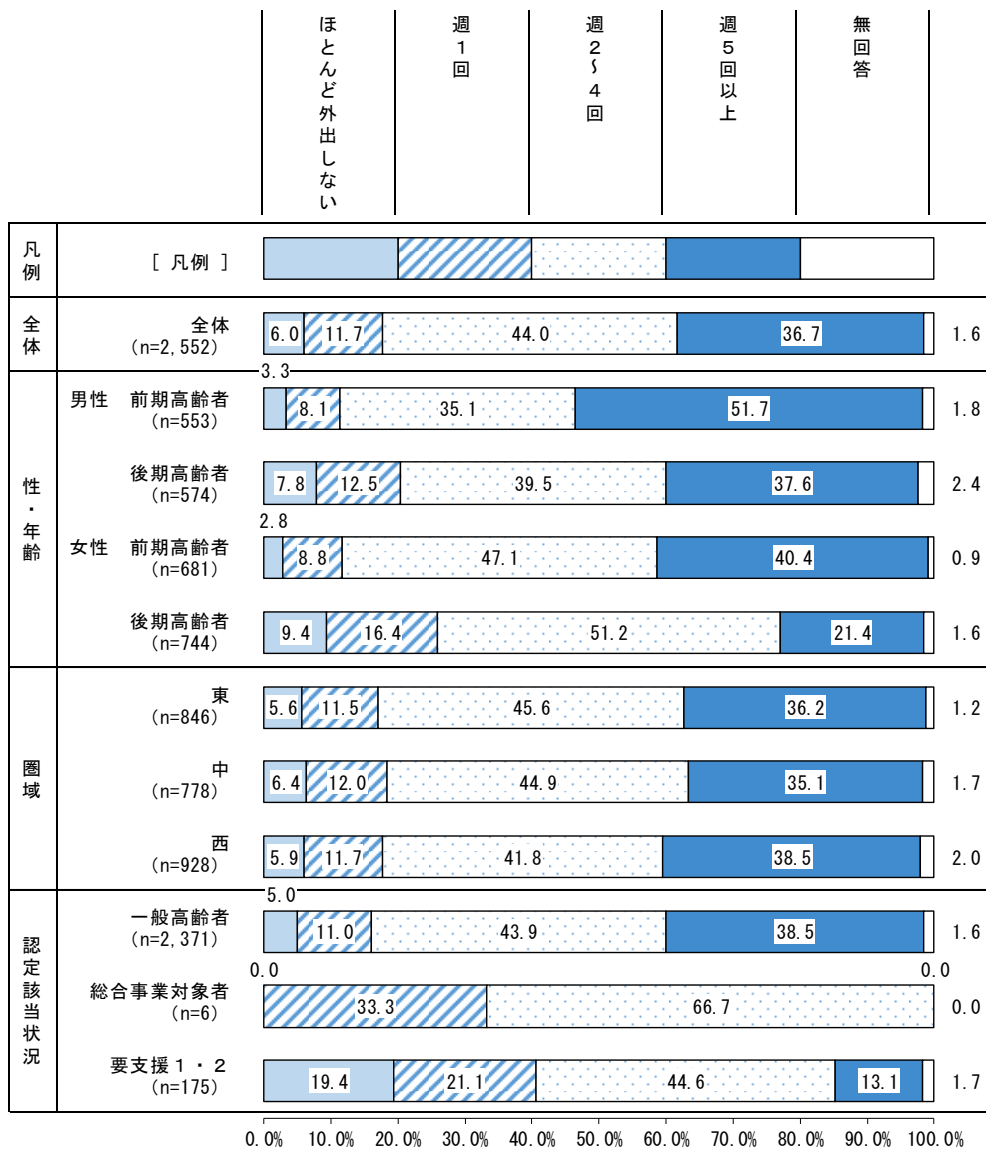
(2) 外出の状況

① 外出の頻度

●問2.7 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

【全体】	
○	外出頻度について、「週2～4回」が44.0%で最も多く、次いで「週5回以上」が36.7%、「週1回」が11.7%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「ほとんど外出しない」「週1回」「週2～4回」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が外出の頻度が少なくなっています。

【外出頻度】



◆閉じこもりのリスク

●閉じこもりのリスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

【全体】

○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が17.7%、「非該当」が82.3%となっています。

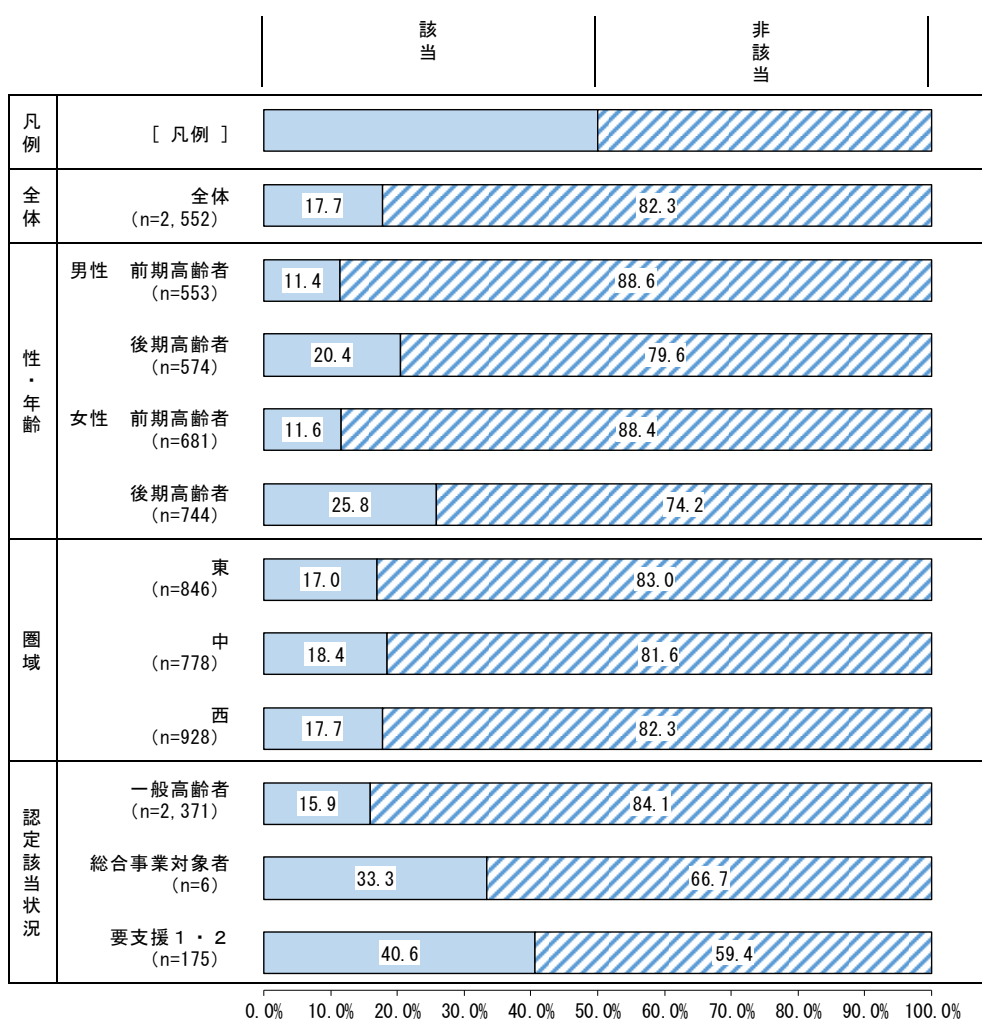
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が多くなっています。

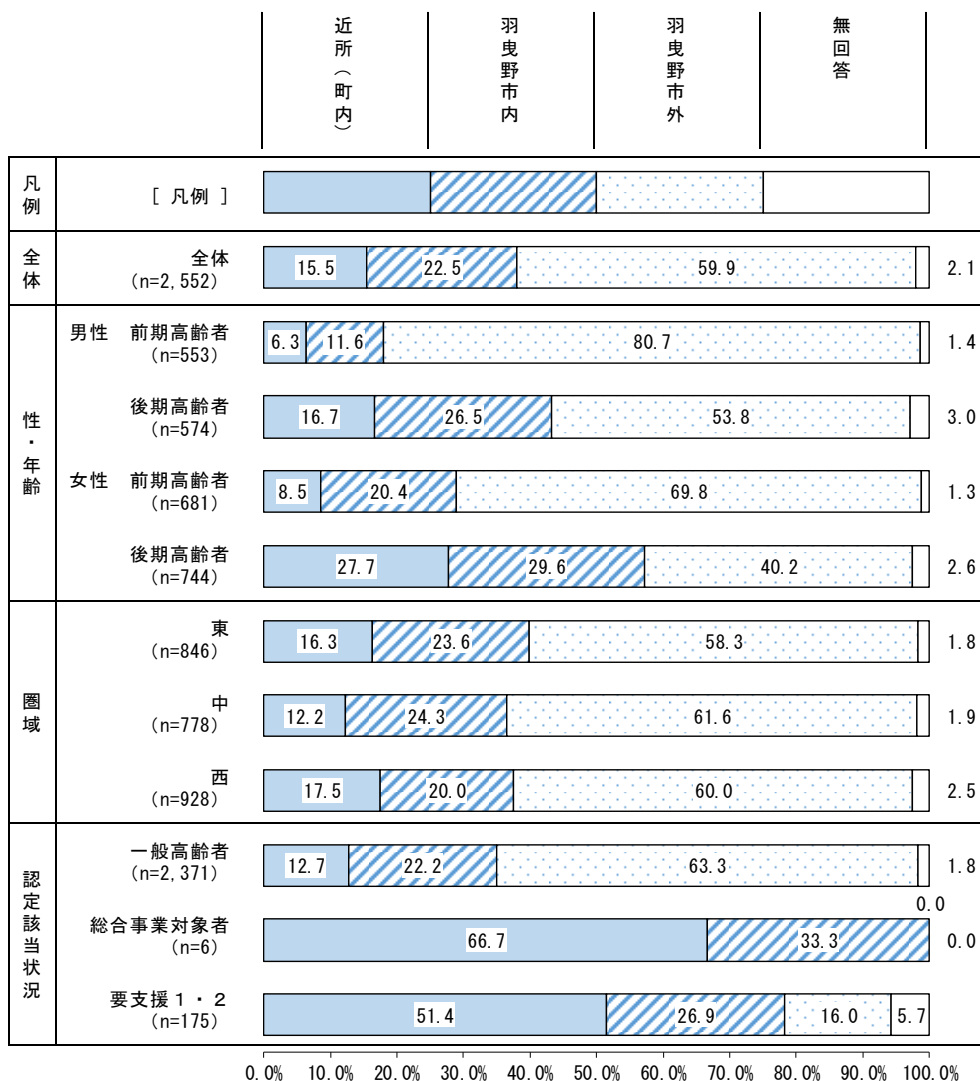
【閉じこもりのリスク】



- 問2.8 あなたが一人で外出できる範囲はどこまでですか。（徒歩、自転車、車、公共交通機関等の手段は問いません。）（1つに○）

【全体】	
○	外出できる範囲について、「羽曳野市外」が 59.9%で最も多く、次いで「羽曳野市内」が 22.5%、「近所（町内）」が 15.5%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「近所（町内）」「羽曳野市内」が多くなっています。特に、女性ではそれぞれ 27.7%、29.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】	
○	「近所（町内）」は中が 12.2%と他の圏域に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】	
○	一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が外出できる範囲が小さくなっています。

【外出できる範囲】



●問2.9 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

【全体】

○ 昨年と比べて外出の回数について、「あまり減っていない」が 33.6%で最も多く、次いで「減っている」が 32.3%、「減っていない」が 26.1%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は 39.1%となっています。

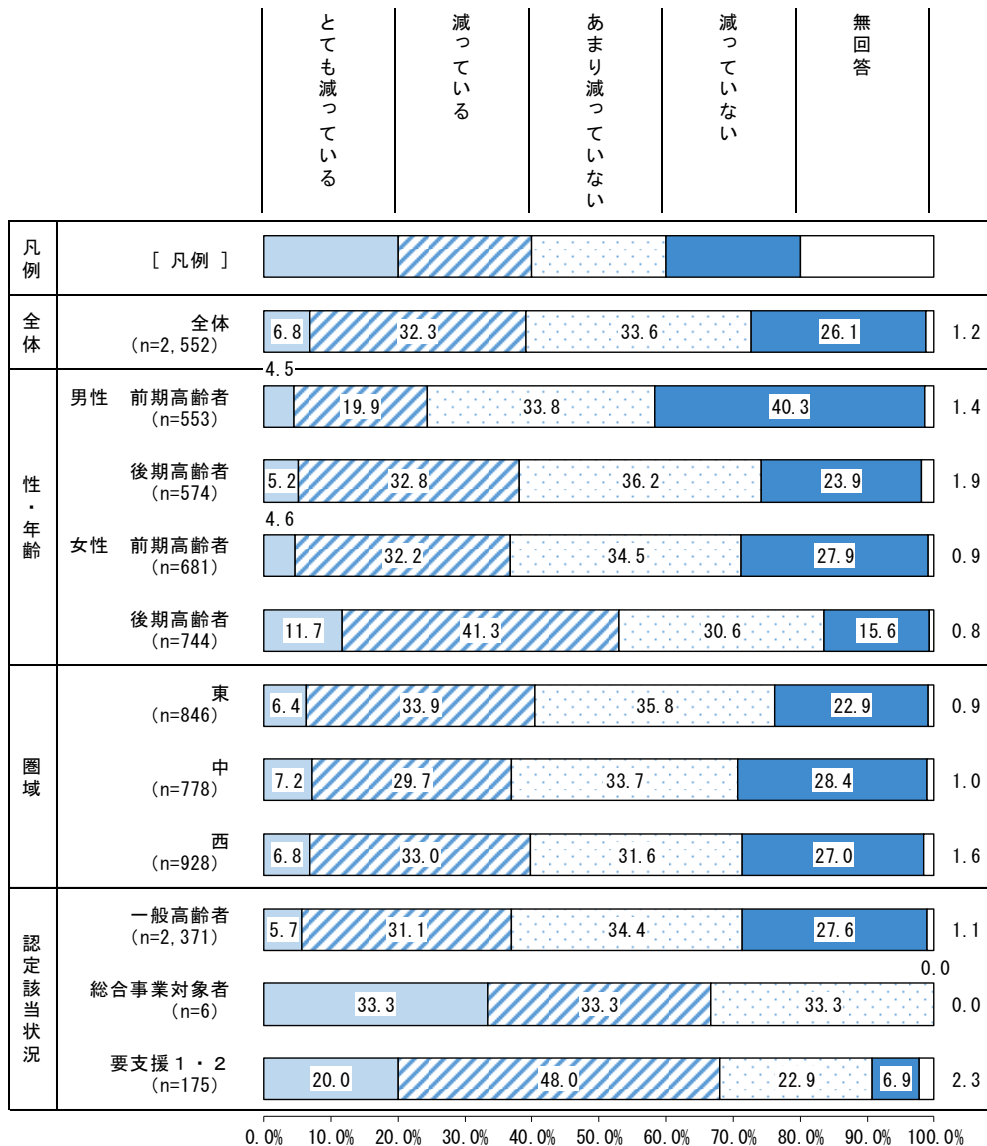
【性・年齢】

○ 女性 後期高齢者は“減っている方”が 53.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が“減っている方”が多くなっています。

【昨年と比べて外出の回数】

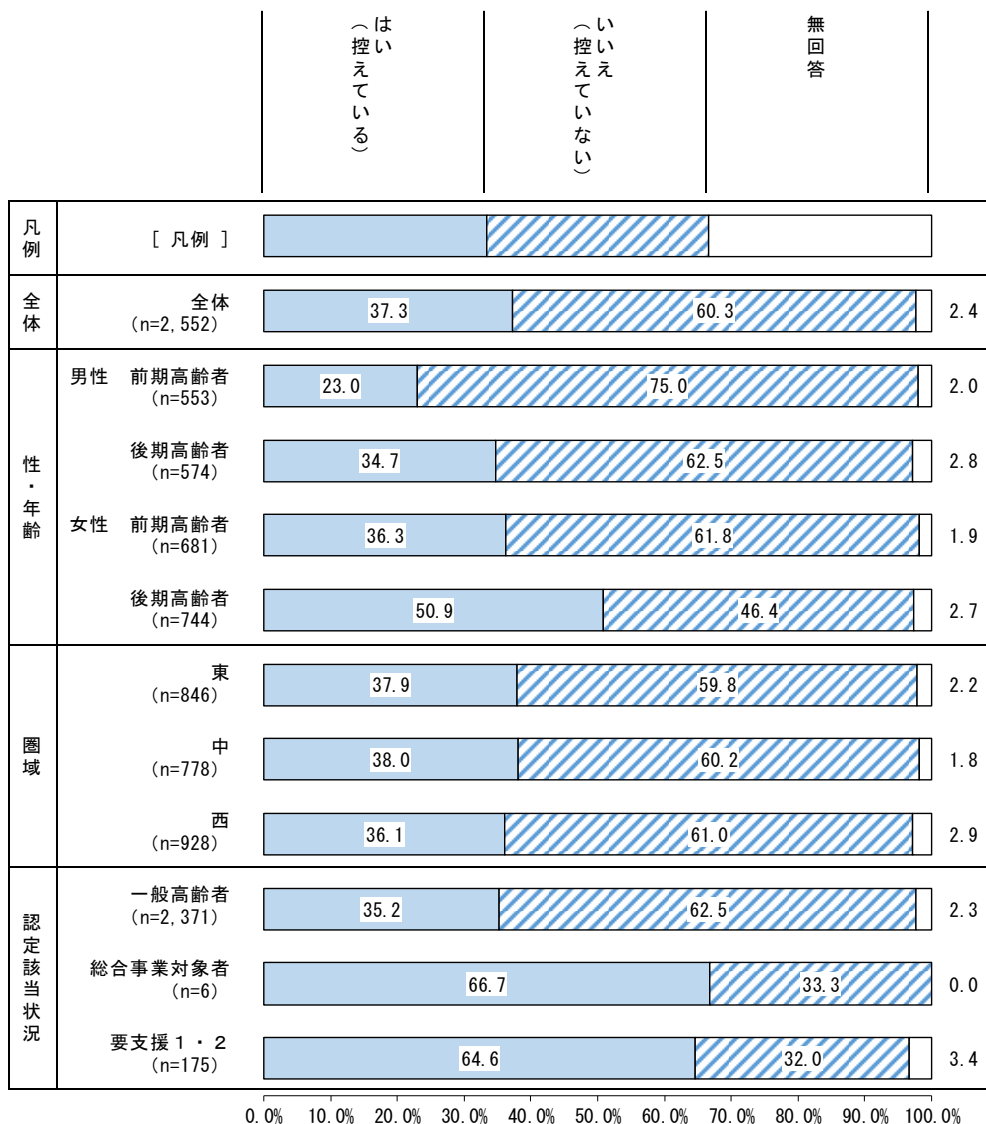


② 外出を控えているか

●問2.10 外出を控えていますか。(1つに○)

【全体】	
○	外出を控えているかについて、「はい（控えている）」が 37.3%、「いいえ（控えていない）」が 60.3%となっています。
【性・年齢】	
○	「はい（控えている）」は男性 前期高齢者が 23.0%と他の区分に比べて少なくなっている一方で、女性 後期高齢者が 50.9%と多くなっています。
【認定該当状況】	
○	一般高齢者に比べて、要支援 1・2の方が「はい（控えている）」が多くなっています。

【外出を控えているか】



●問2.10-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

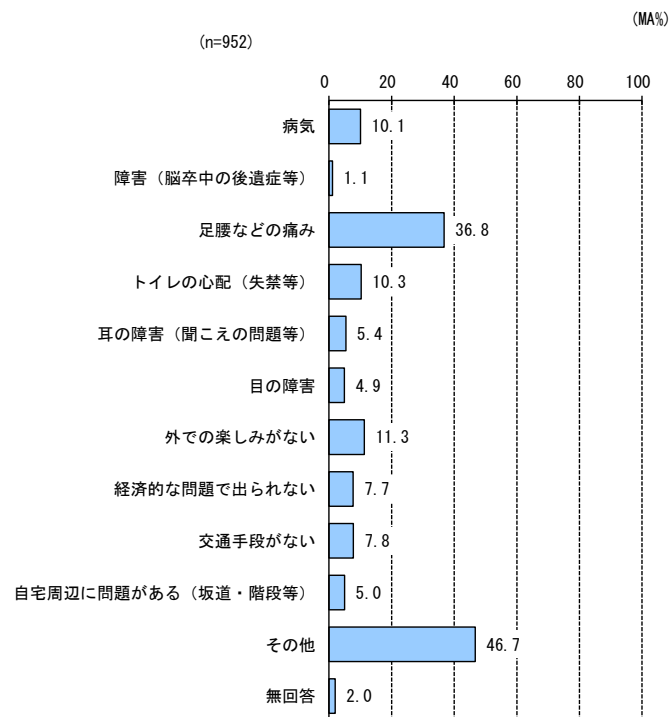
【全体】

- 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が36.8%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」が11.3%、「トイレの心配（失禁等）」が10.3%となっています。
- 「その他」の回答のうち、88.7%は新型コロナウイルス感染症に関する理由となっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では「交通手段がない」「自宅周辺に問題がある（坂道・階段等）」の割合が多くなっています。

【外出を控えている理由(MA)】



単位：％

単位：％

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)											
			病 気	障 害 (脳卒中の後遺症等)	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 (失禁等)	耳 の 障 害 (聞こえの問題等)	目 の 障 害	外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 な 問 題 で 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	(坂道・階段等) 自 宅 周 辺 に 問 題 が あ る	そ の 他	無 回 答
全体		952	10.1	1.1	36.8	10.3	5.4	4.9	11.3	7.7	7.8	5.0	46.7	2.0
性・年齢	男性 前期高齢者	127	11.0	1.6	29.1	5.5	—	3.1	12.6	11.8	1.6	0.8	61.4	—
	後期高齢者	199	11.1	1.5	41.2	16.6	10.6	5.0	13.6	5.0	6.0	5.5	34.2	2.5
	女性 前期高齢者	247	8.9	1.2	▼ 23.1	5.7	0.8	2.8	7.7	9.3	6.5	3.6	66.8	2.0
	後期高齢者	379	10.0	0.5	45.9	11.6	7.4	6.9	12.1	6.6	11.6	7.1	35.4	2.4
圏域	東	321	10.3	—	38.3	13.1	5.9	5.3	11.2	7.5	9.0	5.0	44.5	3.1
	中	296	10.8	1.7	32.4	7.8	4.7	4.1	9.1	8.4	5.7	7.1	53.0	1.0
	西	335	9.3	1.5	39.1	9.9	5.4	5.4	13.4	7.2	8.4	3.3	43.3	1.8
認定該当状況	一般高齢者	835	9.3	1.0	32.3	8.4	4.0	4.2	10.8	7.7	6.1	3.4	52.2	2.2
	総合事業対象者	4	△ 25.0	—	△ 50.0	△ 50.0	—	—	△ 50.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0	—	25.0
	要支援1・2	113	15.0	1.8	△ 69.0	△ 23.0	△ 15.9	10.6	14.2	7.1	△ 19.5	△ 15.9	8.0	—

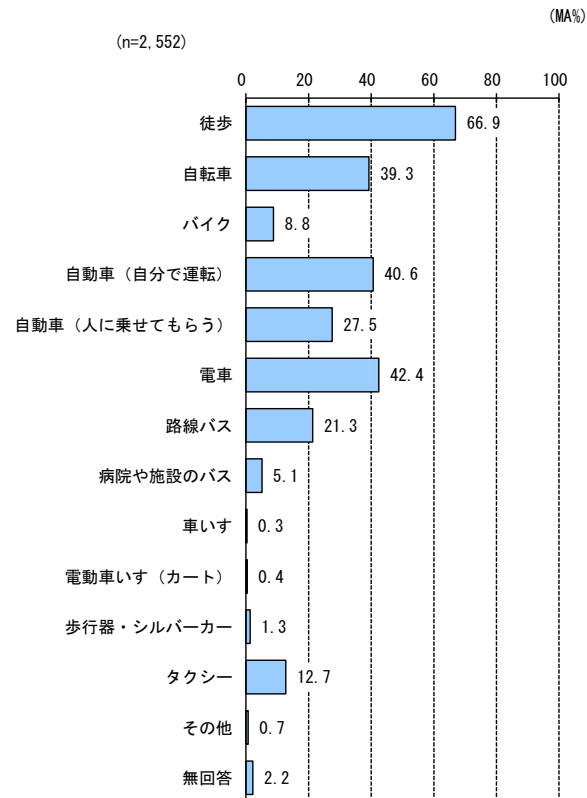
③ 外出の際の移動手段

●問2.11 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

【全体】

○ 外出する際の移動手段について、「徒歩」が 66.9%で最も多く、次いで「電車」が 42.4%、「自動車（自分で運転）」が 40.6%となっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



【性・年齢】

- 男性は「自動車（自分で運転）」が多くなっており、女性は「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。
- 「病院や施設のバス」は女性 後期高齢者が 10.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「自転車」は西が 49.2%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「路線バス」は中が 41.6%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者に比べて、要支援 1・2の方が「タクシー」が多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段 (MA)						
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全体		2,552	66.9	39.3	8.8	40.6	27.5	42.4	21.3
性・年齢	男性 前期高齢者	553	66.0	38.2	11.8	△ 73.4	▼ 10.1	42.1	16.6
	後期高齢者	574	65.7	42.5	5.7	△ 51.0	▼ 16.4	▼ 32.4	19.5
	女性 前期高齢者	681	68.6	46.3	11.6	36.7	△ 39.1	52.0	22.8
	後期高齢者	744	66.9	31.5	6.3	▼ 11.8	△ 38.6	41.7	24.7
圏域	東	846	67.8	37.9	9.6	42.6	28.5	39.0	▼ 11.1
	中	778	65.2	▼ 29.0	9.0	44.7	27.4	42.2	△ 41.6
	西	928	67.5	49.2	7.9	35.5	26.8	45.8	13.5
認定該当状況	一般高齢者	2,371	67.9	41.2	9.3	43.1	26.7	44.2	21.6
	総合事業対象者	6	▼ 33.3	—	—	▼ 16.7	△ 50.0	—	—
	要支援 1・2	175	▼ 54.9	▼ 16.0	1.7	▼ 8.0	△ 38.9	▼ 20.6	17.7

単位：％

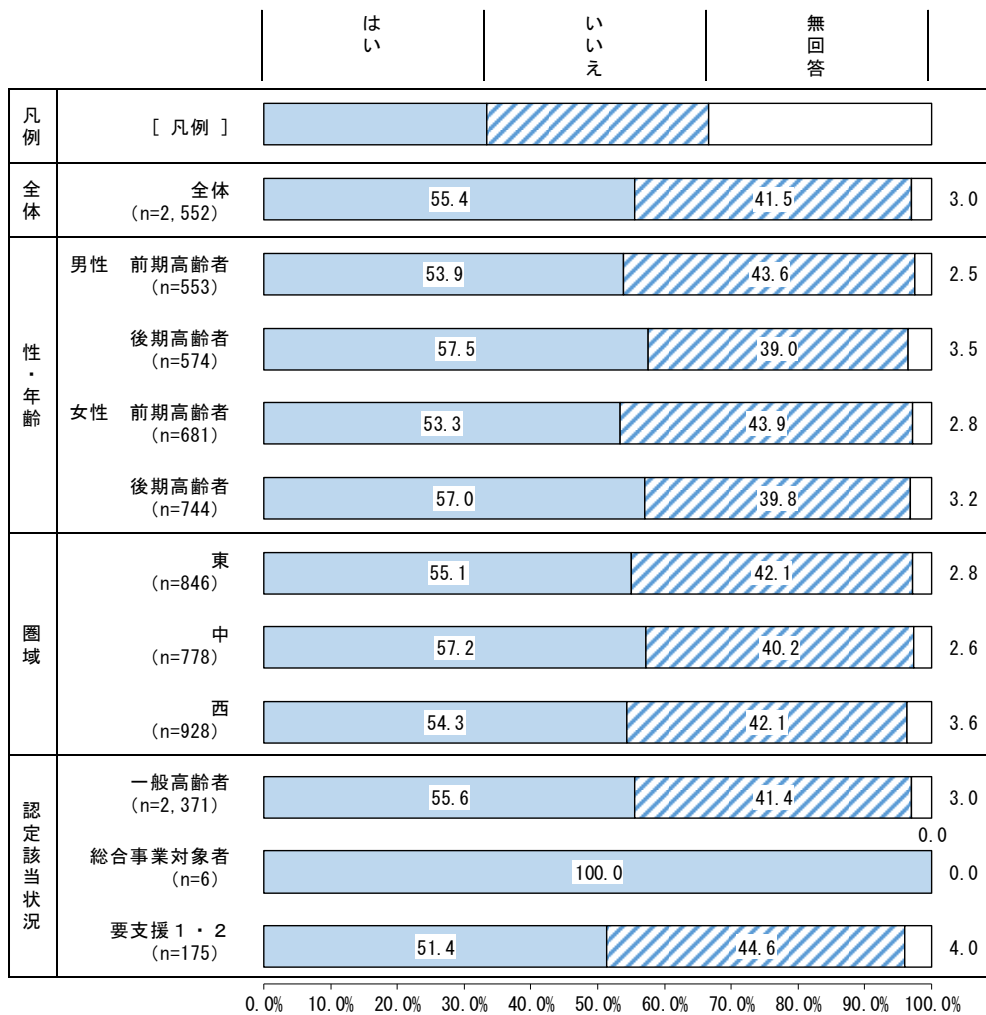
		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						
			病院 や施設 のバス	車い す	電動 車いす (カート)	歩行 器・シ ルバー カー	タク シー	そ 他	無 回 答
全体		2,552	5.1	0.3	0.4	1.3	12.7	0.7	2.2
性・年齢	男性 前期高齢者	553	1.8	0.2	－	－	4.3	0.4	2.4
	後期高齢者	574	4.7	－	0.5	0.9	12.4	0.2	2.6
	女性 前期高齢者	681	2.8	0.3	－	0.1	10.4	0.7	2.1
	後期高齢者	744	10.1	0.5	0.8	3.6	21.1	1.5	1.7
圏域	東	846	5.8	0.2	0.5	1.1	12.2	0.9	2.0
	中	778	3.9	0.4	0.1	0.8	12.9	0.8	1.9
	西	928	5.6	0.2	0.4	1.9	12.9	0.5	2.5
認定該当状況	一般高齢者	2,371	4.6	0.2	0.1	0.4	11.0	0.6	2.2
	総合事業対象者	6	－	－	－	－	16.7	－	－
	要支援 1・2	175	13.1	1.7	4.0	△ 13.1	△ 35.4	2.3	2.3

④ 運動習慣

●問2.12 普段、運動をする習慣がありますか。(1つに○)

【全体】
○ 普段運動する習慣について、「はい」が55.4%、「いいえ」が41.5%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」がやや多くなっています。

【普段運動する習慣】

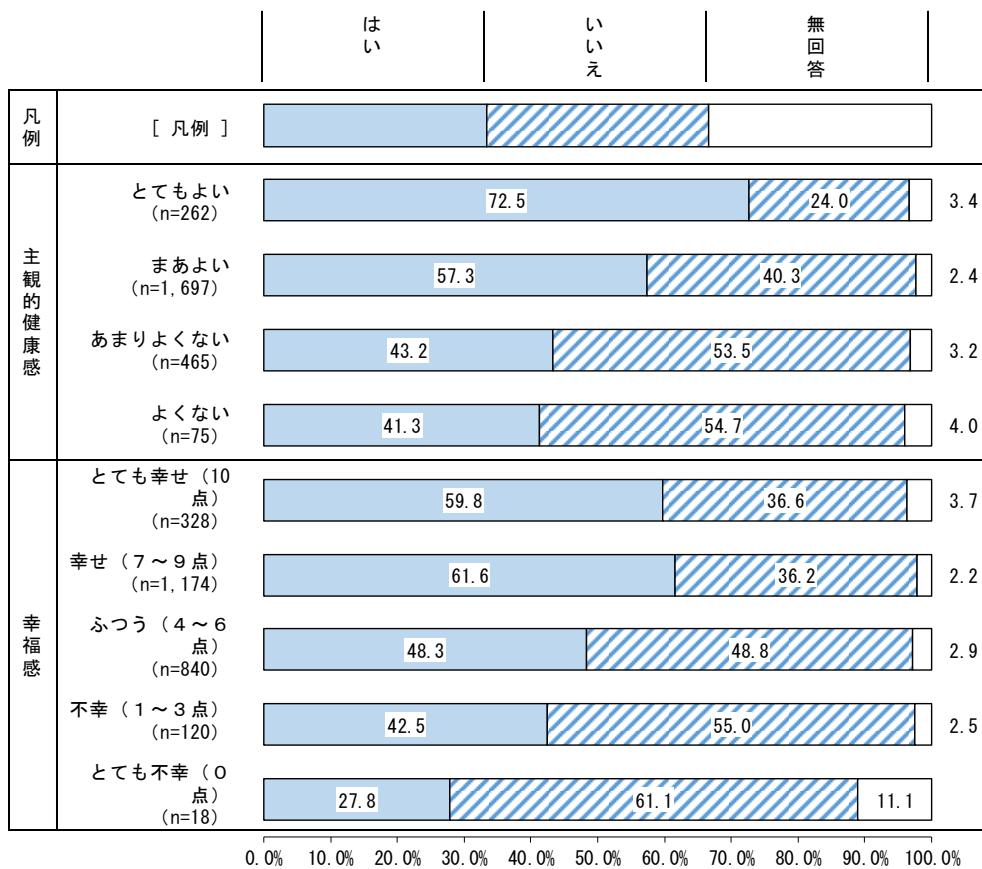


【主観的健康感】

○ 主観的健康感が高いほど「はい」が多くなる傾向があります。

【幸福感】

○ 幸福感が高いほど「はい」が多くなる傾向があります。

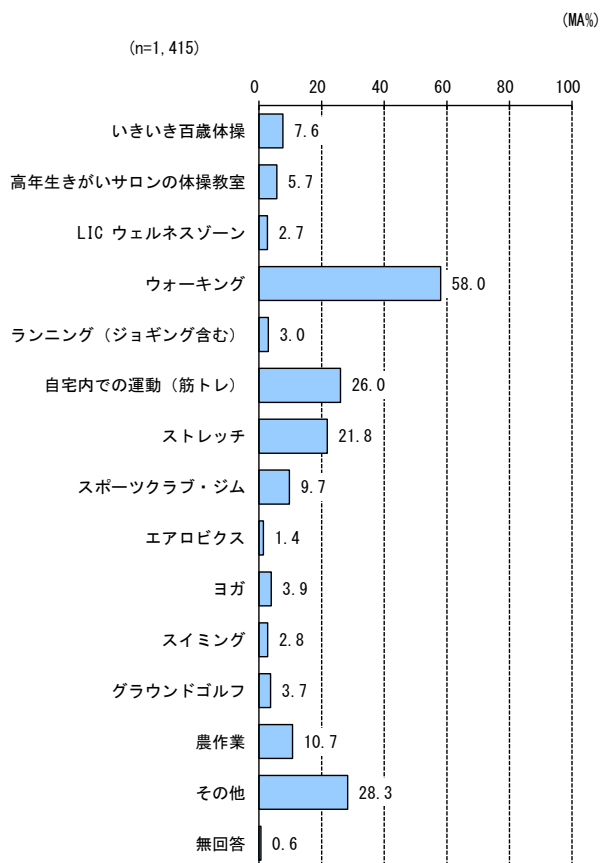


●問2.12-1 どのような運動ですか。(いくつでも)

【全体】

○ どのような運動かについて、「ウォーキング」が58.0%で最も多く、次いで「自宅内での運動（筋トレ）」が26.0%、「ストレッチ」が21.8%となっています。

【どのような運動か】



5. 食べるについて

(1) 口腔

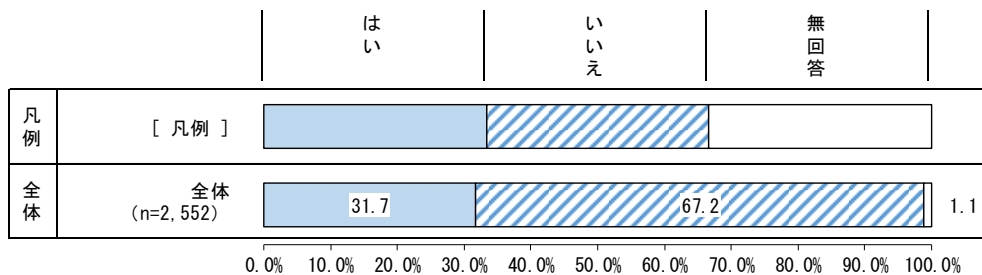
① 口内の健康状態

●問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

【全体】

○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 31.7%、「いいえ」が 67.2%となっています。

【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】

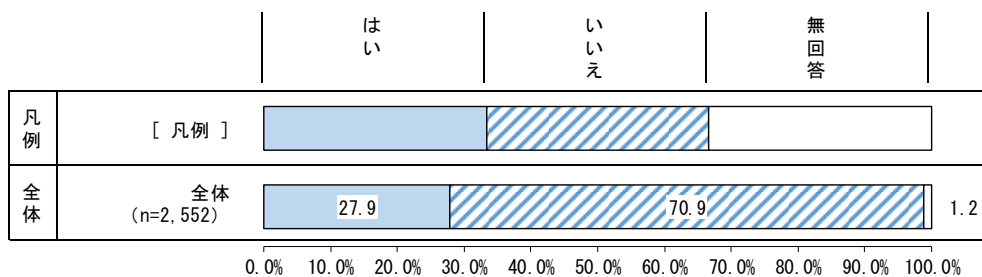


●問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

【全体】

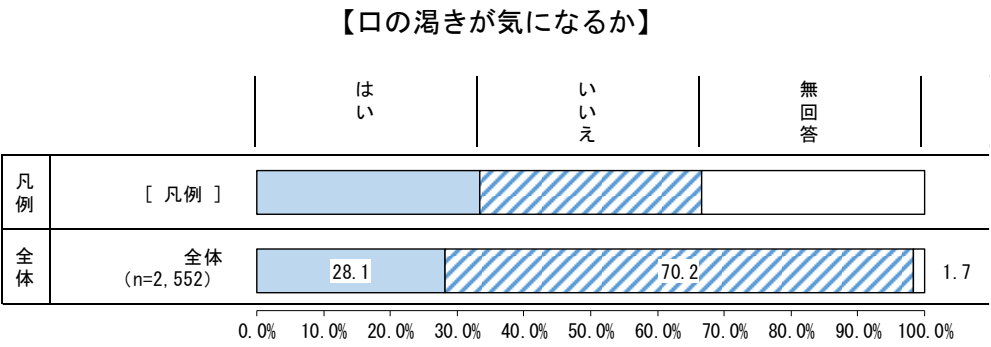
○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 27.9%、「いいえ」が 70.9%となっています。

【お茶や汁物等でむせることがあるか】



●問3.4 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

【全体】
○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が28.1%、「いいえ」が70.2%となっています。



◆口腔機能の低下リスク

●口腔機能の低下リスクの判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

【全体】

○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が24.6%、「非該当」が75.4%となっています。

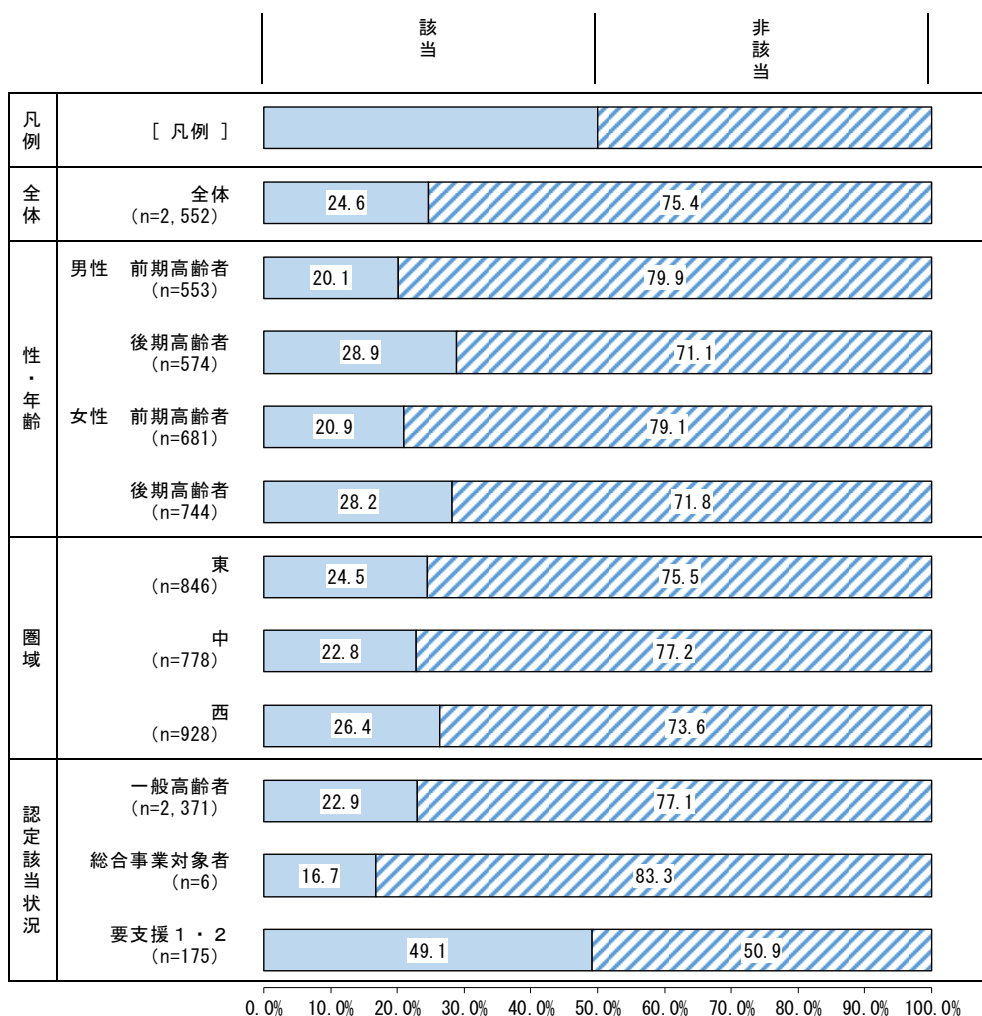
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2では「該当」が49.1%となっています。

【口腔機能の低下リスク】

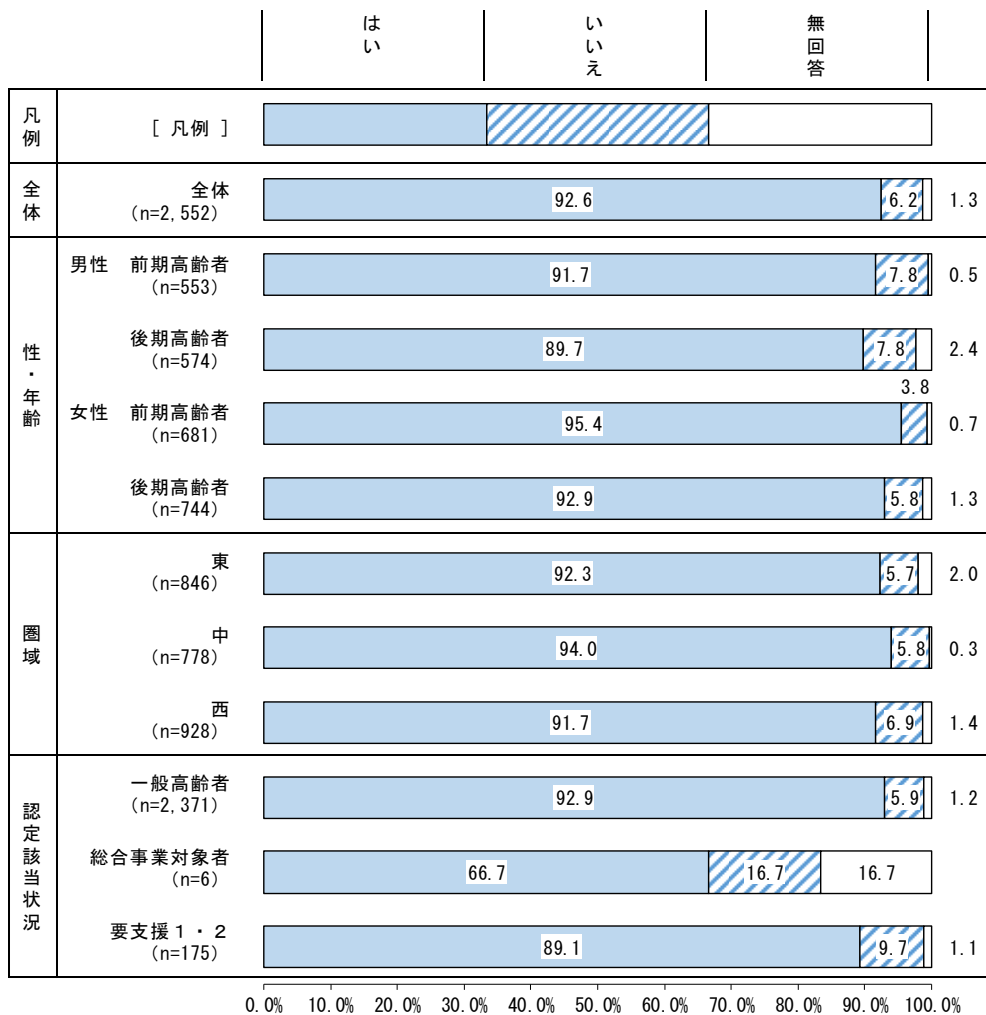


② 歯の状況

●問3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つに○）

【全体】	
○	歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 92.6%、「いいえ」が 6.2%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

【歯磨きを毎日しているか】



●問3.6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○)

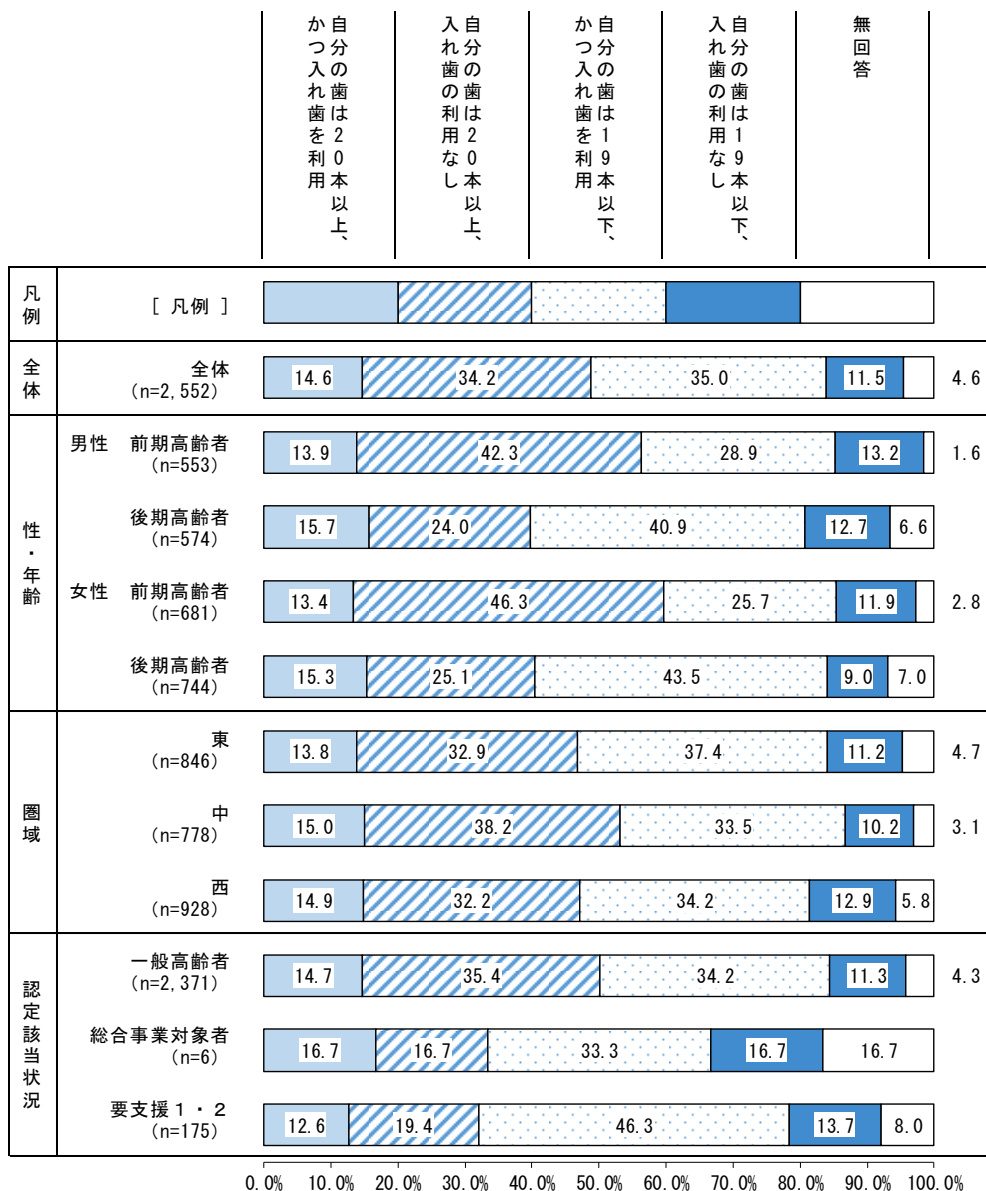
【全体】

- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 35.0%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 34.2%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.6%となっています。

【性・年齢】

- 「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」は男性 前期高齢者が 13.9%、女性 前期高齢者が 13.4%となっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が多くなっています。

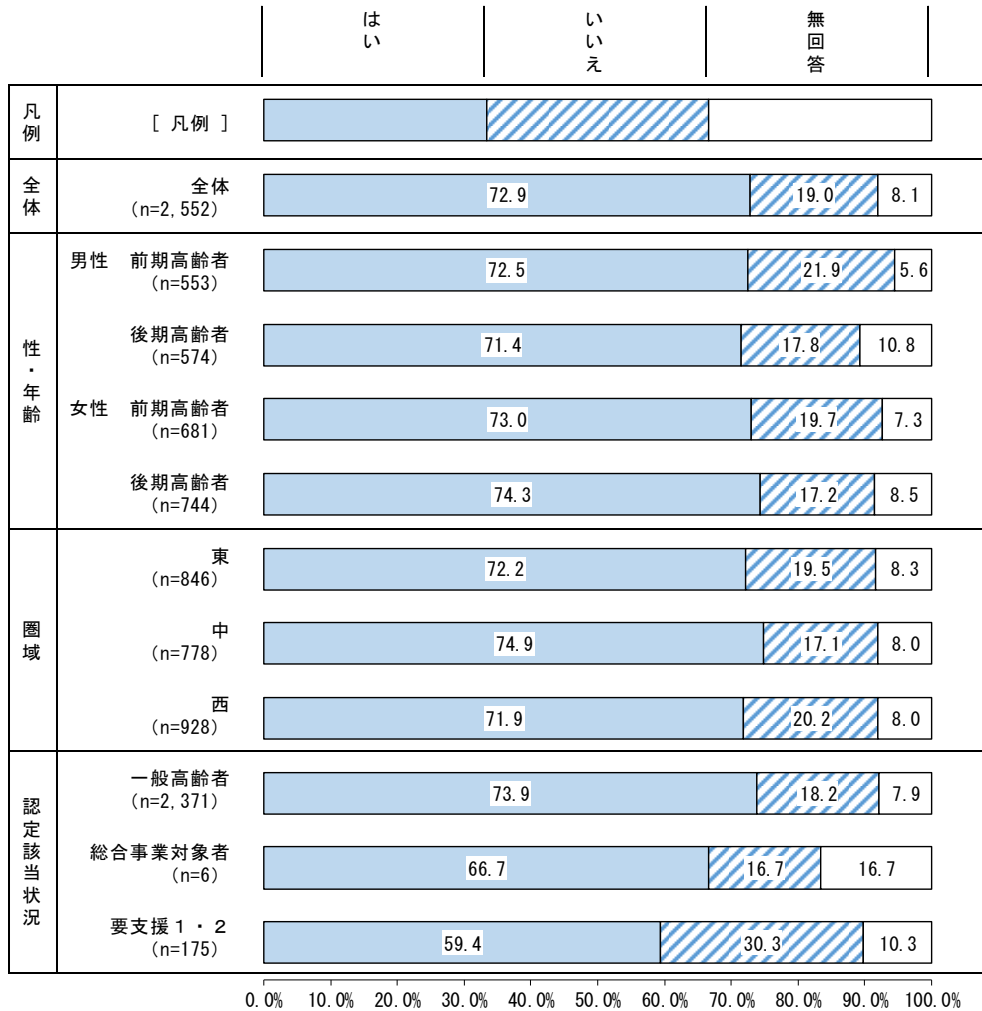
【歯の数と入れ歯の利用状況】



●問3.6-1 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

【全体】
○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が72.9%、「いいえ」が19.0%となっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が「はい」が少なくなっています。

【噛み合わせは良いか】

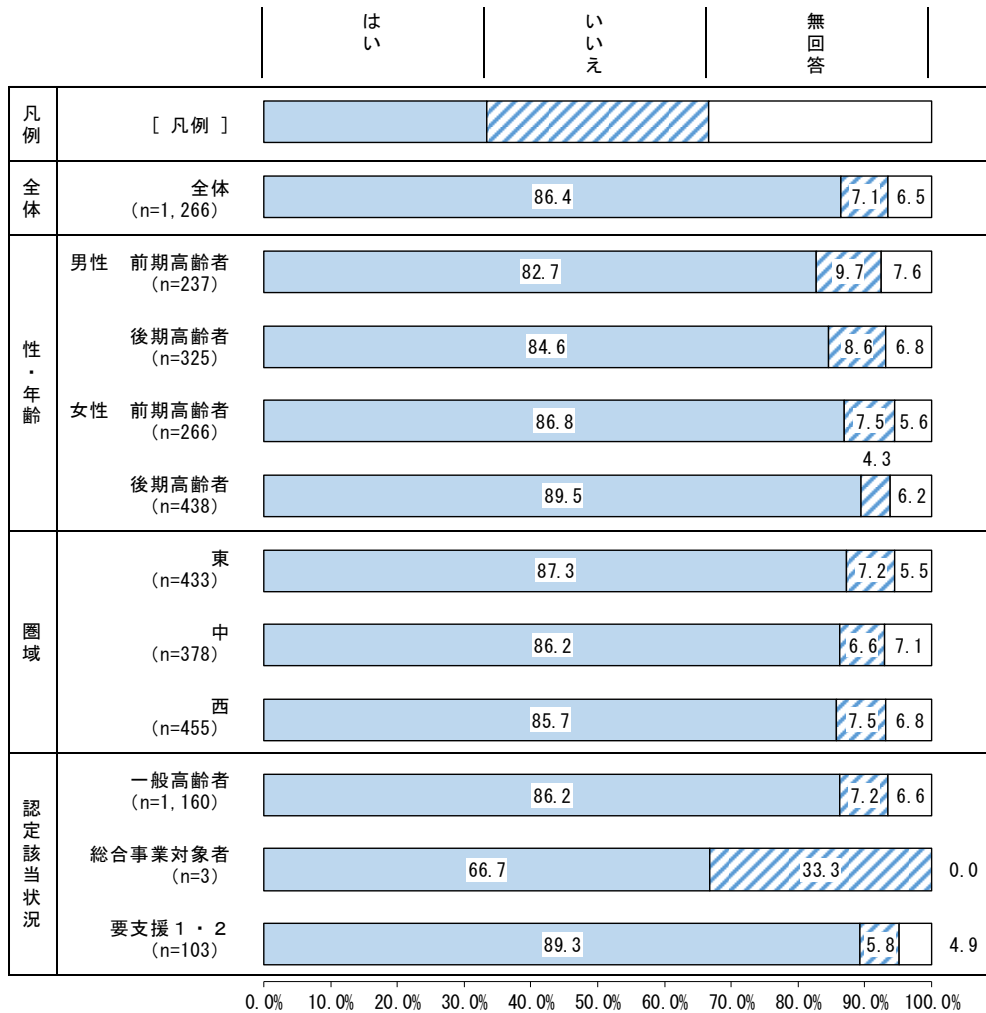


●問3.6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

【全体】

○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 86.4%、「いいえ」が 7.1%となっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



(2) 栄養

① 体重の状況

◆栄養改善のリスク

●栄養改善のリスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5 以下

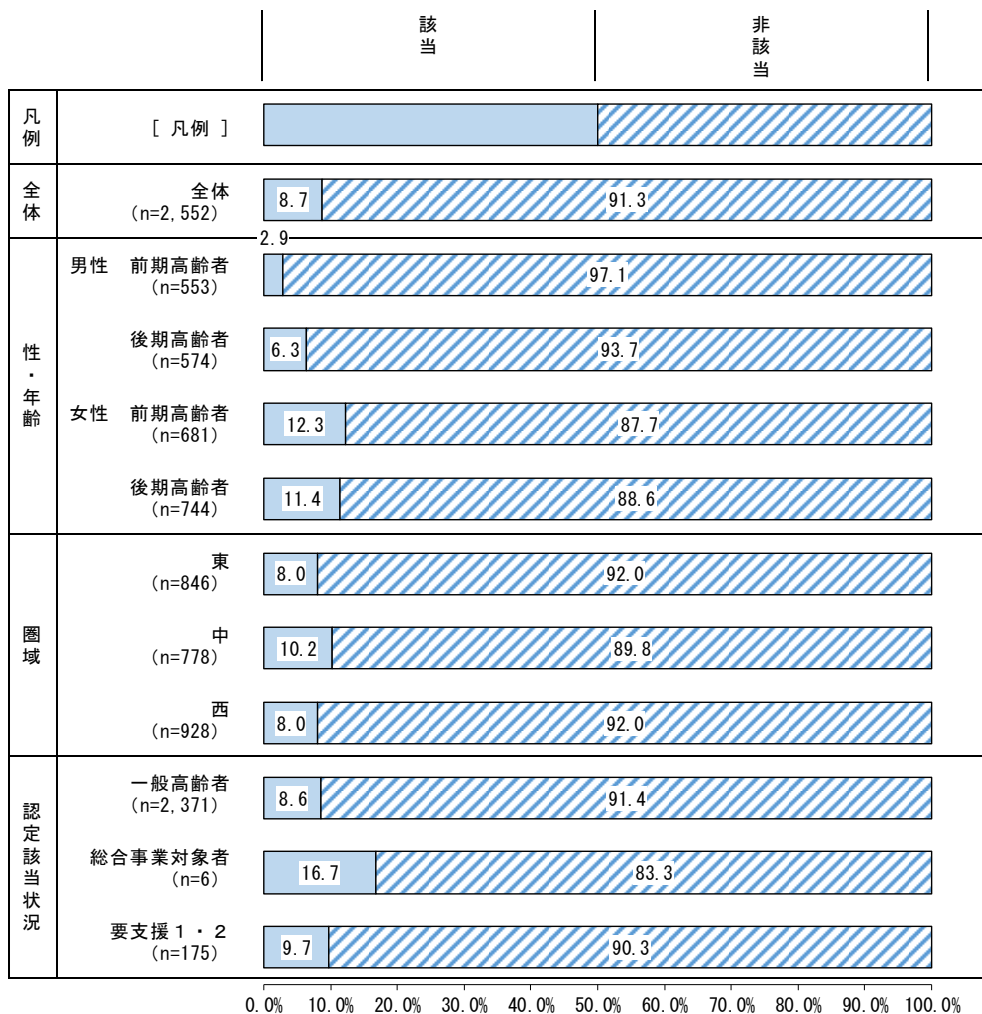
【全体】

○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が8.7%、「非該当」が91.3%となっています。

【性・年齢】

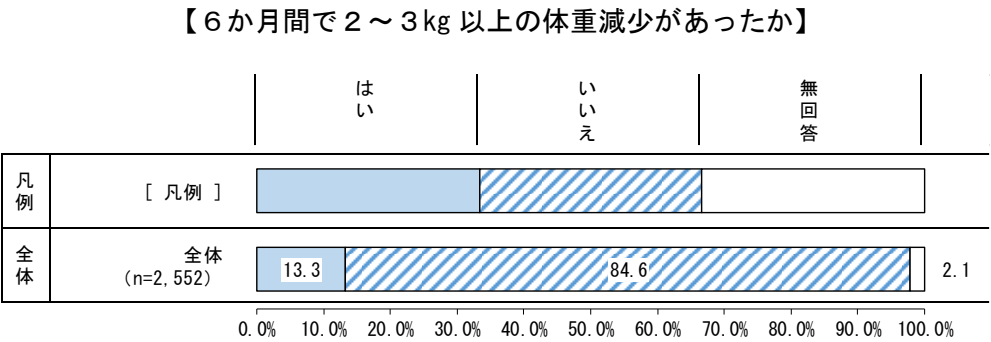
○ 男性 前期高齢者は「該当」が2.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【栄養改善のリスク】



●問3.7 6 か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

【全体】
○ 6 か月間で2～3 kg 以上の体重減少があったかについて、「はい」が 13.3%、「いいえ」が 84.6%となっています。



◆低栄養のリスクの判定

●低栄養のリスクの判定方法

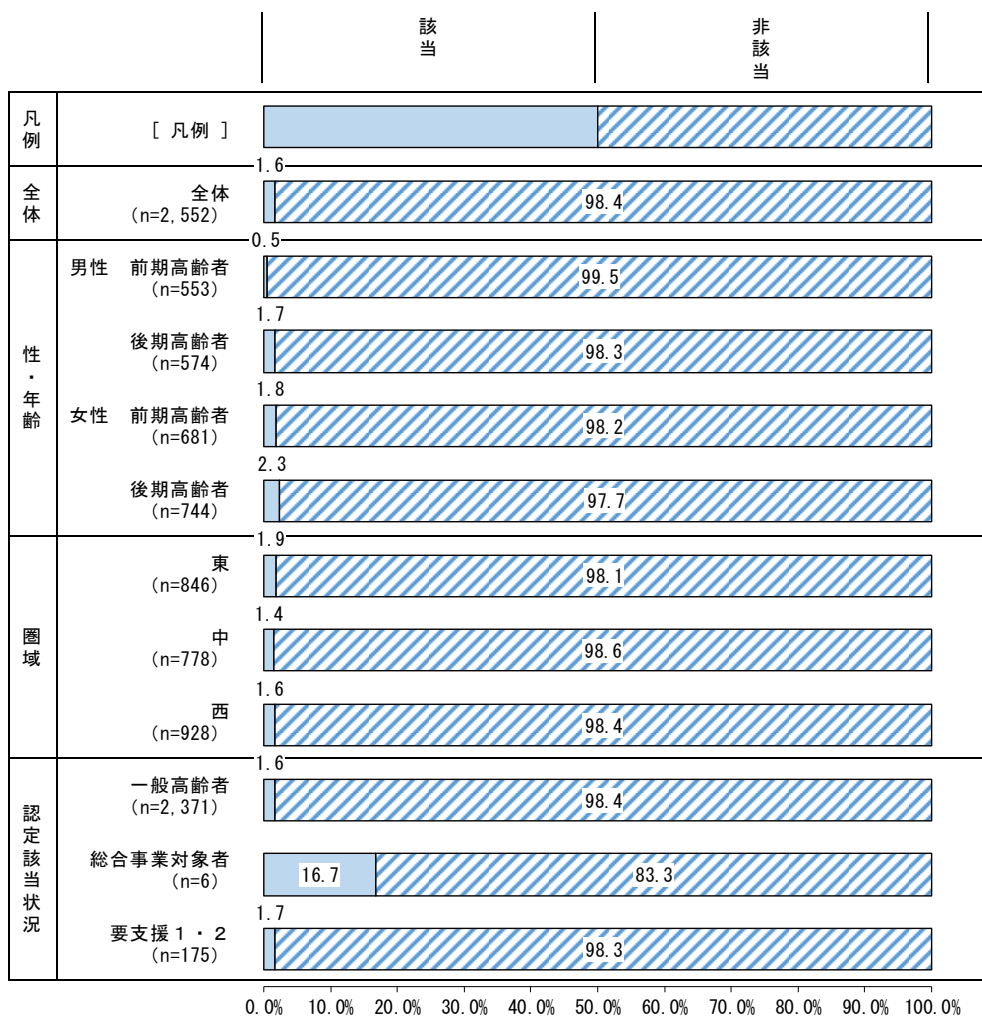
以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態のリスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5 以下
6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	はい

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が 1.6%、「非該当」が 98.4%となっています。

【低栄養のリスク】



② 孤食の状況

●問3.8 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)

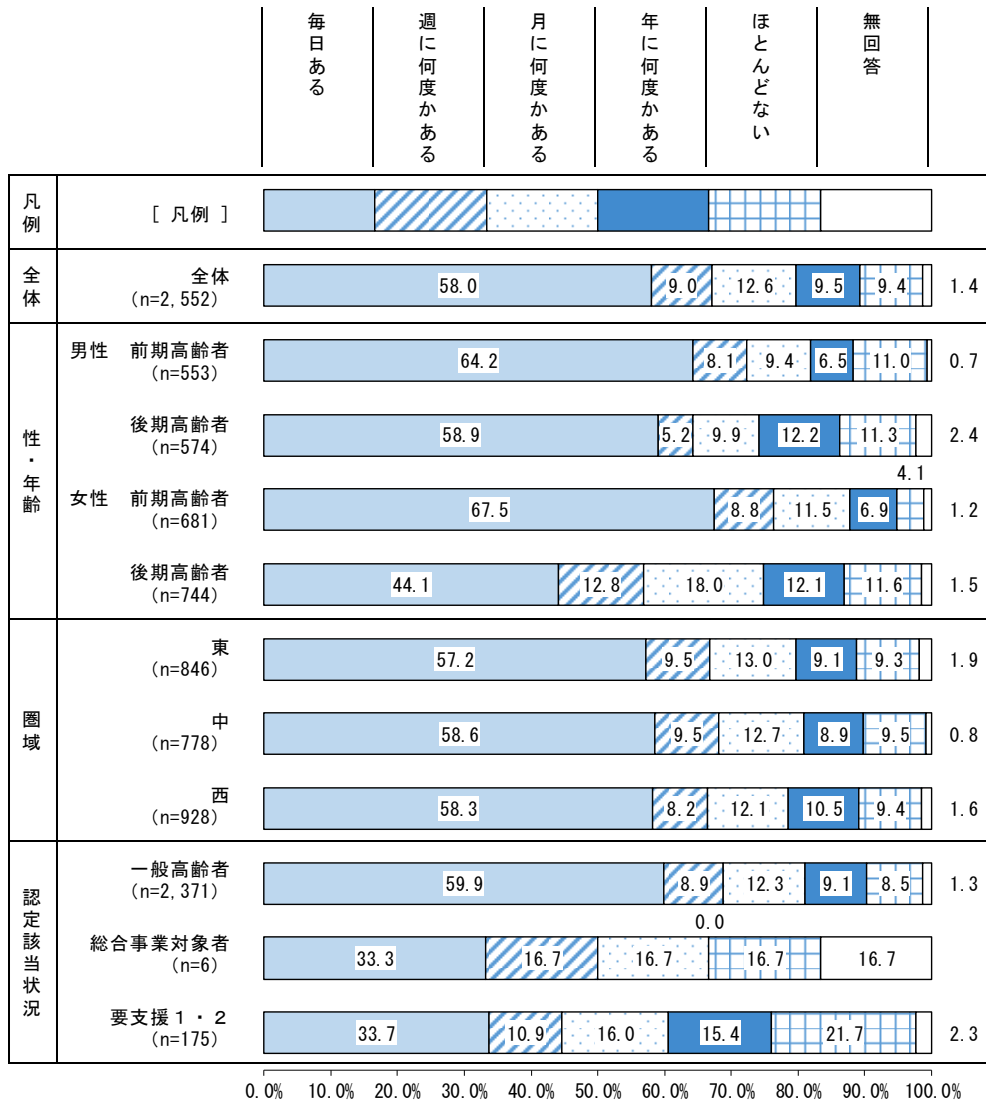
【全体】

- 共食の有無について、「毎日ある」が 58.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 12.6%、「年に何度かある」が 9.5%となっています。「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は 18.9%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“孤食傾向の方”が多くなっています。特に、女性では「毎日ある」が 44.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

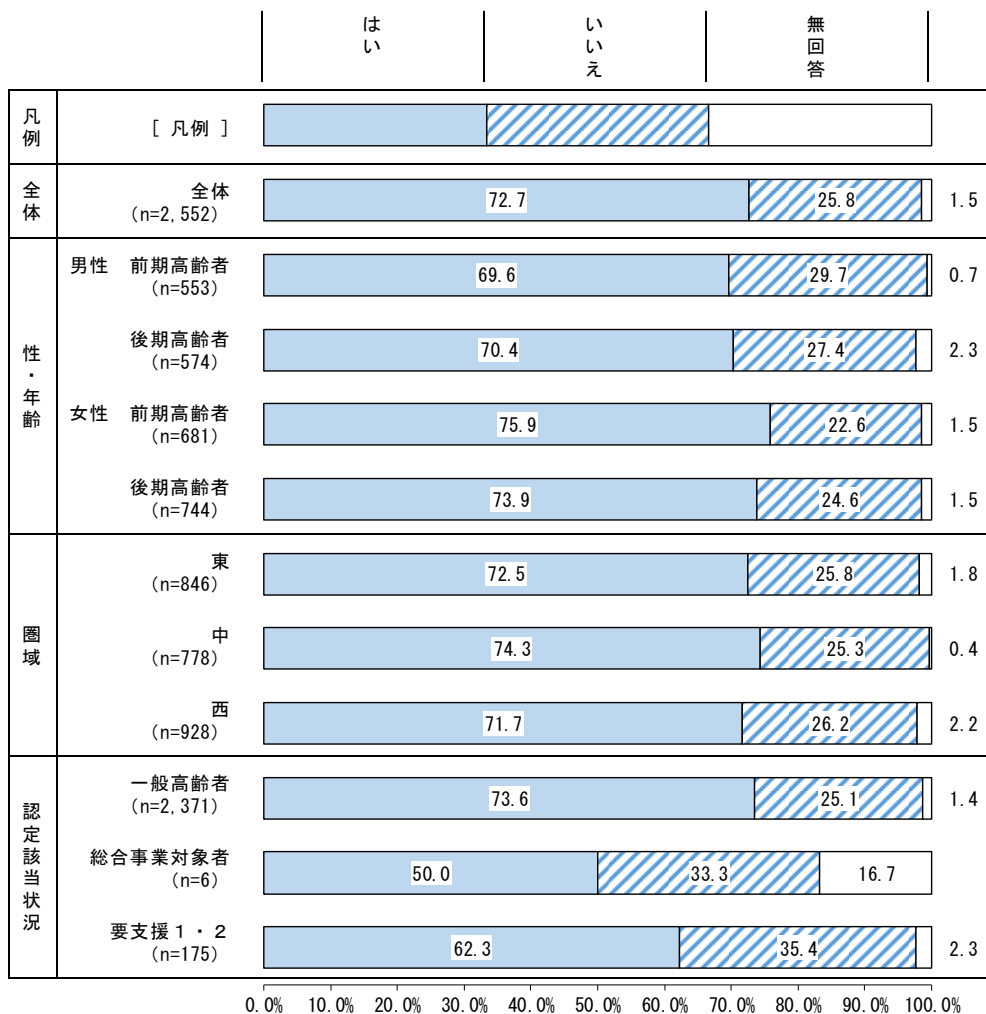
【共食の有無】



- 問3.9 野菜料理と主菜（肉または魚）を両方とも毎日2回以上は食べていますか。
（1つに○）

【全体】
○ 野菜と主菜を食べているかについて、「はい」が72.7%、「いいえ」が25.8%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」がやや多くなっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が「いいえ」が多くなっています。

【野菜と主菜を食べているか】



6. 毎日の生活について

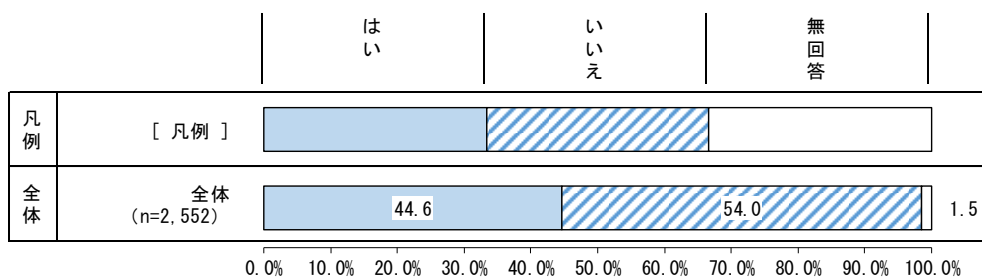
(1) 物忘れ

●問4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 44.6%、「いいえ」が 54.0%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】



◆認知機能の低下リスク

●認知機能の低下リスクの判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

【全体】

○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が 44.6%、「非該当」が 55.4%となっています。

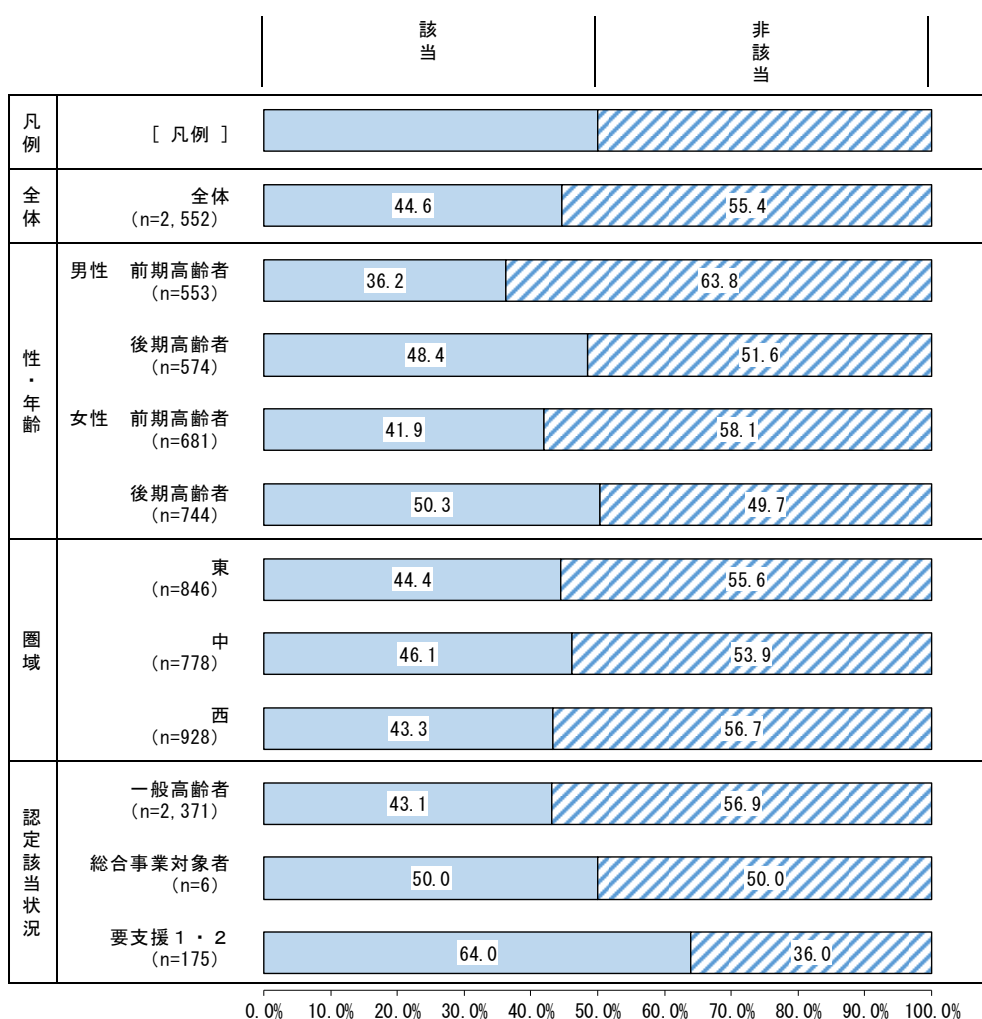
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 一般高齢者に比べて、要支援 1・2の方が「該当」が多くなっています。

【認知機能の低下リスク】

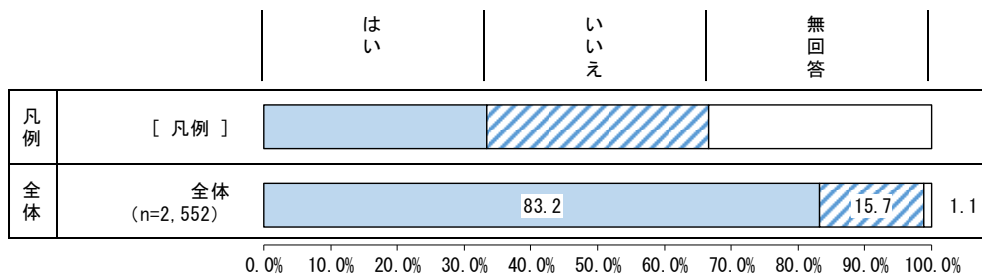


●問4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)

【全体】

- 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が 83.2%、「いいえ」が 15.7%となっています。

【自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】

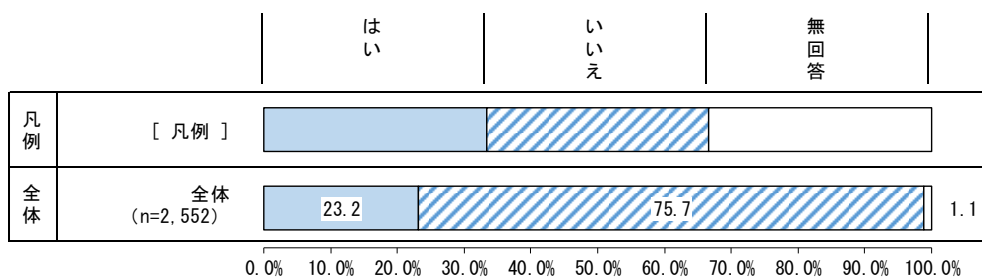


●問4.3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)

【全体】

- 今日が何月何日か、わからない時があるかについて、「はい」が 23.2%、「いいえ」が 75.7%となっています。

【今日が何月何日か、わからない時があるか】

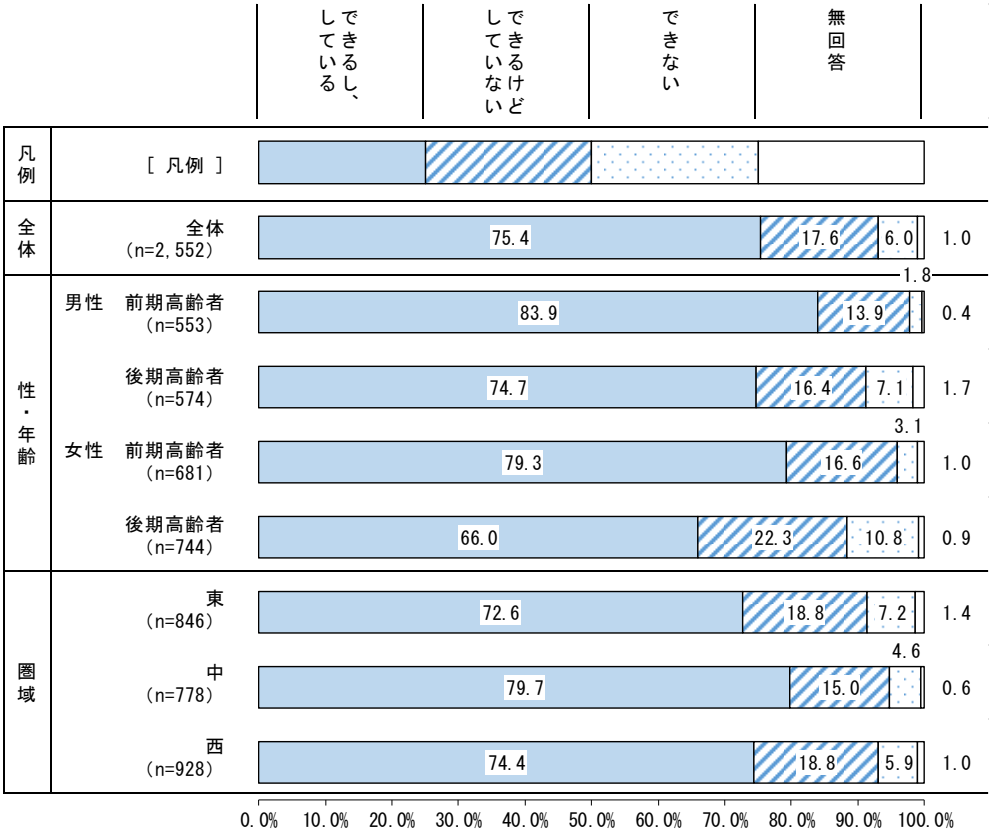


(2) IADLの状況

●問4.4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つに○）

【全体】	
○	バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が75.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.6%、「できない」が6.0%となっています。
【性・年齢】	
○	「できるけどしていない」は女性 後期高齢者が22.3%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】	
○	「できるし、している」は中が79.7%と他の圏域に比べて多くなっています。

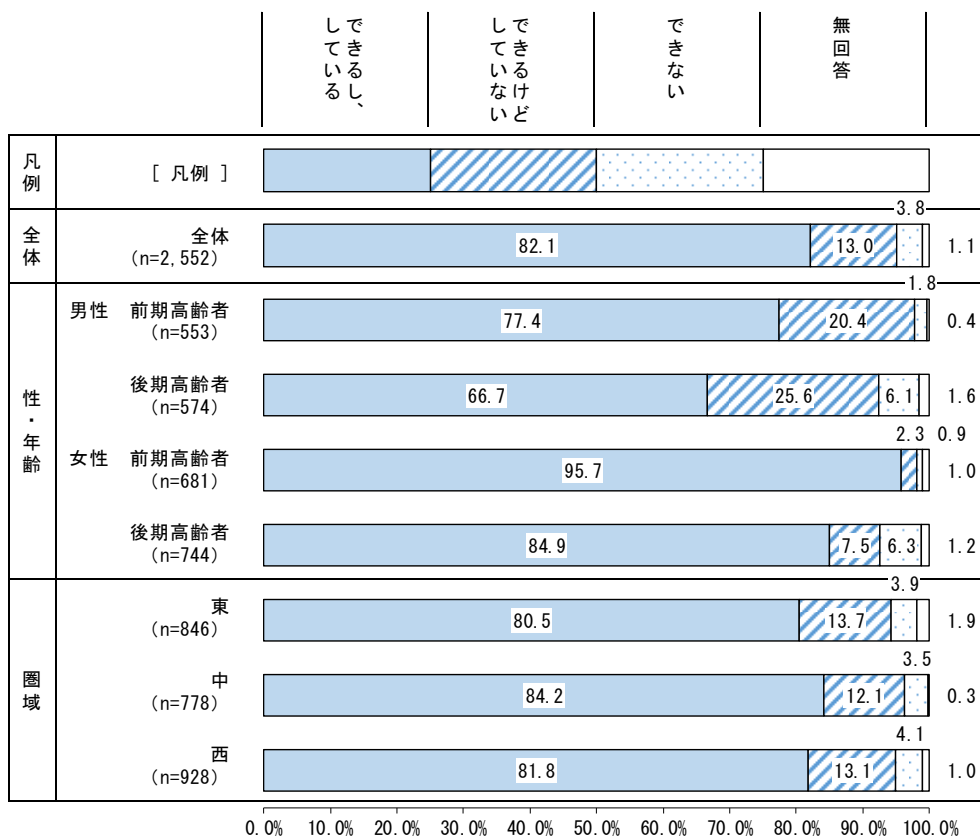
【バスや電車を使った1人での外出】



●問4.5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

【全体】	
○	食品・日用品の買物について、「できるし、している」が82.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.0%、「できない」が3.8%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。
【圏域】	
○	「できるし、している」は中が84.2%と他の圏域に比べてやや多くなっています。

【食品・日用品の買物】

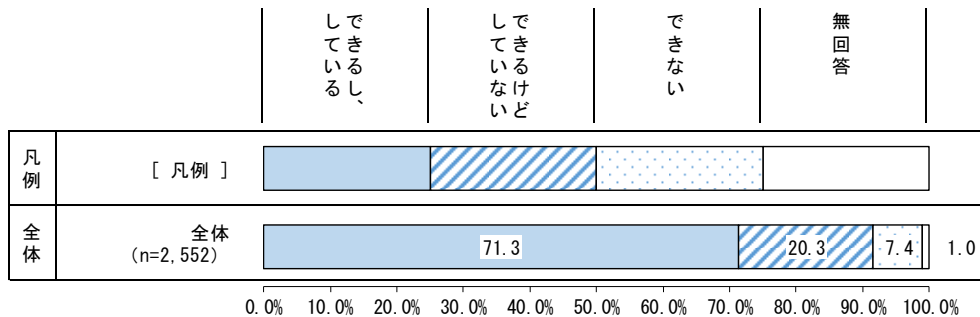


●問4.6 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

【全体】

- 食事の用意について、「できるし、している」が71.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が20.3%、「できない」が7.4%となっています。

【食事の用意】

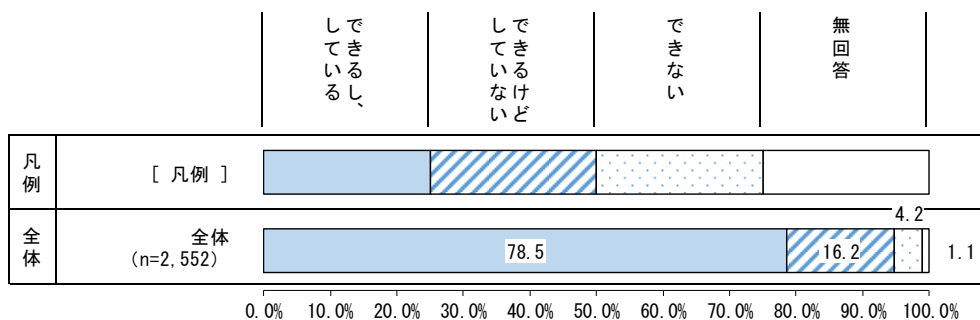


●問4.7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

【全体】

- 請求書の支払いについて、「できるし、している」が78.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.2%、「できない」が4.2%となっています。

【請求書の支払い】

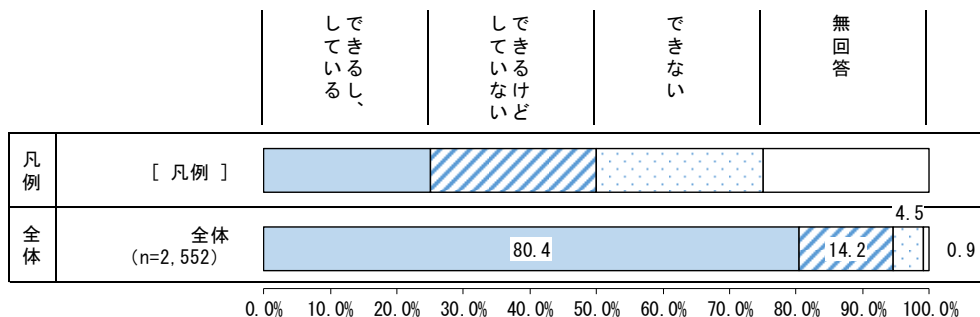


●問4.8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

【全体】

○ 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が80.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が4.5%となっています。

【預貯金の出し入れ】



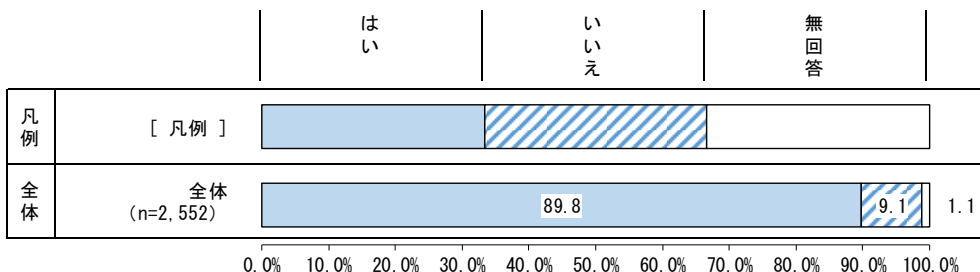
(3) 社会との関わり

●問4.9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(1つに○)

【全体】

○ 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が89.8%、「いいえ」が9.1%となっています。

【年金などの書類が書けるか】

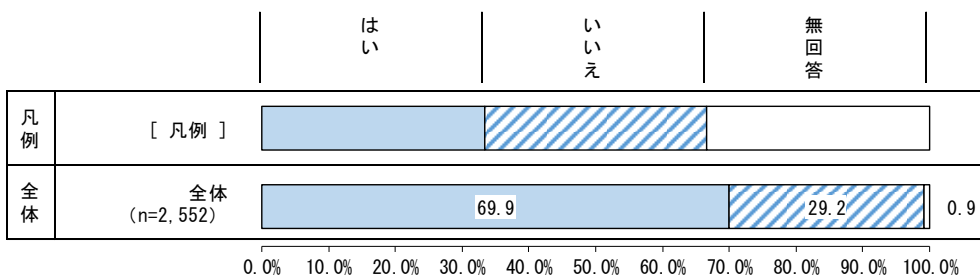


●問4.10 新聞を読んでいますか。(1つに○)

【全体】

○ 新聞を読んでいるかについて、「はい」が69.9%、「いいえ」が29.2%となっています。

【新聞を読んでいるか】

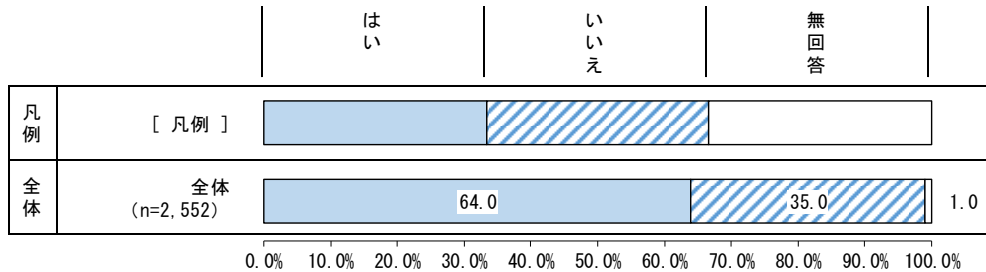


●問4.11 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)

【全体】

○ 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 64.0%、「いいえ」が 35.0%となっています。

【本や雑誌を読んでいるか】

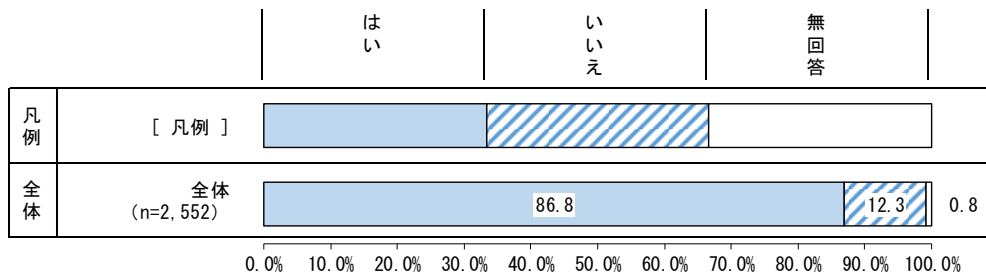


●問4.12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)

【全体】

○ 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が 86.8%、「いいえ」が 12.3%となっています。

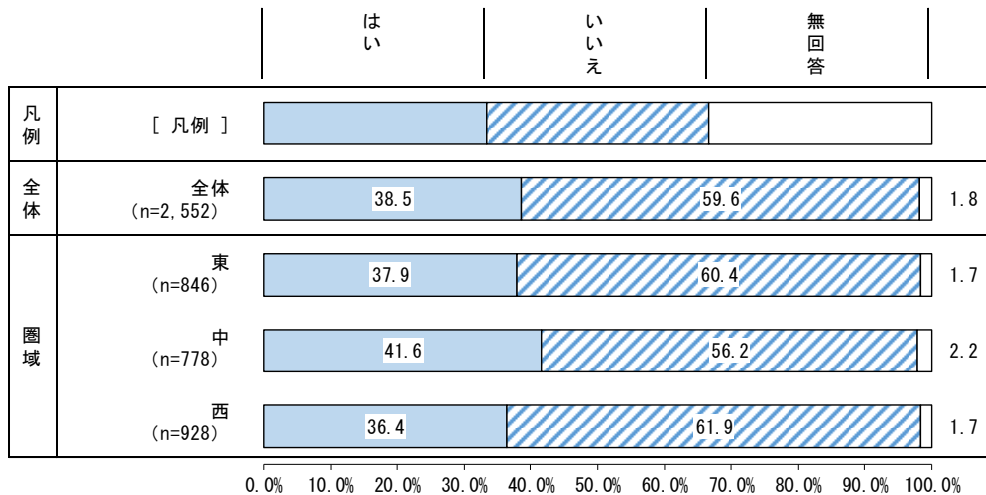
【健康についての記事や番組に関心があるか】



●問4.13 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

【全体】
○ 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が 38.5%、「いいえ」が 59.6%となっています。
【圏域】
○ 「はい」は中が 41.6%と他の圏域に比べてやや多くなっています。

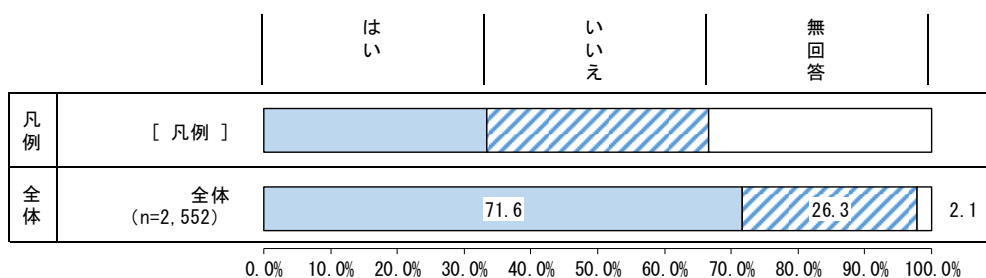
【友人の家を訪ねているか】



●問4.14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)

【全体】
○ 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 71.6%、「いいえ」が 26.3%となっています。

【家族や友人の相談にのっているか】

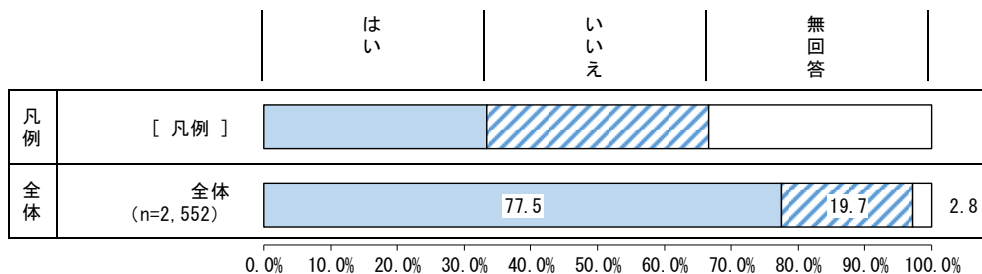


●問4.15 病人を見舞うことができますか。(1つに○)

【全体】

○ 病人を見舞うことができるかについて、「はい」が77.5%、「いいえ」が19.7%となっています。

【病人を見舞うことができるか】

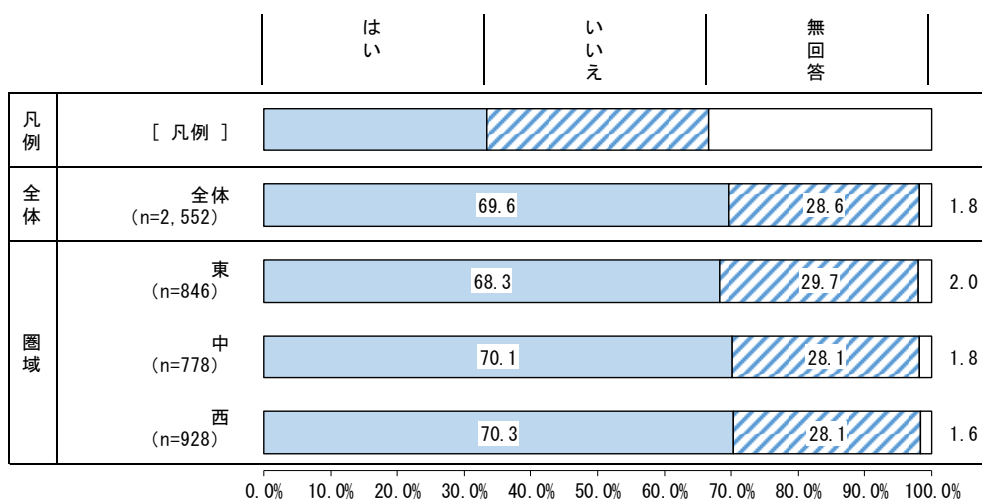


●問4.16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つに○)

【全体】

○ 若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が69.6%、「いいえ」が28.6%となっています。

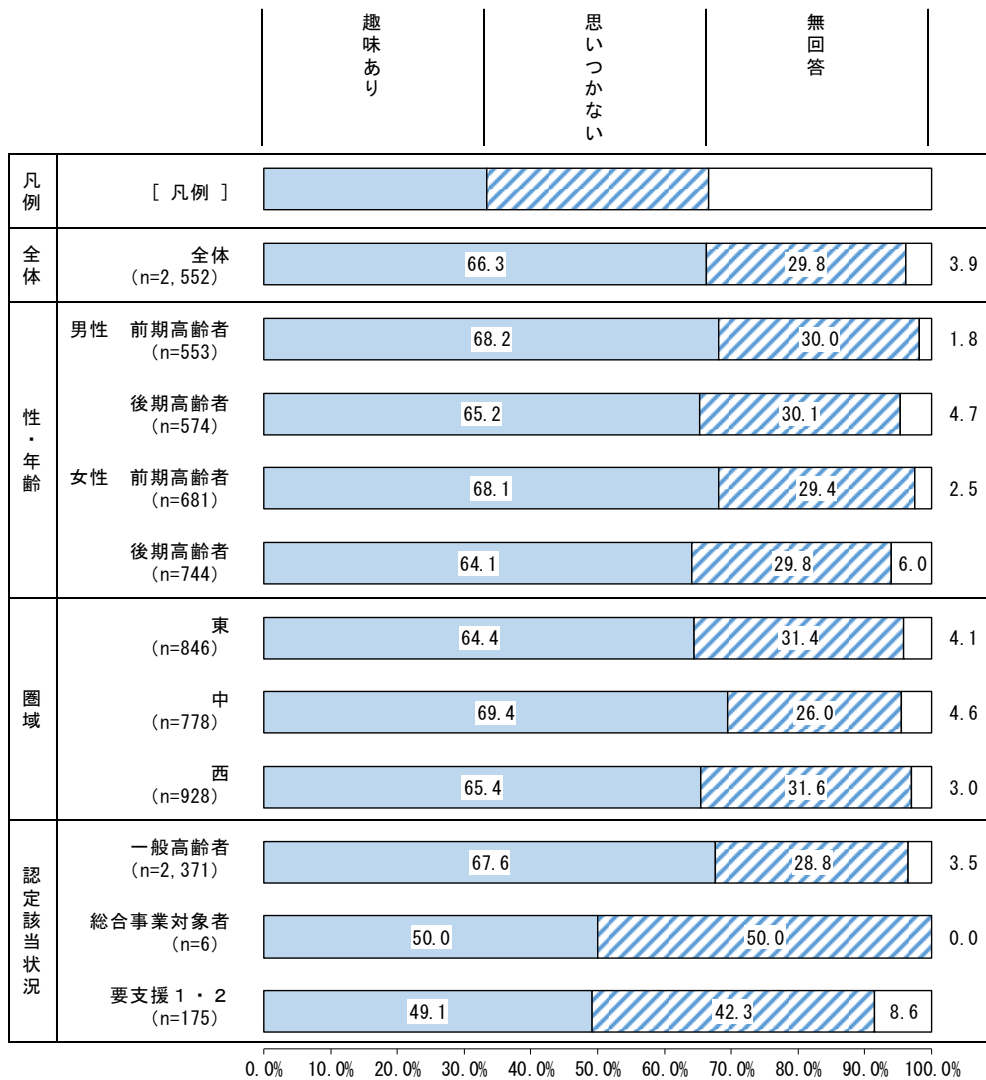
【若い人に自分から話しかけることがあるか】



●問4.17 趣味はありますか。(1つに○)

【全体】
○ 趣味の有無について、「趣味あり」が66.3%、「思いつかない」が29.8%となっています。
【認定該当状況】
○ 「趣味あり」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が少なくなっています。

【趣味の有無】



●問4.18 生きがいがありますか。(1つに○)

【全体】

○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が52.2%、「思いつかない」が42.3%となっています。

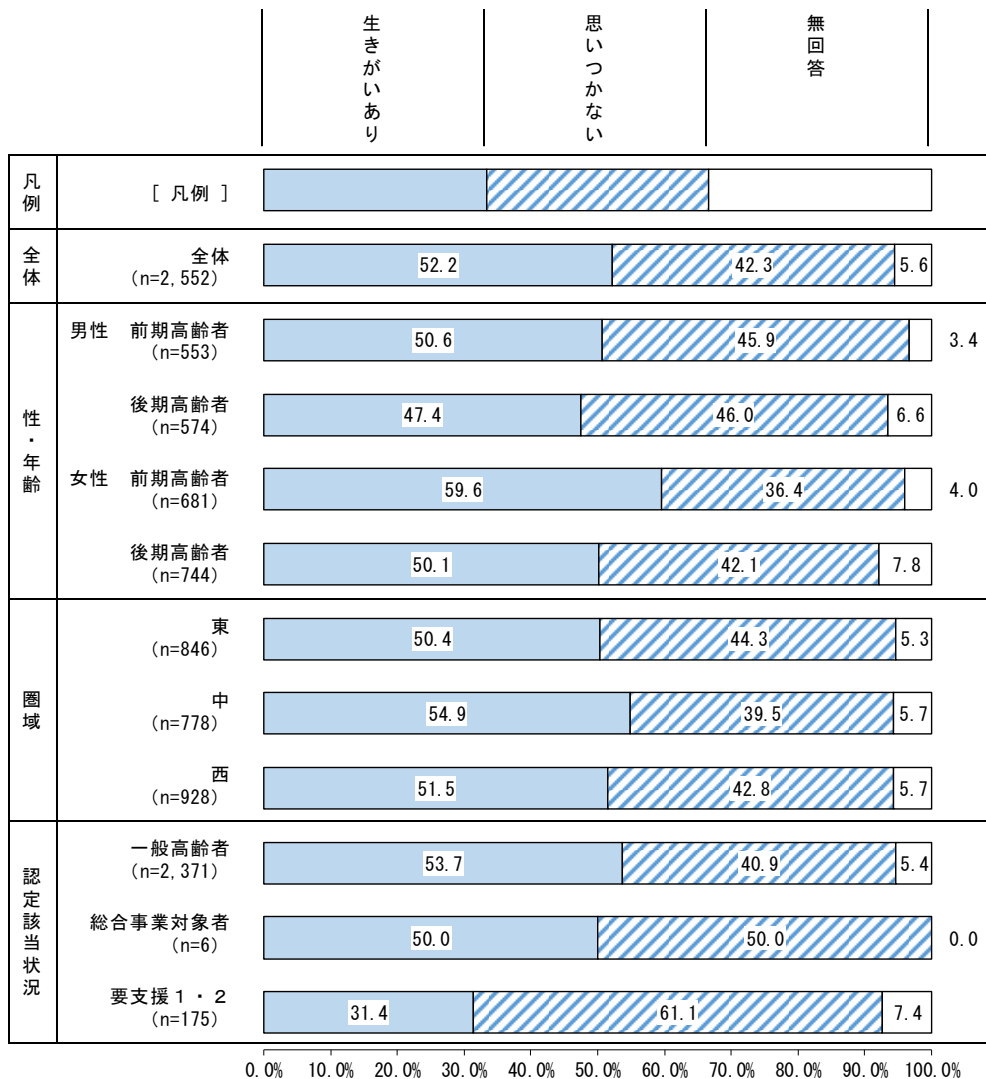
【性・年齢】

○ 女性 前期高齢者では「はい」が59.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「生きがいあり」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が少なくなっています。

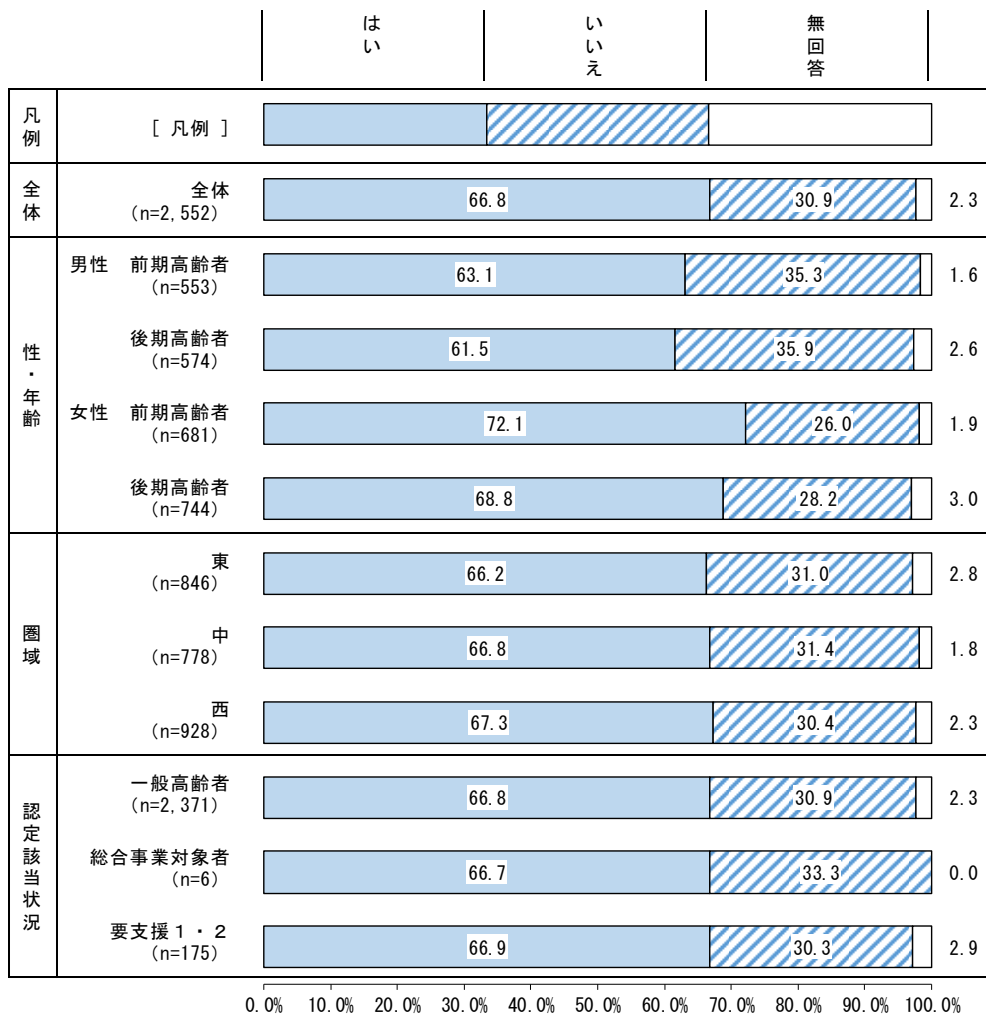
【生きがいの有無】



- 問4.19 新型コロナウイルス感染症の影響で、日常生活に変化がありましたか。
(1つに○)

【全体】	
○	コロナによる影響があったかについて、「はい」が66.8%、「いいえ」が30.9%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

【コロナによる影響があったか】

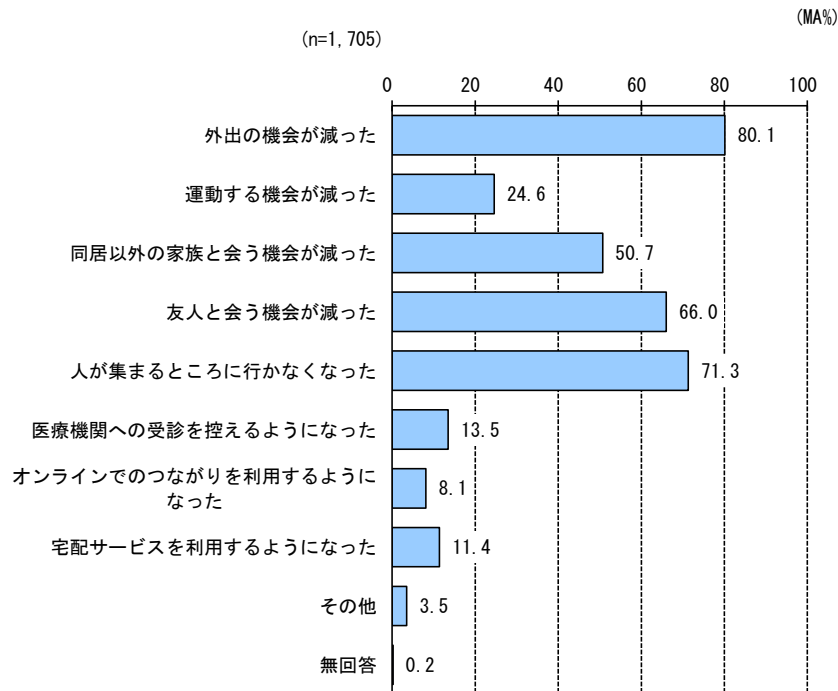


●問4.19-1 どのような変化がありましたか。(いくつでも)

【全体】

○ どのような変化があったかについて、「外出の機会が減った」が80.1%で最も多く、次いで「人が集まるところに行かなくなった」が71.3%、「友人と会う機会が減った」が66.0%となっています。

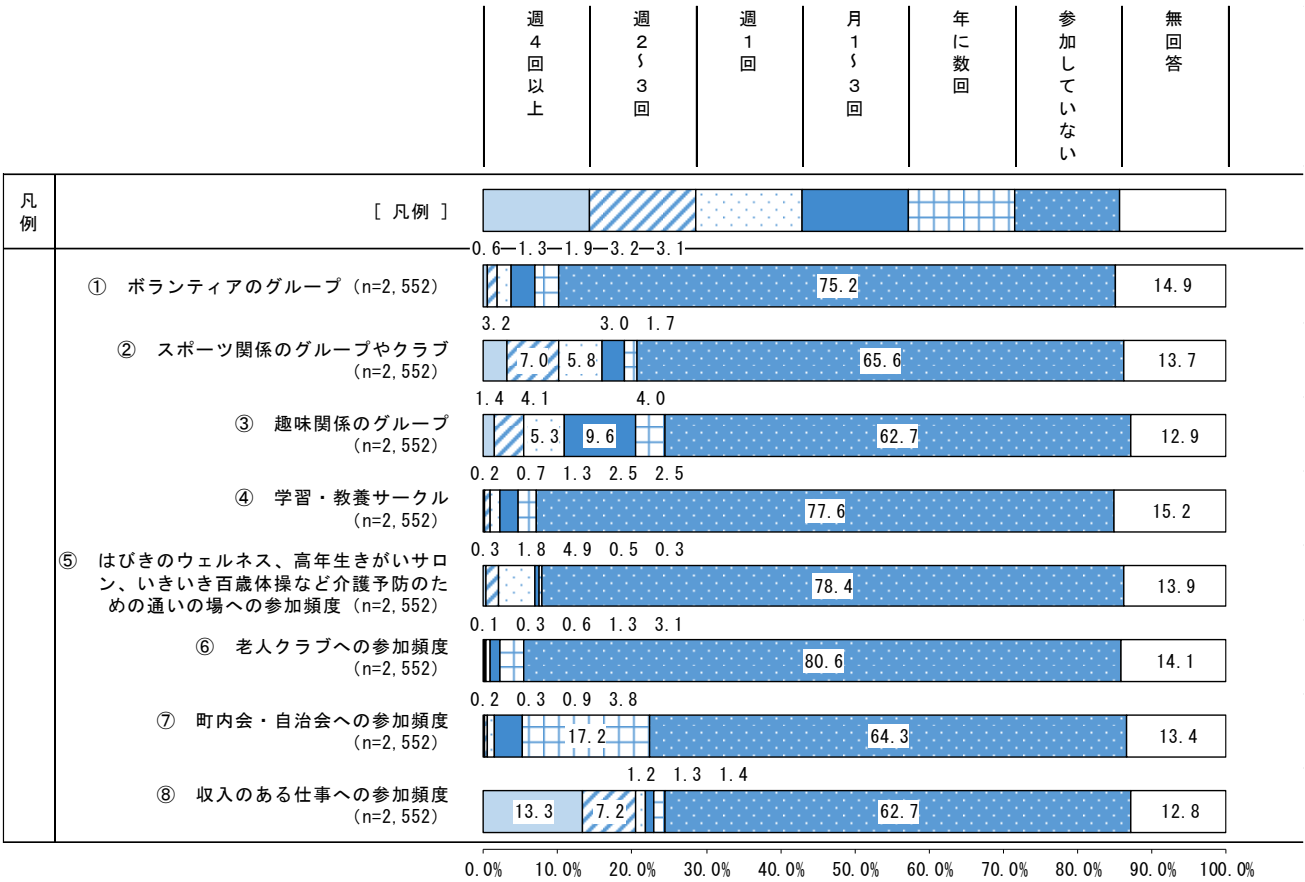
【どのような変化があったか】



(4) 活動への参加状況について

●問5.1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(①～⑧それぞれ1つ)

【会・グループへの参加頻度】

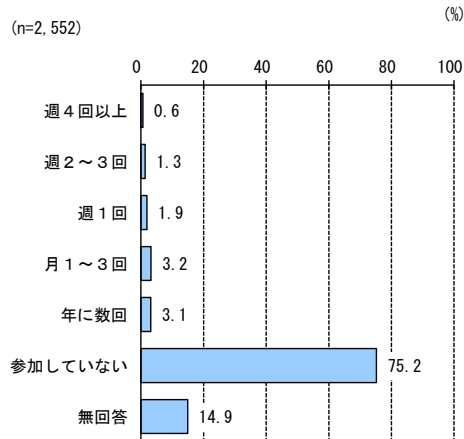


①ボランティアのグループ

【全体】

- ①ボランティアのグループについて、「参加していない」が75.2%で最も多く、次いで「月1～3回」が3.2%、「年に数回」が3.1%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は3.8%となっています。

【①ボランティアのグループ】



		母数 (n)	①ボランティアのグループ							“週1回以上参加している人”
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体		2,552	0.6	1.3	1.9	3.2	3.1	75.2	14.9	3.8
性・年齢	男性 前期高齢者	553	0.2	1.6	1.6	2.9	4.2	82.6	6.9	3.4
	後期高齢者	574	0.9	1.2	1.7	1.9	4.7	74.0	15.5	3.8
	女性 前期高齢者	681	0.4	0.6	2.5	3.7	2.2	78.9	11.7	3.5
	後期高齢者	744	0.8	1.7	1.6	3.9	1.7	67.1	23.1	4.1
圏域	東	846	0.4	1.7	1.9	3.3	4.0	74.7	14.1	4.0
	中	778	0.5	0.9	2.2	3.6	2.6	77.0	13.2	3.6
	西	928	0.9	1.3	1.6	2.7	2.6	74.0	16.9	3.8
認定該当状況	一般高齢者	2,371	0.6	1.3	1.8	3.4	3.2	75.3	14.4	3.7
	総合事業対象者	6	—	—	—	—	—	66.7	33.3	—
	要支援1・2	175	—	1.7	3.4	0.6	1.1	73.1	20.0	5.1

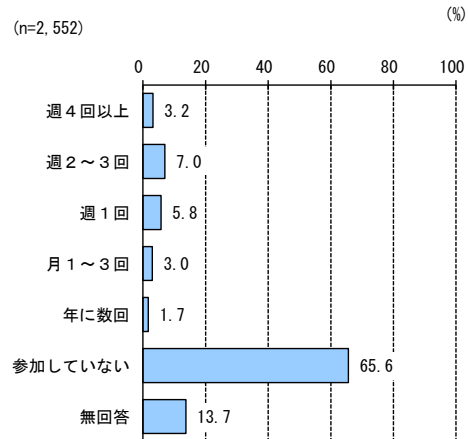
単位：％

②スポーツ関係のグループやクラブ

【全体】

- ②スポーツ関係のグループやクラブについて、「参加していない」が65.6%で最も多く、次いで「週2～3回」が7.0%、「週1回」が5.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は16.0%となっています。

【②スポーツ関係のグループやクラブ】



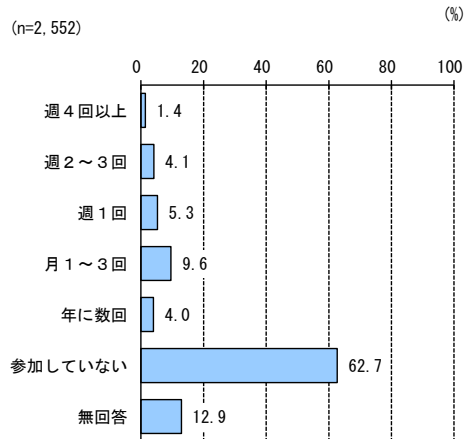
②スポーツ関係のグループやクラブ										単位：％
		母数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	“ 週 1 回 以 上 参 加 し て い る 人 ”
全体		2,552	3.2	7.0	5.8	3.0	1.7	65.6	13.7	16.0
性・年齢	男性 前期高齢者	553	3.1	3.6	2.9	3.3	4.0	76.7	6.5	9.6
	後期高齢者	574	3.3	4.9	3.5	3.0	2.1	68.8	14.5	11.7
	女性 前期高齢者	681	3.7	9.3	9.1	3.5	0.6	62.0	11.9	22.1
	後期高齢者	744	2.8	9.0	6.7	2.3	0.8	58.2	20.2	18.5
圏域	東	846	2.5	6.3	4.4	2.5	1.3	69.5	13.6	13.2
	中	778	2.8	9.0	6.0	2.7	2.7	64.7	12.1	17.8
	西	928	4.2	5.9	6.9	3.7	1.3	62.8	15.2	17.0
認定該当状況	一般高齢者	2,371	3.4	7.2	6.0	3.1	1.8	65.1	13.3	16.6
	総合事業対象者	6	—	△ 16.7	—	—	—	66.7	16.7	16.7
	要支援 1・2	175	0.6	4.6	2.3	1.1	0.6	72.0	18.9	7.5

③趣味関係のグループ

【全体】

- ③趣味関係のグループについて、「参加していない」が62.7%で最も多く、次いで「月1～3回」が9.6%、「週1回」が5.3%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は10.8%となっています。

【③趣味関係のグループ】



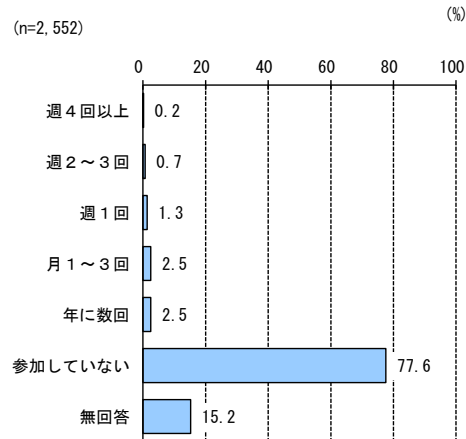
③趣味関係のグループ										単位：%
		母数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	“ 週 1 回 以 上 参 加 し て い る 人 ”
全体		2,552	1.4	4.1	5.3	9.6	4.0	62.7	12.9	10.8
性・年齢	男性 前期高齢者	553	1.3	2.2	4.2	6.7	6.9	72.5	6.3	7.7
	後期高齢者	574	1.9	3.5	3.3	7.8	5.7	63.1	14.6	8.7
	女性 前期高齢者	681	1.0	4.1	8.1	11.7	2.2	61.8	11.0	13.2
	後期高齢者	744	1.6	5.9	5.0	11.3	2.2	56.0	18.0	12.5
圏域	東	846	0.9	3.7	4.1	10.3	4.1	64.4	12.4	8.7
	中	778	1.3	5.5	6.7	10.7	4.8	59.9	11.2	13.5
	西	928	2.0	3.2	5.1	8.2	3.2	63.6	14.7	10.3
認定該当状況	一般高齢者	2,371	1.5	4.2	5.4	10.2	4.1	62.5	12.2	11.1
	総合事業対象者	6	—	—	—	—	—	66.7	33.3	—
	要支援1・2	175	1.1	2.9	4.0	2.9	2.9	65.1	21.1	8.0

④学習・教養サークル

【全体】

- ④学習・教養サークルについて、「参加していない」が77.6%で最も多く、次いで「月1～3回」「年に数回」が2.5%、「週1回」が1.3%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は2.2%となっています。

【④学習・教養サークル】



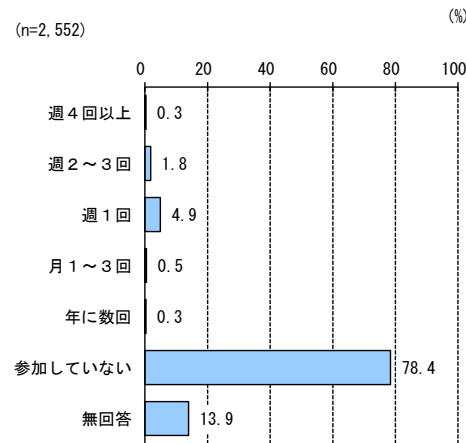
単位：％

		母数 (n)	④学習・教養サークル							“週1回以上参加している人”
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体		2,552	0.2	0.7	1.3	2.5	2.5	77.6	15.2	2.2
性・年齢	男性 前期高齢者	553	—	0.5	0.9	0.9	2.4	88.2	7.1	1.4
	後期高齢者	574	0.2	0.2	0.5	1.0	2.4	78.7	16.9	0.9
	女性 前期高齢者	681	0.4	0.6	2.1	4.0	2.8	78.4	11.7	3.1
	後期高齢者	744	0.1	1.5	1.5	3.4	2.3	68.1	23.1	3.1
圏域	東	846	0.2	1.1	1.2	2.2	3.2	77.8	14.3	2.5
	中	778	0.1	0.9	1.7	3.0	2.7	78.0	13.6	2.7
	西	928	0.2	0.3	1.1	2.3	1.6	77.2	17.3	1.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371	0.2	0.7	1.4	2.5	2.6	78.0	14.6	2.3
	総合事業対象者	6	—	—	—	—	—	83.3	16.7	—
	要支援1・2	175	—	1.1	—	1.7	0.6	72.6	24.0	1.1

⑤はびきのウェルネス、高年生きがいサロン、いきいき百歳体操など
介護予防のための通いの場

- 【全体】
- ⑤（地域のサロンなど）介護予防のための通いの場について、「参加していない」が78.4%で最も多く、次いで「週1回」が4.9%、「週2～3回」が1.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は7.0%となっています。
- 【幸福感】
- 幸福感が高いほど“週1回以上参加している人”が多くなる傾向があります。

【⑤介護予防のための通いの場】



単位：%

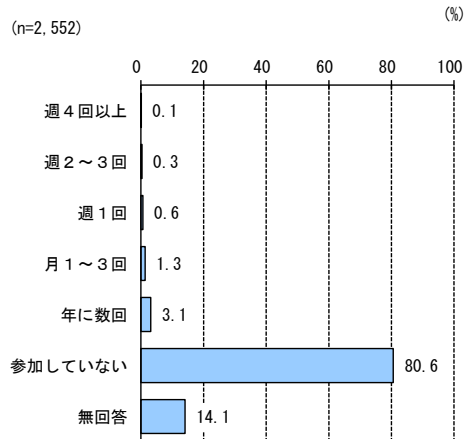
		⑤介護予防のための通いの場							“週1回以上参加している人”	
		母数 (n)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない		無回答
全体		2,552	0.3	1.8	4.9	0.5	0.3	78.4	13.9	7.0
性・年齢	男性 前期高齢者	553	—	0.9	1.1	—	—	△ 91.1	6.9	2.0
	後期高齢者	574	0.2	0.7	2.8	0.3	0.3	80.1	15.5	3.7
	女性 前期高齢者	681	0.3	1.0	6.0	0.3	0.1	80.5	11.7	7.3
	後期高齢者	744	0.5	3.9	8.2	1.1	0.5	▼ 65.9	19.9	12.6
圏域	東	846	0.1	2.5	3.8	0.7	0.4	78.8	13.7	6.4
	中	778	0.3	1.0	6.4	0.5	0.4	79.9	11.4	7.7
	西	928	0.4	1.7	4.5	0.2	0.1	76.8	16.2	6.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371	0.3	1.5	4.6	0.5	0.3	79.1	13.7	6.4
	総合事業対象者	6	—	—	—	—	—	83.3	16.7	—
	要支援1・2	175	—	5.1	8.0	—	—	69.7	17.1	13.1
主観的健康感	とてもよい	262	—	1.1	5.0	0.8	0.4	76.3	16.4	6.1
	まあよい	1,697	0.3	1.9	5.2	0.4	0.2	79.2	12.7	7.4
	あまりよくない	465	0.4	1.5	3.7	0.6	0.4	78.9	14.4	5.6
	よくない	75	—	2.7	4.0	—	—	80.0	13.3	6.7
幸福感	とても幸せ（10点）	328	0.6	1.8	5.5	0.9	0.3	73.8	17.1	7.9
	幸せ（7～9点）	1,174	0.2	1.9	5.9	0.5	0.4	78.8	12.4	8.0
	ふつう（4～6点）	840	0.4	1.7	3.7	0.2	0.1	81.7	12.3	5.8
	不幸（1～3点）	120	—	2.5	0.8	0.8	—	77.5	18.3	3.3
	とても不幸（0点）	18	—	—	5.6	—	—	83.3	11.1	5.6

⑥老人クラブ

【全体】

- ⑥老人クラブについて、「参加していない」が 80.6%で最も多く、次いで「年に数回」が 3.1%、「月1～3回」が 1.3%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は 1.0%となっています。

【⑥老人クラブ】



		母数 (n)	⑥老人クラブ							“週1回以上参加している人”
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体		2,552	0.1	0.3	0.6	1.3	3.1	80.6	14.1	1.0
性・年齢	男性 前期高齢者	553	－	0.2	－	0.7	2.2	△ 90.6	6.3	0.2
	後期高齢者	574	0.3	－	0.9	1.6	4.5	76.5	16.2	1.2
	女性 前期高齢者	681	－	0.3	0.3	0.4	2.1	85.0	11.9	0.6
	後期高齢者	744	－	0.5	1.2	2.2	3.8	72.2	20.2	1.7
圏域	東	846	0.1	0.4	0.5	1.3	3.1	80.5	14.2	1.0
	中	778	0.1	0.1	0.6	1.2	3.3	83.0	11.6	0.8
	西	928	－	0.3	0.8	1.3	3.0	78.6	16.1	1.1
認定該当状況	一般高齢者	2,371	0.1	0.3	0.7	1.3	3.0	81.3	13.5	1.1
	総合事業対象者	6	－	－	－	－	－	▼ 66.7	33.3	－
	要支援1・2	175	－	0.6	－	1.1	5.7	71.4	21.1	0.6

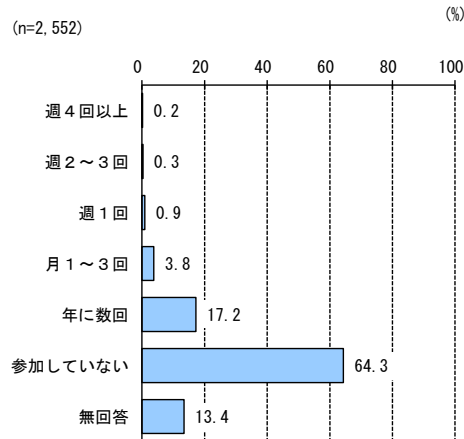
単位：％

⑦町内会・自治会

【全体】

- ⑦町内会・自治会について、「参加していない」が64.3%で最も多く、次いで「年に数回」が17.2%、「月1～3回」が3.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.4%となっています。

【⑦町内会・自治会】



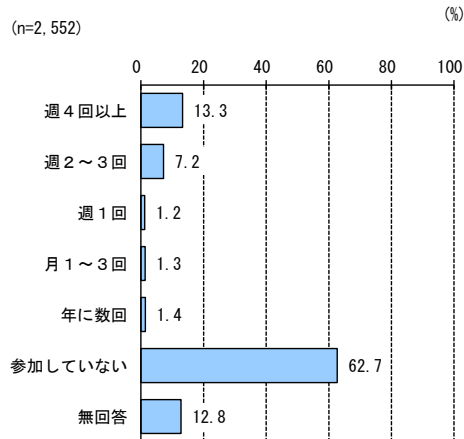
		母数 (n)	⑦町内会・自治会							単位：％
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	“ 週 1 回 以上 参加 して いる 人 ”
全体		2,552	0.2	0.3	0.9	3.8	17.2	64.3	13.4	1.4
性・年齢	男性 前期高齢者	553	0.4	0.2	0.9	5.4	18.1	68.9	6.1	1.5
	後期高齢者	574	0.2	0.2	0.5	3.8	19.3	62.0	13.9	0.9
	女性 前期高齢者	681	0.1	0.3	0.6	2.5	19.4	65.9	11.2	1.0
	後期高齢者	744	0.1	0.4	1.6	3.6	12.8	61.0	20.4	2.1
圏域	東	846	0.2	0.2	1.2	4.1	19.1	62.2	12.9	1.6
	中	778	0.1	0.5	0.9	3.3	17.5	66.3	11.3	1.5
	西	928	0.2	0.1	0.8	3.8	15.1	64.4	15.6	1.1
認定該当状況	一般高齢者	2,371	0.2	0.3	0.9	4.0	17.9	63.9	12.8	1.4
	総合事業対象者	6	－	－	－	－	－	66.7	33.3	－
	要支援 1・2	175	－	－	1.7	1.1	8.0	68.6	20.6	1.7

⑧収入のある仕事

【全体】

- ⑧収入のある仕事について、「参加していない」が 62.7%で最も多く、次いで「週4回以上」が 13.3%、「週2～3回」が 7.2%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は 21.7%となっています。

【⑧収入のある仕事】



		母数 (n)	⑧収入のある仕事							“ 週 1 回 以 上 参 加 し て い る 人 ”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体		2,552	13.3	7.2	1.2	1.3	1.4	62.7	12.8	21.7
性・年齢	男性 前期高齢者	553	△ 31.5	11.4	2.0	2.5	1.1	▼ 46.3	5.2	△ 44.9
	後期高齢者	574	7.5	5.4	0.7	1.2	3.3	66.6	15.3	13.6
	女性 前期高齢者	681	15.1	10.7	1.6	1.2	1.0	62.0	8.4	27.4
	後期高齢者	744	▼ 2.6	2.4	0.7	0.5	0.5	△ 72.7	20.6	▼ 5.7
圏域	東	846	13.0	7.7	1.7	1.4	1.9	60.9	13.5	22.4
	中	778	12.6	6.3	1.3	1.4	1.5	66.2	10.7	20.2
	西	928	14.1	7.7	0.8	1.1	0.9	61.5	14.0	22.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371	14.2	7.6	1.3	1.4	1.3	62.1	12.1	23.1
	総合事業対象者	6	—	—	—	—	—	66.7	33.3	—
	要支援 1・2	175	▼ 1.7	2.3	0.6	—	2.3	71.4	21.7	▼ 4.6

(5) 地域活動づくりへの参加意向

- 問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

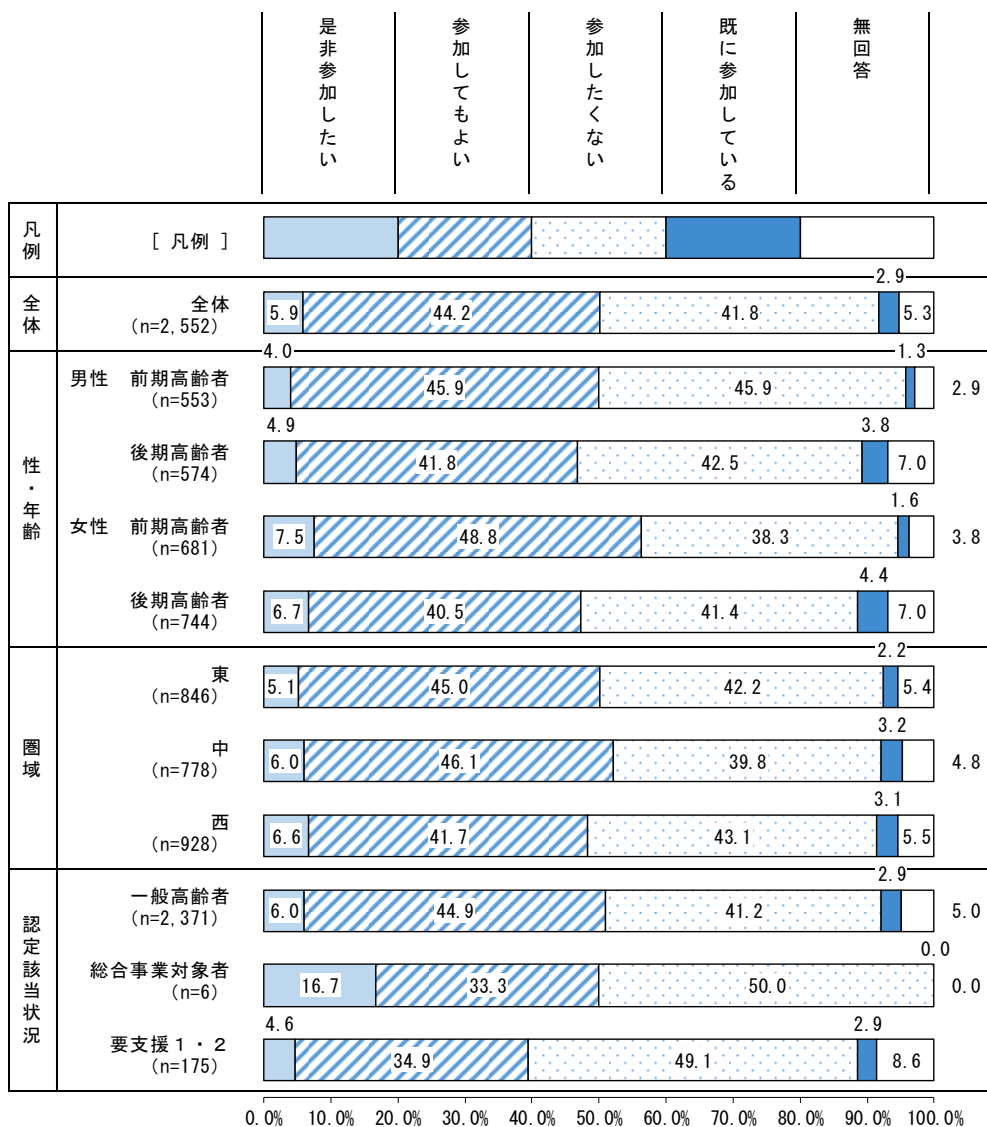
【全体】

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が44.2%で最も多く、次いで「参加したくない」が41.8%、「是非参加したい」が5.9%となっています。「既に参加している」「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は53.0%となっています。

【認定該当状況】

- “参加意向がある方”は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が少なくなっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】

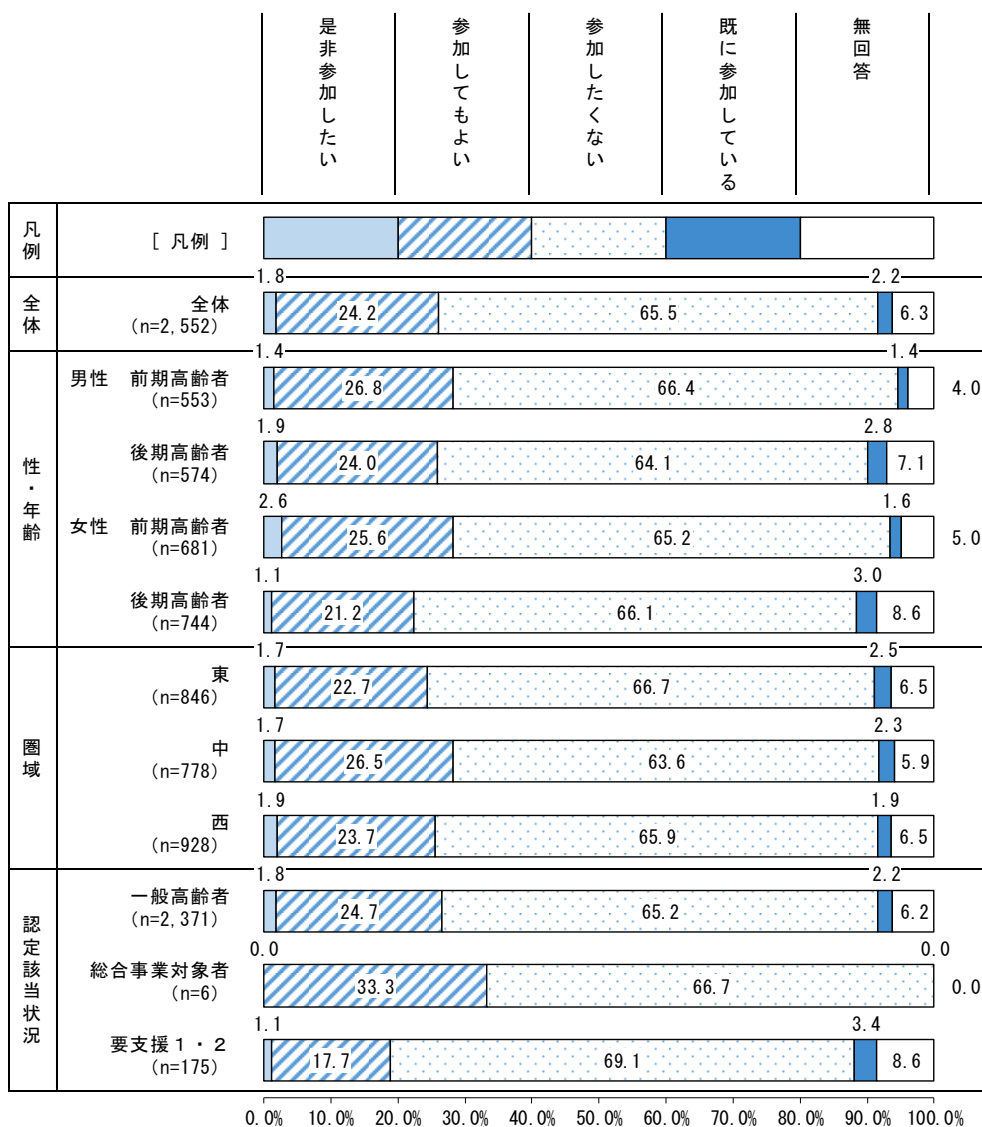


- 問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

【全体】

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が65.5%で最も多く、次いで「参加してもよい」が24.2%、「既に参加している」が2.2%となっています。「既に参加している」「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は28.2%となっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



7. たすけあいについて

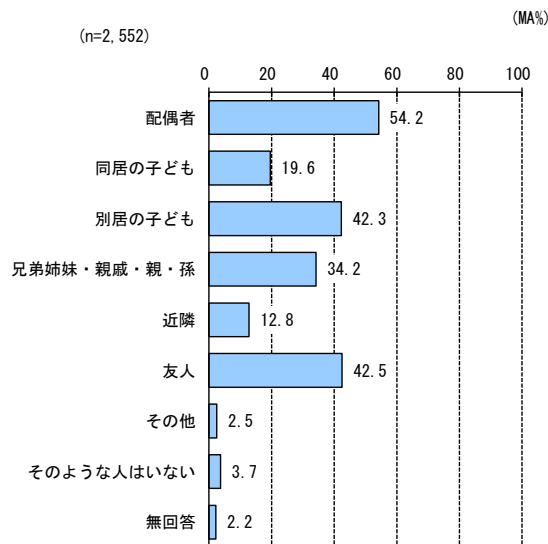
(1) 周囲との相互の関係

●問6.1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

【全体】

○ あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が54.2%で最も多く、次いで「友人」が42.5%、「別居の子ども」が42.3%となっています。

【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



単位：%

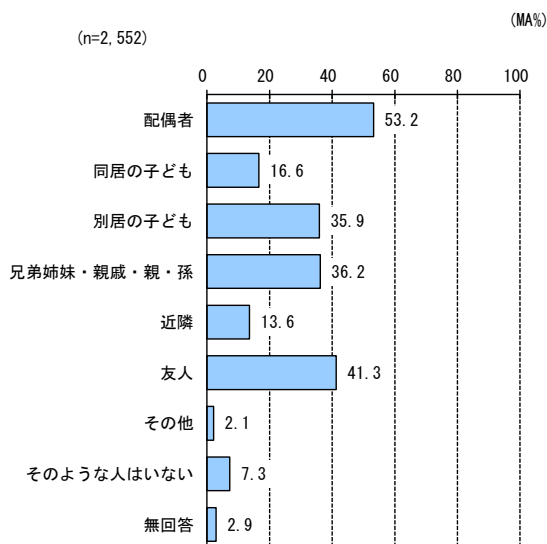
		母数 (n)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,552	54.2	19.6	42.3	34.2	12.8	42.5	2.5	3.7	2.2
性・年齢	男性 前期高齢者	553	△ 70.7	13.7	▼ 27.8	25.0	6.1	▼ 31.6	4.0	6.9	1.4
	後期高齢者	574	△ 69.9	13.9	38.3	26.3	8.9	▼ 23.5	1.4	5.1	3.5
	女性 前期高齢者	681	53.9	22.8	50.2	△ 45.1	15.3	△ 62.1	1.2	1.6	1.5
	後期高齢者	744	▼ 30.0	25.5	48.9	37.4	18.5	47.2	3.5	2.3	2.3
圏域	東	846	52.0	21.6	42.4	36.8	12.9	42.3	2.0	4.0	2.4
	中	778	58.1	19.0	43.4	34.3	12.6	43.1	2.6	2.8	2.2
	西	928	52.8	18.3	41.3	31.9	12.9	42.1	2.9	4.2	1.9

●問6.2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

【全体】

○ 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 53.2%で最も多く、次いで「友人」が 41.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 36.2%となっています。

【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



単位：%

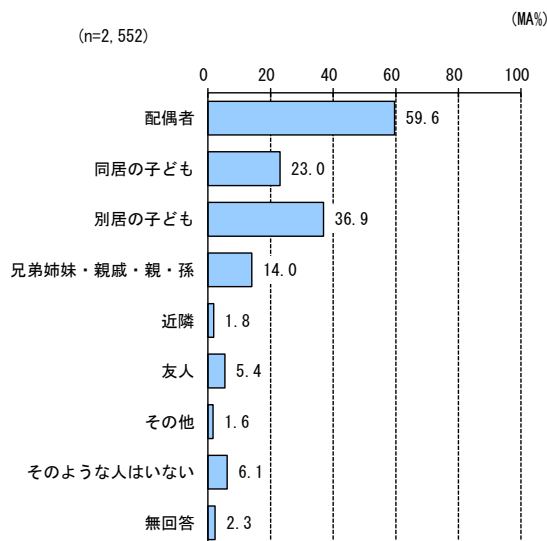
		母数 (n)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,552	53.2	16.6	35.9	36.2	13.6	41.3	2.1	7.3	2.9
性・年齢	男性 前期高齢者	553	△ 69.6	15.0	30.7	30.2	7.6	▼ 29.8	3.1	10.3	1.4
	後期高齢者	574	△ 69.5	12.9	32.9	30.7	7.5	▼ 21.3	1.2	9.1	4.2
	女性 前期高齢者	681	53.2	19.4	43.3	44.1	18.1	△ 62.4	2.1	2.2	2.3
	後期高齢者	744	▼ 28.5	18.1	35.2	37.9	18.8	46.1	2.0	8.3	3.5
圏域	東	846	50.9	18.0	35.0	40.0	14.3	41.3	1.7	7.7	2.6
	中	778	57.6	17.0	37.0	35.6	12.6	41.3	2.1	7.2	2.3
	西	928	51.6	15.1	35.8	33.4	13.9	41.5	2.5	7.0	3.7

●問6.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。
(いくつでも)

【全体】

- あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 59.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 36.9%、「同居の子ども」が 23.0%となっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



単位：%

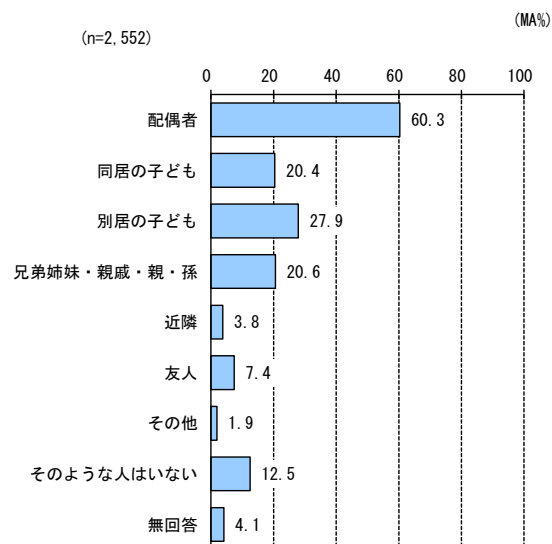
			あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (MA)									
			母数 (n)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体			2,552	59.6	23.0	36.9	14.0	1.8	5.4	1.6	6.1	2.3
性・年齢	男性	前期高齢者	553	△ 77.4	15.6	▼ 24.4	11.9	0.7	2.9	1.1	7.4	1.3
		後期高齢者	574	△ 77.0	17.2	33.8	13.2	1.7	2.8	1.2	4.9	2.1
	女性	前期高齢者	681	61.4	25.8	39.4	17.9	1.6	8.8	0.6	5.1	2.5
		後期高齢者	744	▼ 31.5	30.5	46.2	12.5	2.8	6.2	3.2	6.9	3.1
圏域	東		846	56.6	24.8	36.9	15.1	1.7	5.9	1.2	6.4	2.5
	中		778	63.5	23.1	38.6	12.3	2.1	5.9	1.7	4.4	1.9
	西		928	59.2	21.3	35.5	14.3	1.7	4.5	1.9	7.2	2.5

●問6.4 反対に、看病や世話をしあける人。(いくつでも)

【全体】

- 反対に、看病や世話をしあける人について、「配偶者」が60.3%で最も多く、次いで「別居の子ども」が27.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.6%となっています。

【反対に、看病や世話をしあける人(MA)】



◆たすけあい合計点

●たすけあいの合計点の算出方法

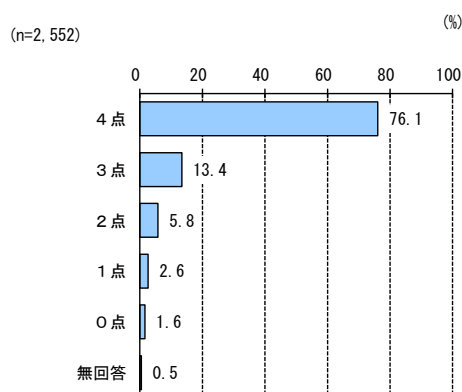
以下の設問に「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」「その他」のいずれかと回答した場合を1点として、4点満点で評価。

設問	配点
あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	1点
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	1点
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1点
反対に、看病や世話をしてあげる人	1点

【全体】

○ たすけあいの合計点について、「4点」が76.1%で最も多く、次いで「3点」が13.4%、「2点」が5.8%となっています。

【たすけあいの合計点】

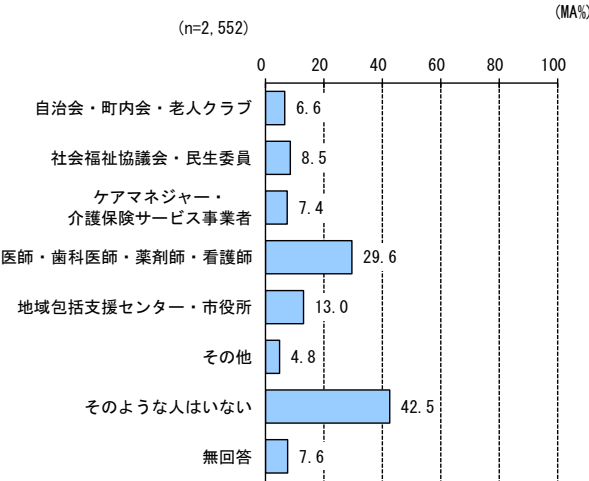


(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

●問6.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

【全体】	
○	何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が42.5%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が29.6%、「地域包括支援センター・市役所」が13.0%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「ケアマネジャー・介護保険サービス事業者」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が多くなっています。
【家族構成】	
○	「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー・介護保険サービス事業者」は1人暮らしがそれぞれ15.0%、10.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【何かあったときの相談相手 (MA)】



単位：%

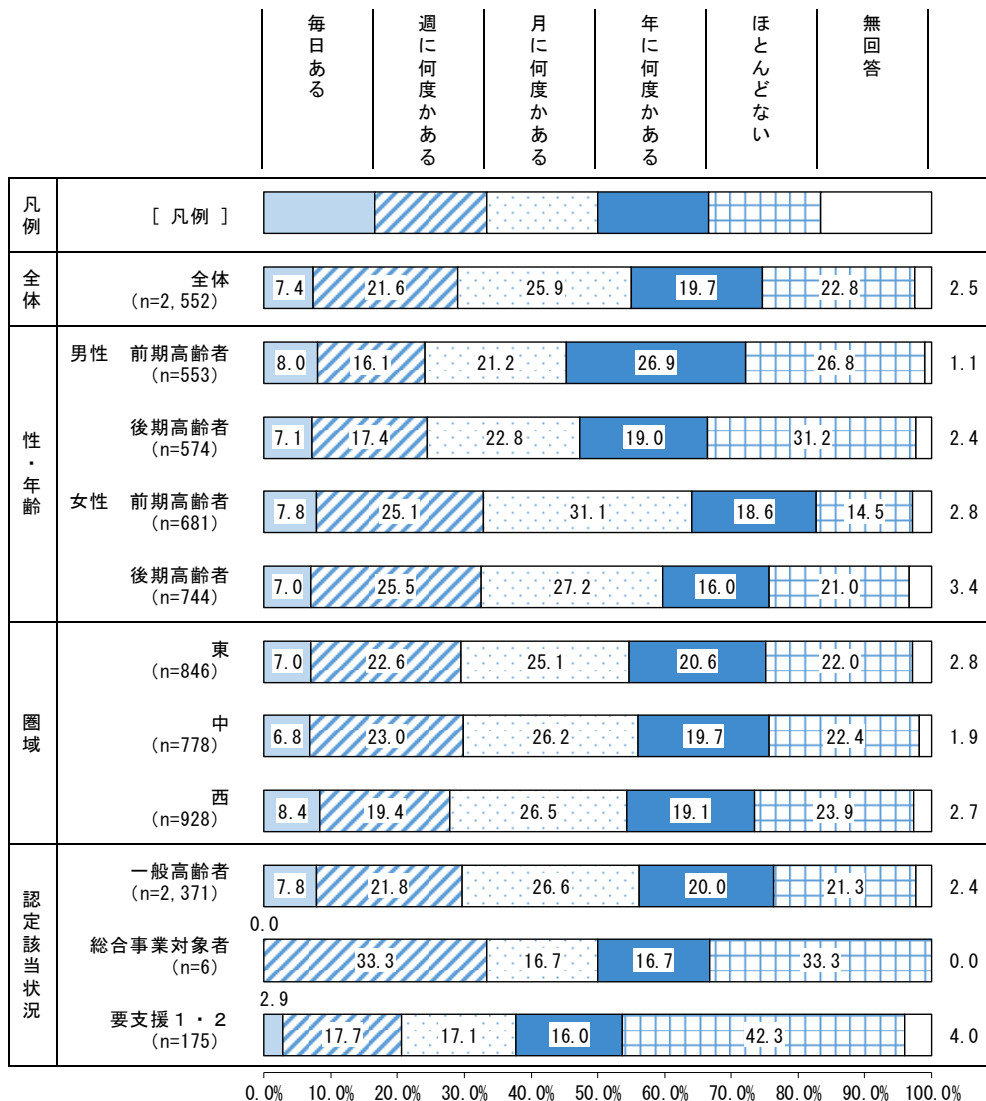
		母数 (n)	何かあったときの相談相手 (MA)							
			自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー・介護保険サービス事業者	医師・歯科医師・薬剤師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,552	6.6	8.5	7.4	29.6	13.0	4.8	42.5	7.6
性・年齢	男性 前期高齢者	553	7.4	4.7	3.6	31.3	10.8	5.8	48.1	2.7
	後期高齢者	574	10.1	10.3	7.0	34.7	13.9	3.0	39.0	7.8
	女性 前期高齢者	681	3.1	5.3	5.6	23.8	11.7	4.6	49.9	9.1
	後期高齢者	744	6.6	13.0	12.4	29.7	15.2	5.8	34.1	9.8
圏域	東	846	7.4	8.6	8.0	27.2	14.2	4.3	43.0	7.6
	中	778	5.5	9.3	8.2	31.9	14.1	4.5	40.2	6.7
	西	928	6.8	7.9	6.3	29.8	11.1	5.6	43.9	8.5
認定該当状況	一般高齢者	2,371	6.8	8.3	4.7	29.8	12.7	4.9	44.0	7.7
	総合事業対象者	6	-	16.7	△ 33.3	-	△ 50.0	-	▼ 16.7	-
	要支援1・2	175	4.6	12.0	△ 44.0	28.0	17.1	4.6	▼ 22.3	7.4
家族構成	1人暮らし	499	6.0	15.0	10.6	27.1	14.8	4.8	42.5	6.6
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,163	7.7	8.2	6.1	30.4	13.8	4.3	41.9	7.9
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	91	8.8	4.4	4.4	27.5	14.3	9.9	48.4	1.1
	息子・娘との2世帯	448	4.9	5.6	8.3	26.8	12.7	4.0	43.5	9.6
	その他	321	5.6	5.0	6.2	35.5	8.7	5.3	42.4	7.2

(3) 友人・知人との関係性

●問6.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

【全体】	
○	友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が25.9%で最も多く、次いで「ほとんどない」が22.8%、「週に何度かある」が21.6%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「ほとんどない」が多くなっています。特に、男性では31.2%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「ほとんどない」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が多くなっています。

【友人・知人と会う頻度】



●問6.7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つに○)

【全体】

○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「1～2人」が25.3%で最も多く、次いで「3～5人」が23.6%、「0人（いない）」が19.6%となっています。

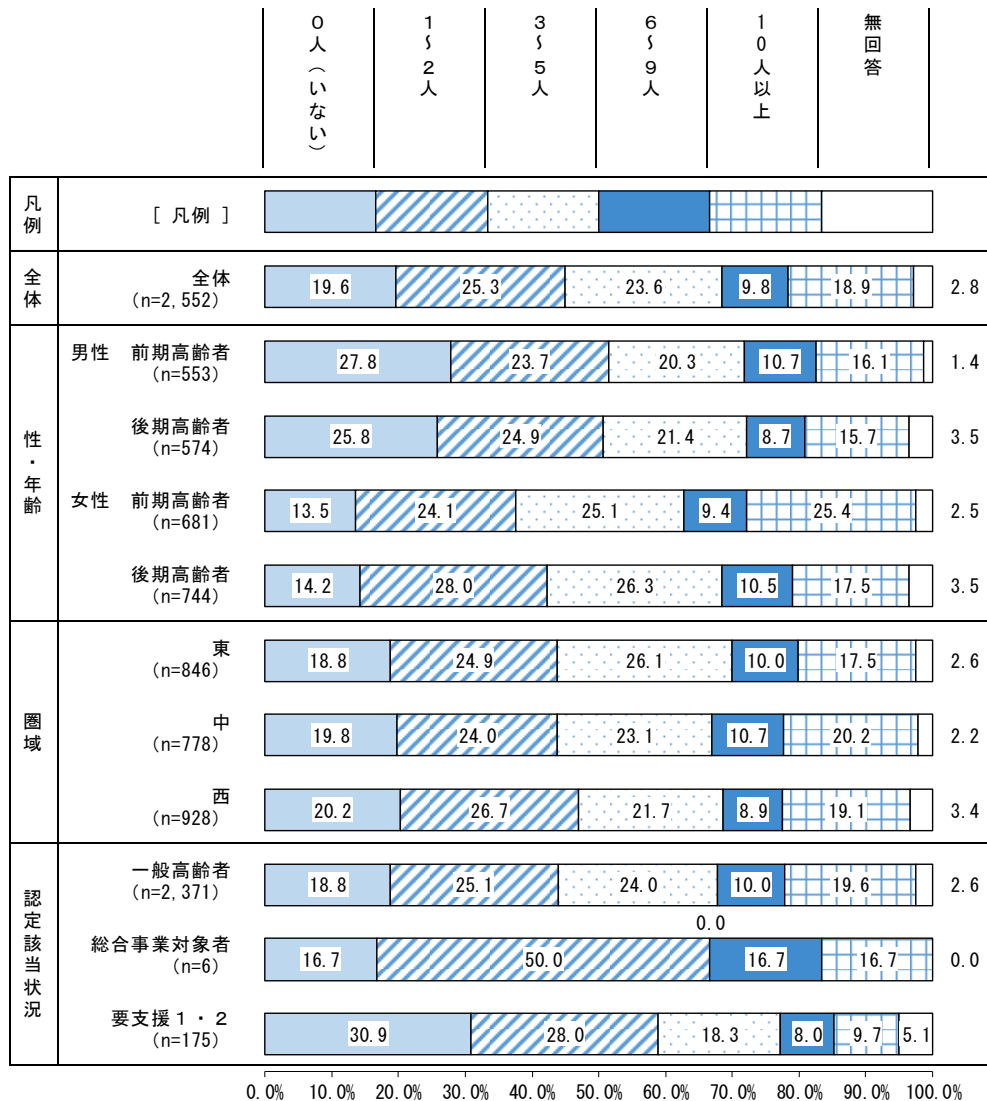
【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「0人（いない）」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 1か月間で会う友人・知人の人数は、一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が少なくなっています。

【この1か月間で会った友人・知人の数】



●問6.8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

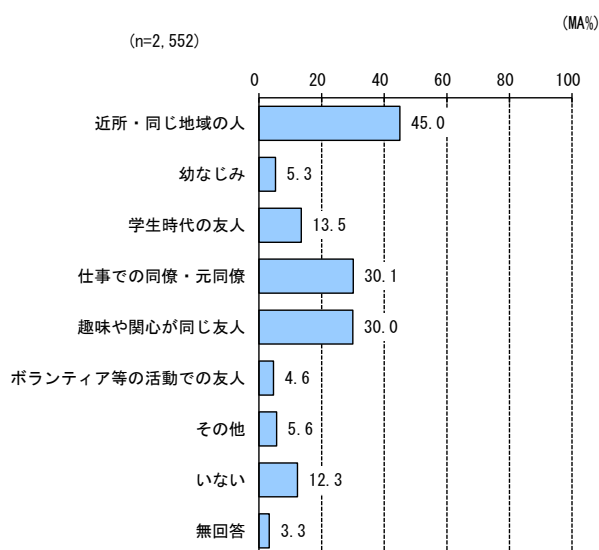
【全体】

- よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が45.0%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が30.1%、「趣味や関心が同じ友人」が30.0%となっています。

【性・年齢】

- 男性 前期高齢者では、「仕事での同僚・元同僚」が46.8%で最も多く、次いで「近所・同じ地域の人」が26.4%、「趣味や関心が同じ友人」が24.8%となっています。
- 女性 後期高齢者では、「近所・同じ地域の人」が59.0%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.3%、「仕事での同僚・元同僚」が13.7%となっています。

【よく会う友人・知人との関係(MA)】



単位：%

		よく会う友人・知人との関係(MA)								
	母数(n)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体	2,552	45.0	5.3	13.5	30.1	30.0	4.6	5.6	12.3	3.3
性・年齢	男性 前期高齢者	553 ▼ 26.4	6.3	17.4	△ 46.8	24.8	3.1	4.0	17.2	1.6
	後期高齢者	574 40.4	4.7	11.0	27.0	26.1	4.0	4.5	17.8	4.9
	女性 前期高齢者	681 48.8	4.4	16.2	37.0	35.1	5.6	6.3	8.1	2.9
	後期高齢者	744 △ 59.0	5.8	10.2	▼ 13.7	32.3	5.4	7.0	8.5	3.5
圏域	東	846 47.2	6.0	12.8	30.4	28.0	4.1	5.4	12.1	3.5
	中	778 45.0	5.1	15.2	28.1	32.6	5.0	6.2	12.7	2.6
	西	928 43.1	4.7	12.8	31.5	29.6	4.7	5.3	12.3	3.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371 44.8	5.3	14.0	31.8	30.8	4.8	5.4	11.6	3.0
	総合事業対象者	6 △ 66.7	△ 33.3	16.7	-	-	-	△ 16.7	16.7	-
	要支援1・2	175 46.9	4.0	6.9	▼ 7.4	▼ 20.0	2.3	8.6	△ 22.9	7.4

8. 健康について

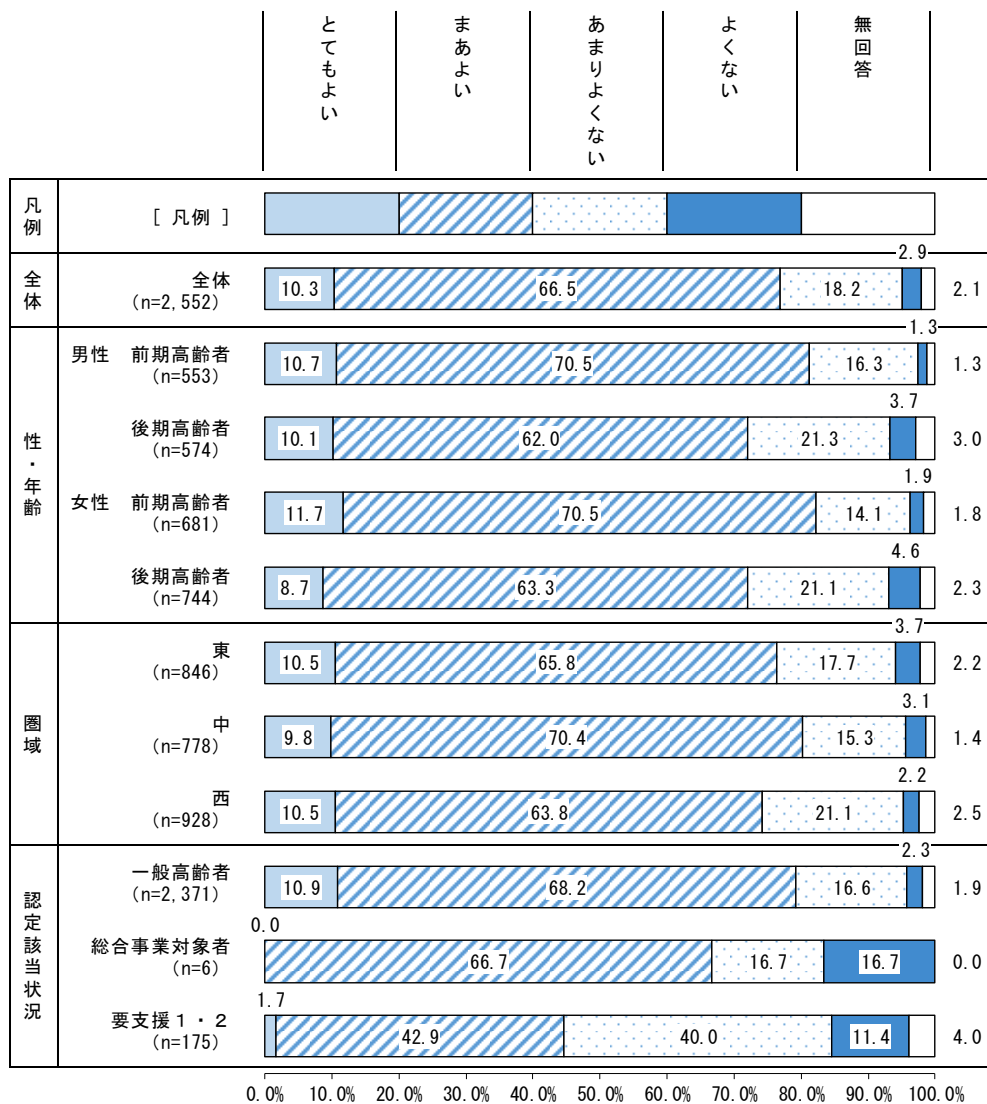
(1) 健康状態

① 主観的な健康感

●問7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

【全体】	
○	主観的健康感について、「まあよい」が 66.5%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 18.2%、「とてもよい」が 10.3%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は 76.8%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない方”は 21.1%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“よい方”が多くなっています。
【圏域】	
○	“よい方”は中が 80.2%と他の圏域に比べて多くなっています。

【主観的健康感】



② こころの健康

●問7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。（1つに○）

【全体】

○ 幸福感について、「幸せ（7～9点）」が46.0%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が32.9%、「とても幸せ（10点）」が12.9%となっています。

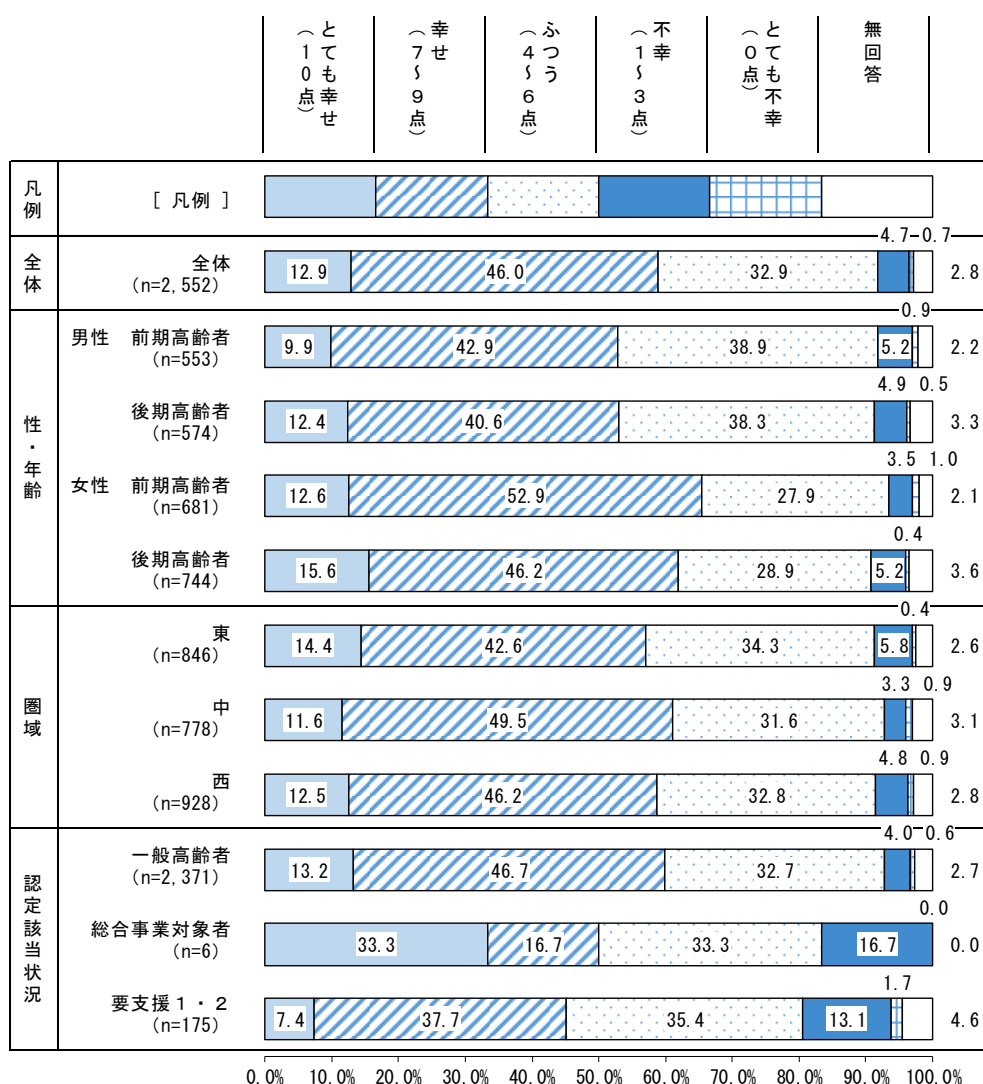
【性・年齢】

○ 「とても幸せ（10点）」は女性 後期高齢者が15.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ “幸せな方（7点以上）”は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が少なくなっています。

【幸福感】

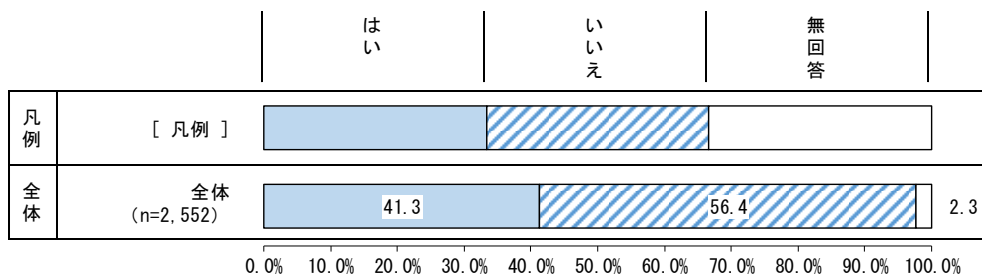


- 問7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

【全体】

○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が41.3%、「いいえ」が56.4%となっています。

【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】

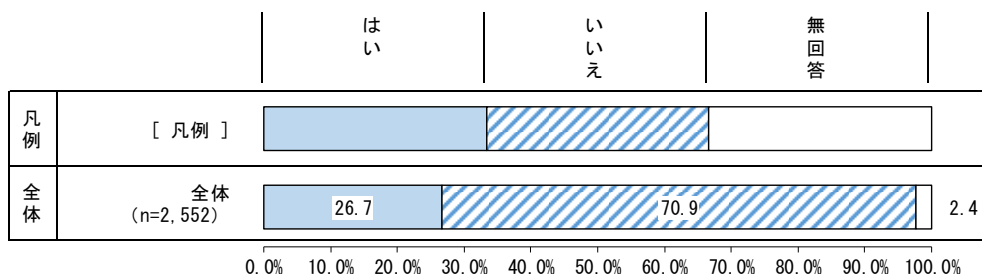


- 問7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

【全体】

○ どうしても物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が26.7%、「いいえ」が70.9%となっています。

【どうしても物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったか】



◆うつリスク

●うつリスクの判定方法

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

【全体】

○ うつのリスクについて、「該当」が45.3%、「非該当」が54.7%となっています。

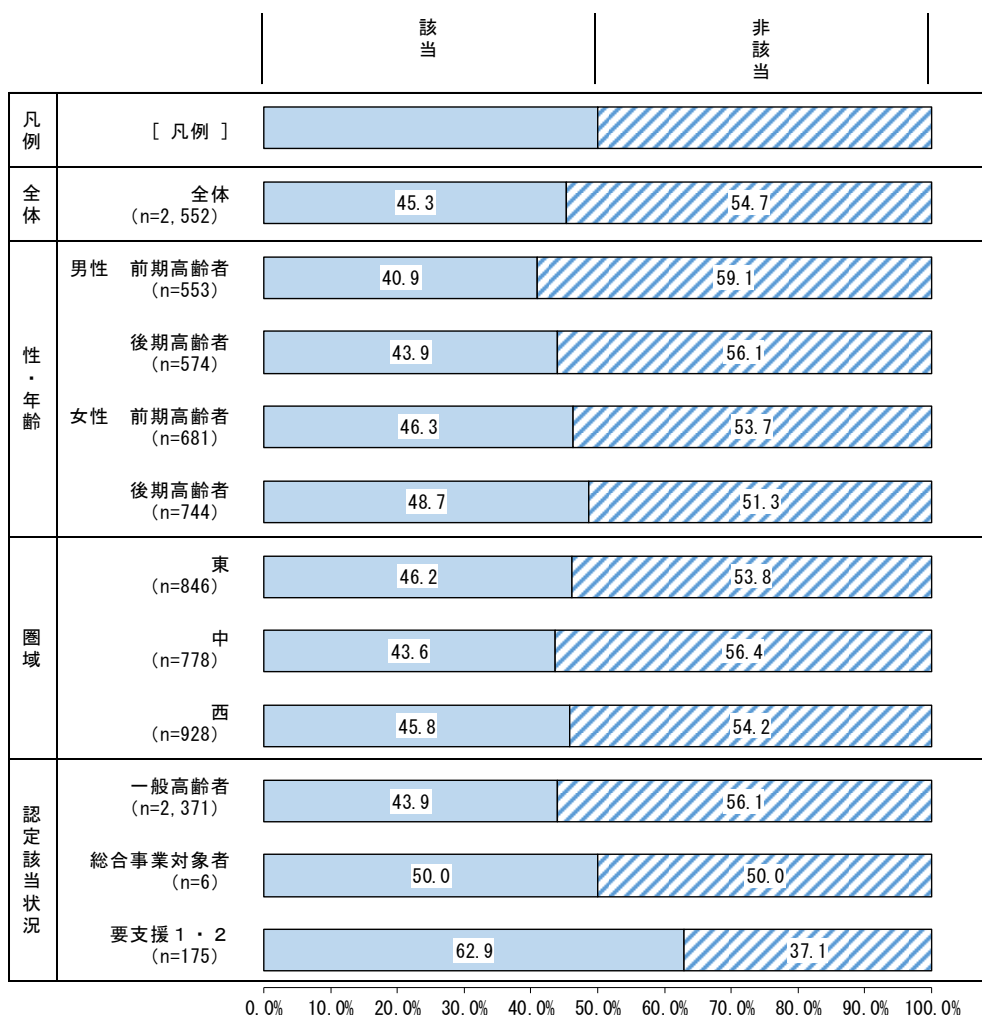
【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」がやや多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当」は一般高齢者に比べて、要支援1・2の方が多くなっています。

【うつのリスク】



(2) 飲酒・喫煙

●問7.5 お酒は飲みますか。(1つに○)

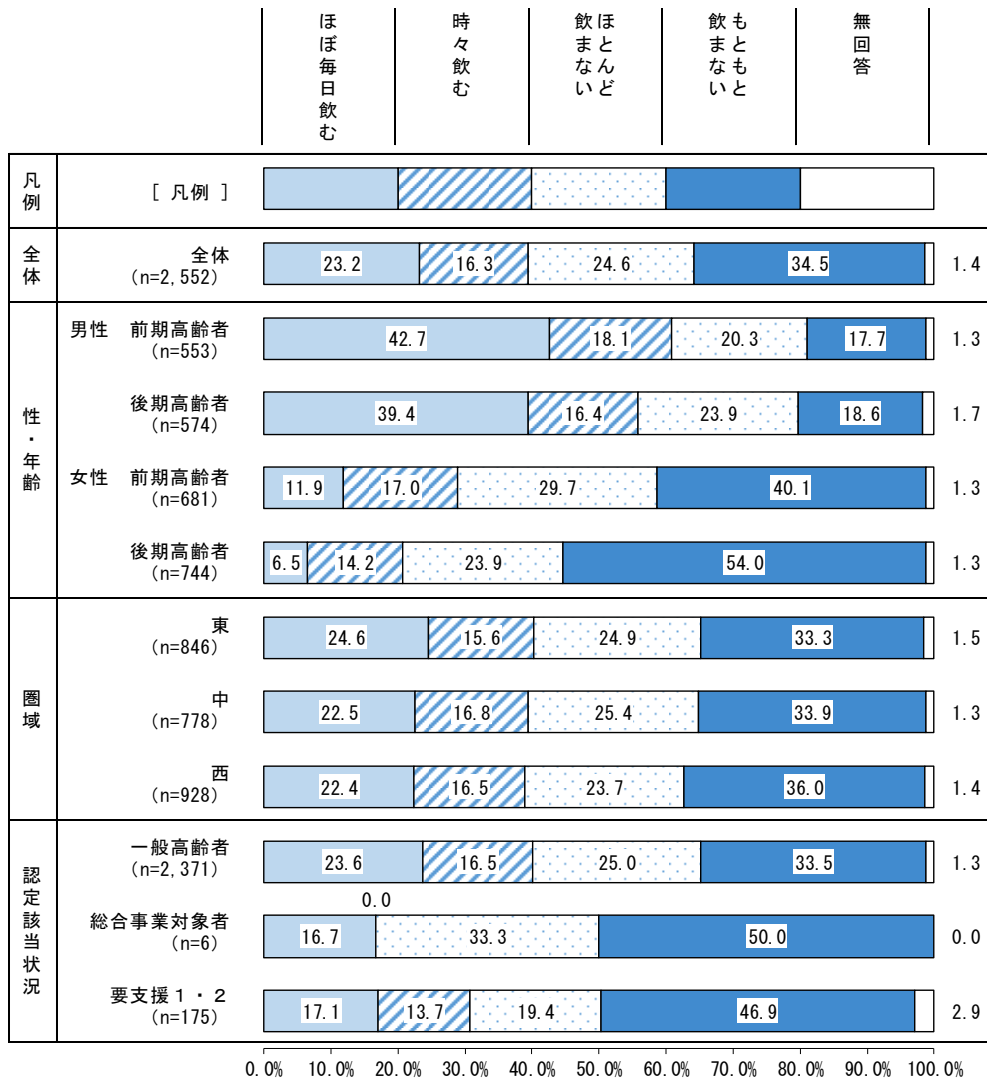
【全体】

○ 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が34.5%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が24.6%、「ほぼ毎日飲む」が23.2%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」が多くなっています。

【飲酒の状況】



●問7.6 タバコは吸っていますか。(1つに○)

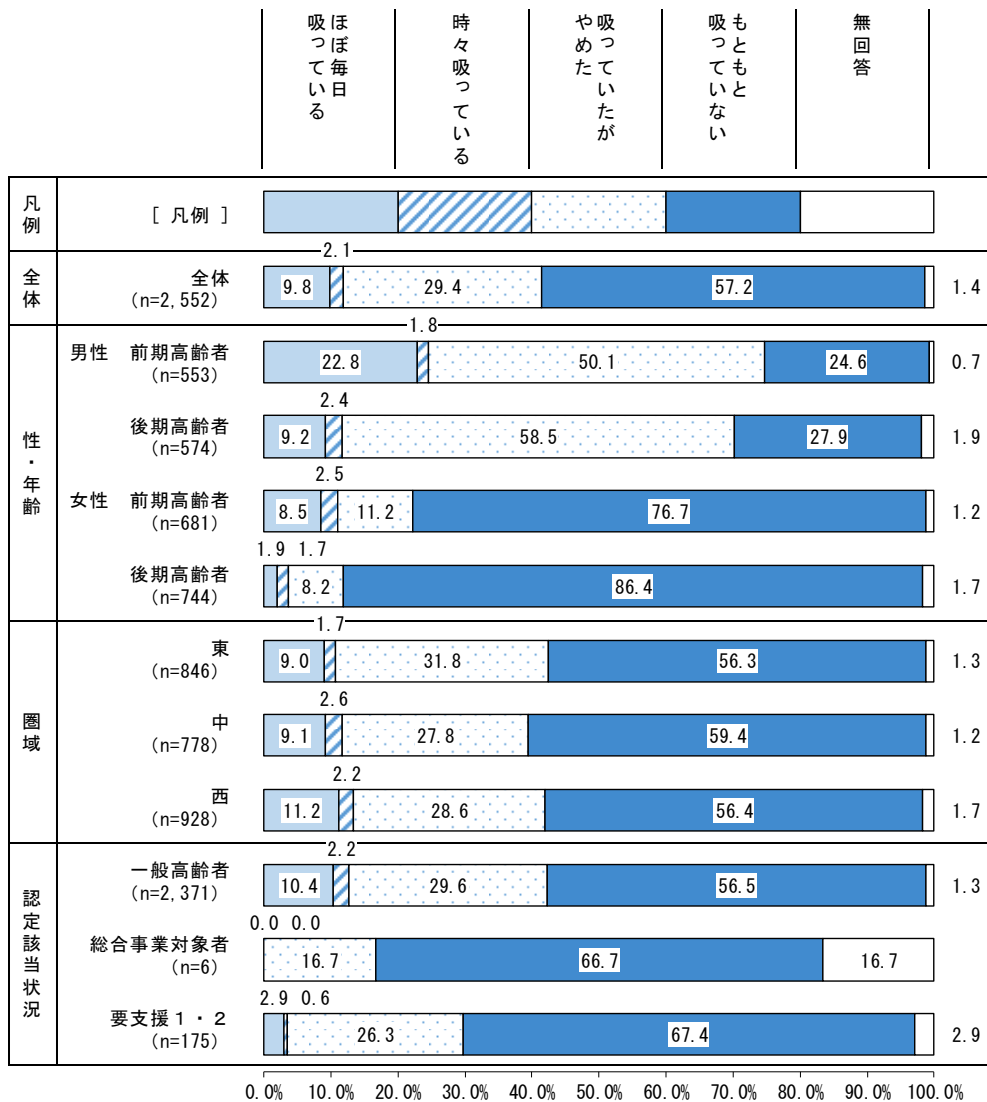
【全体】

○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が57.2%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.4%、「ほぼ毎日吸っている」が9.8%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほぼ毎日吸っている」が多くなっています。特に、前期高齢者では22.8%となっています。

【喫煙の状況】



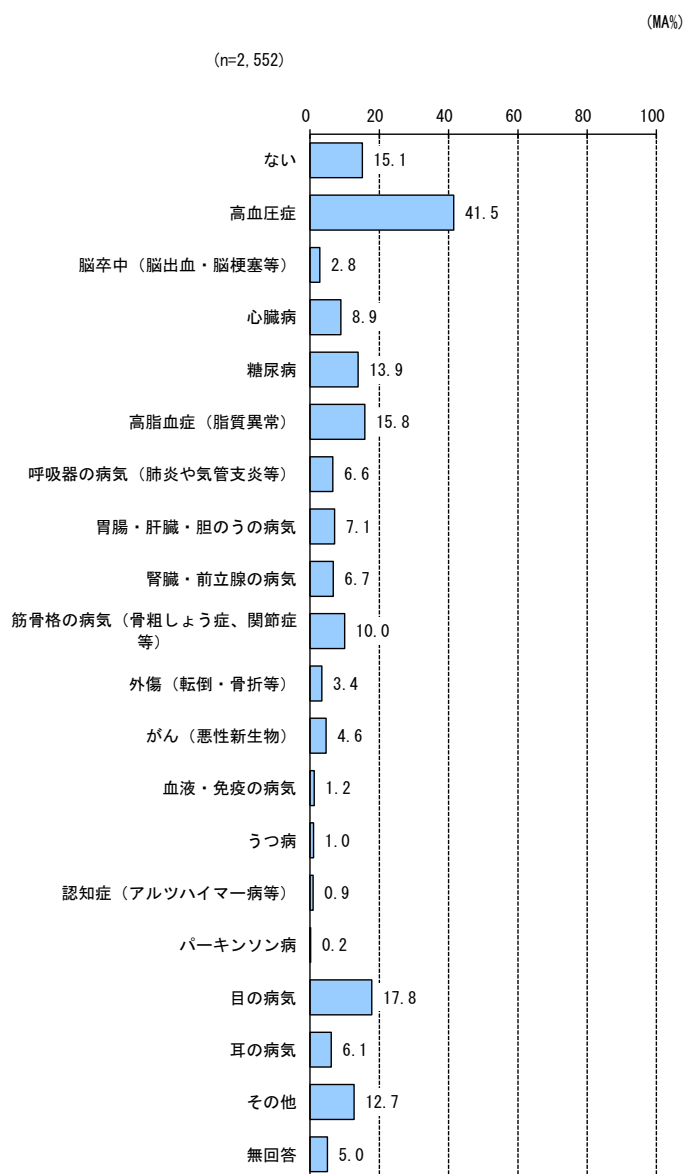
(3) 病気の状況

●問7.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

【全体】

○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧症」が41.5%で最も多く、次いで「目の病気」が17.8%、「高脂血症（脂質異常）」が15.8%となっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



【性・年齢】

- 男性 前期高齢者では、「高血圧症」が 41.4%で最も多く、次いで「糖尿病」が 18.3%、「ない」が 17.5%となっています。
- 女性 前期高齢者では、「高血圧症」が 32.9%で最も多く、次いで「ない」が 21.9%、「高脂血症（脂質異常）」が 20.7%となっています。

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)									
			ない	高血圧症	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全体		2,552	15.1	41.5	2.8	8.9	13.9	15.8	6.6	7.1	6.7	10.0
性・年齢	男性 前期高齢者	553	17.5	41.4	3.6	9.0	18.3	14.3	6.0	6.5	8.1	4.3
	後期高齢者	574	10.1	45.3	5.1	14.3	19.5	11.8	9.1	9.9	△ 17.1	5.7
	女性 前期高齢者	681	21.9	32.9	1.2	4.4	8.5	20.7	5.1	4.7	1.3	9.7
	後期高齢者	744	11.0	46.5	1.9	8.7	11.2	15.5	6.5	7.4	2.7	17.6
圏域	東	846	16.8	40.2	2.7	9.3	13.0	15.4	7.6	8.0	6.5	10.2
	中	778	13.9	40.4	3.0	9.3	15.2	17.7	6.8	6.3	6.6	9.8
	西	928	14.7	43.6	2.7	8.2	13.6	14.5	5.5	6.8	7.1	9.9
認定該当状況	一般高齢者	2,371	16.1	40.8	2.3	8.6	13.2	16.1	5.9	6.7	6.4	9.1
	総合事業対象者	6	—	50.0	△ 16.7	16.7	—	—	△ 33.3	16.7	—	△ 33.3
	要支援 1・2	175	▼ 2.9	50.3	8.6	12.6	23.4	12.6	14.3	10.9	12.0	△ 21.1

単位：％

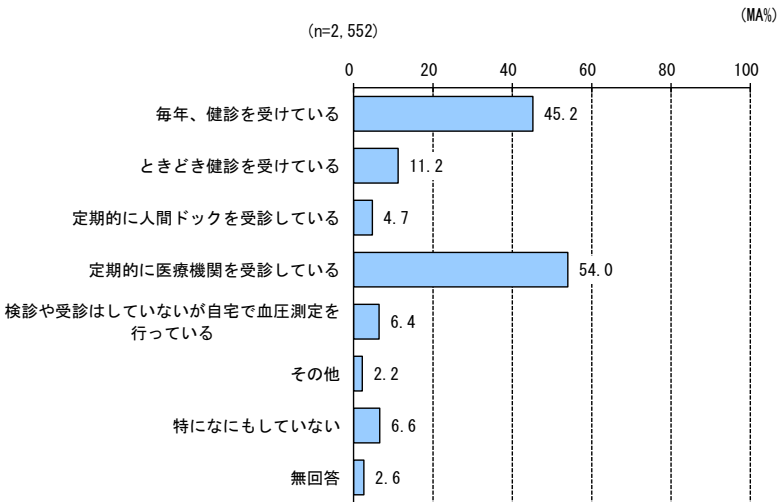
		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)									
			外傷 （転倒・骨折等）	がん （悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 （アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2,552	3.4	4.6	1.2	1.0	0.9	0.2	17.8	6.1	12.7	5.0
性・年齢	男性 前期高齢者	553	1.3	5.8	1.4	0.7	0.2	0.4	14.3	4.3	10.7	3.6
	後期高齢者	574	3.3	6.1	0.7	0.5	1.2	—	18.6	8.4	11.1	4.9
	女性 前期高齢者	681	3.2	3.5	0.9	1.5	0.1	0.1	15.1	4.0	14.0	6.0
	後期高齢者	744	5.4	3.6	1.6	1.2	1.9	0.3	22.0	7.5	14.1	5.1
圏域	東	846	3.3	5.1	1.2	1.2	0.9	—	18.8	5.9	11.3	5.1
	中	778	2.7	5.5	1.2	1.0	0.5	0.3	16.8	5.8	12.5	4.2
	西	928	4.2	3.4	1.2	0.9	1.2	0.3	17.6	6.5	14.0	5.5
認定該当状況	一般高齢者	2,371	2.6	4.8	1.1	0.9	0.7	0.1	16.8	5.5	12.4	5.0
	総合事業対象者	6	—	—	—	—	—	—	△ 33.3	△ 50.0	—	16.7
	要支援 1・2	175	△ 15.4	2.9	2.9	2.9	3.4	1.1	△ 30.3	12.6	17.1	4.6

(4) 健康管理

●問7.8 普段、定期的に健康管理をしていますか。(いくつでも)

【全体】
○ 普段の健康管理について、「定期的に医療機関を受診している」が54.0%で最も多く、次いで「毎年、健診を受けている」が45.2%、「ときどき健診を受けている」が11.2%となっています。

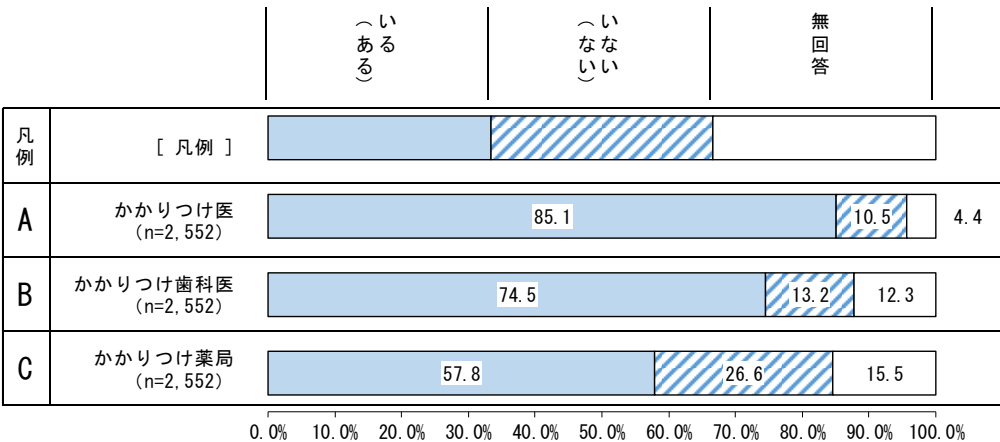
【普段の健康管理】



●問7.9 身近な医療の専門家はいますか。(A～Cそれぞれ1つに○)

【全体】
○ かかりつけ医について、「いる」が85.1%、「いない」が10.5%となっています。
○ かかりつけ歯科医について、「いる」が74.5%、「いない」が13.2%となっています。
○ かかりつけ薬局について、「ある」が57.8%、「ない」が26.6%となっています。

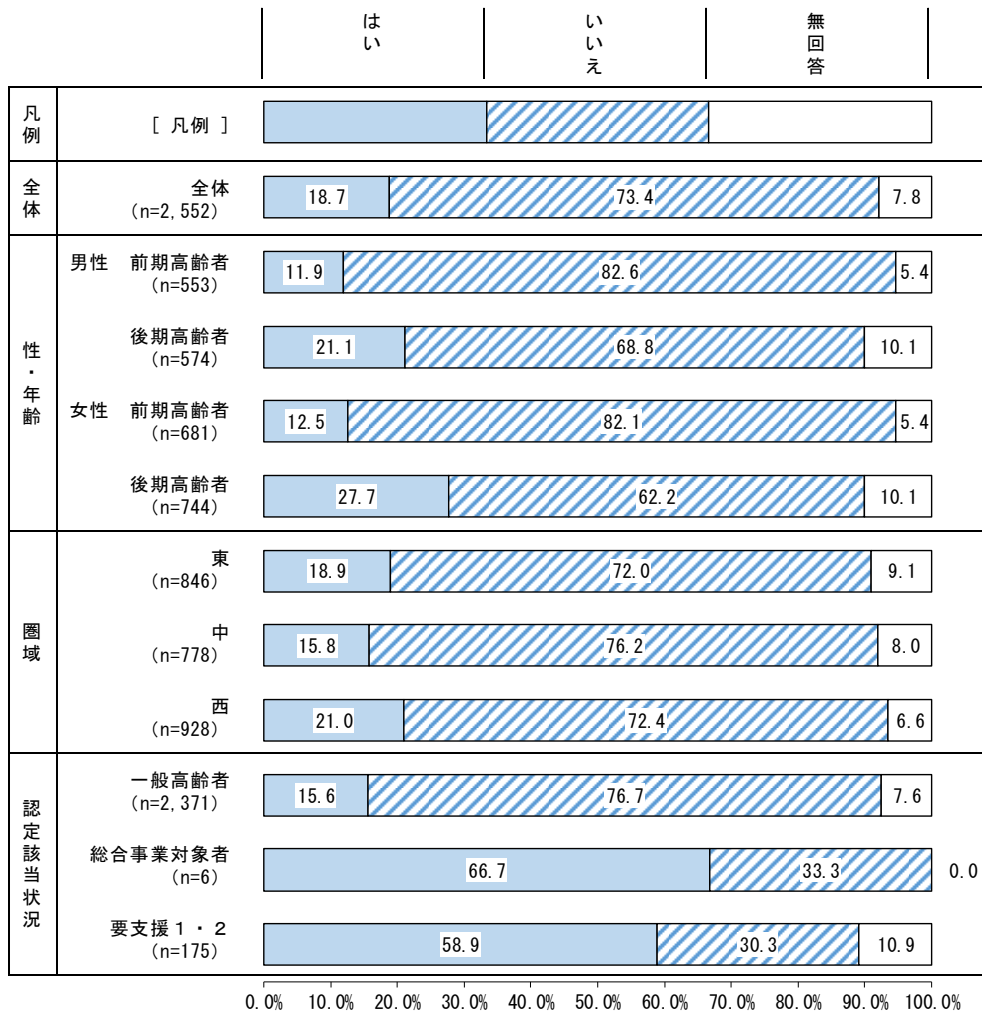
【身近な医療の専門家】



●問7.10 健康上の問題により、日常生活に影響が出ていることはありますか。(1つに○)

【全体】
○ 健康上の問題による、日常生活への影響について、「はい」が18.7%、「いいえ」が73.4%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は中が15.8%と他の圏域に比べてやや少なくなっています。

【健康上の問題による、日常生活への影響】

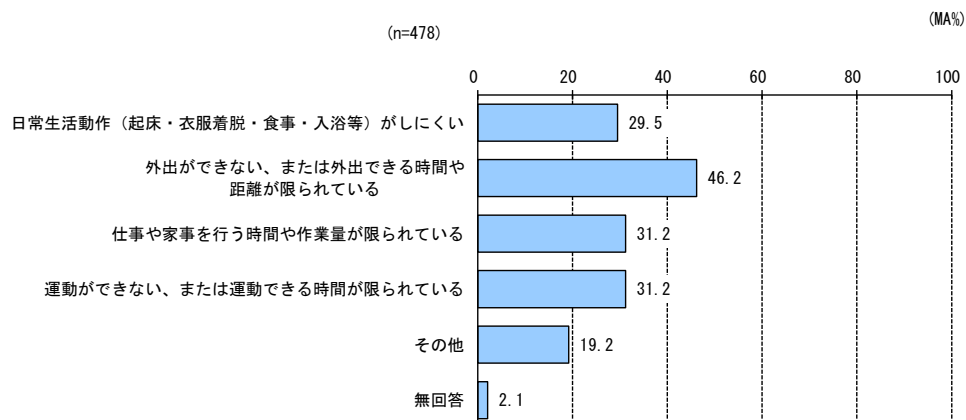


●問7.10-1 どのような影響がありましたか。(いくつでも)

【全体】

- どのような影響があったかについて、「外出ができない、または外出できる時間や距離が限られている」が 46.2%で最も多く、次いで「仕事や家事を行う時間や作業量が限られている」「運動ができない、または運動できる時間が限られている」が 31.2%、「日常生活動作（起床・衣服着脱・食事・入浴等）がしにくい」が 29.5%となっています。

【どのような影響があったか】



9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

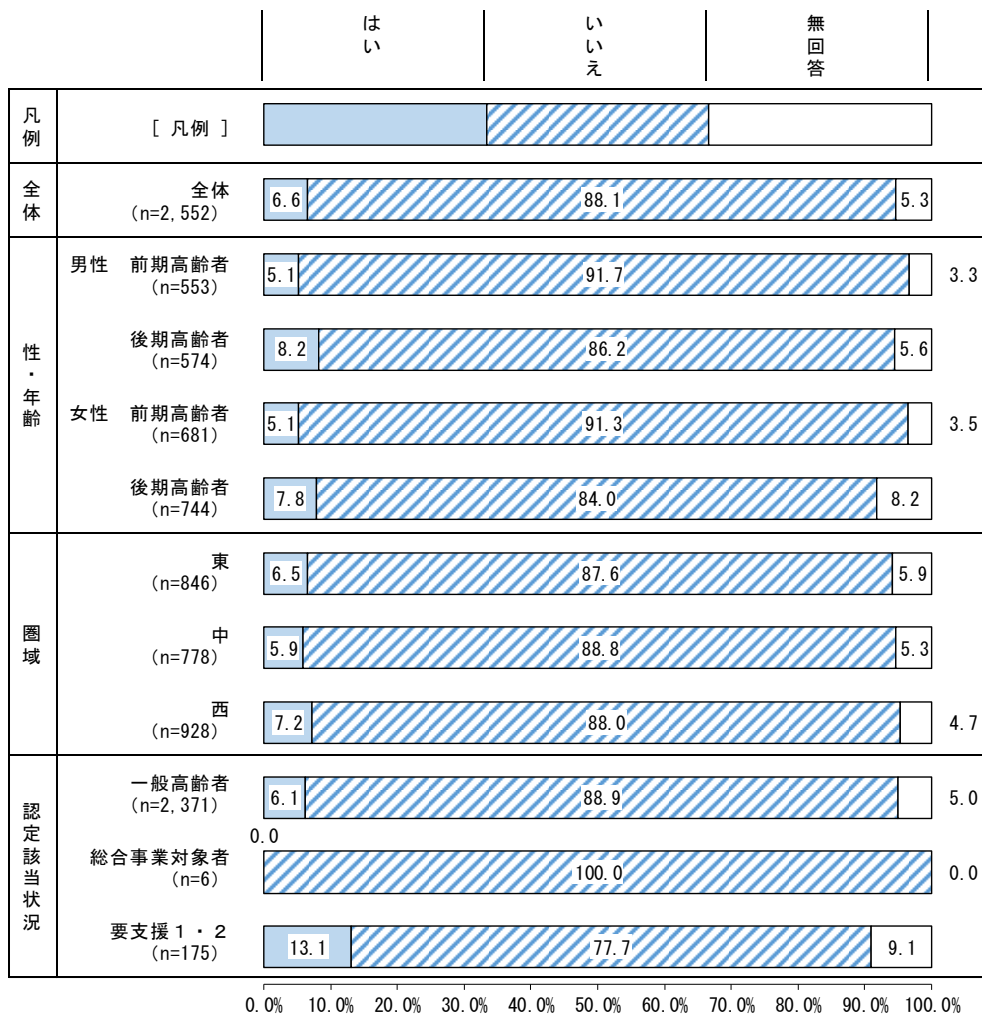
(1) 認知症の症状の有無

●問8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

【全体】

○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が 6.6%、「いいえ」が 88.1%となっています。

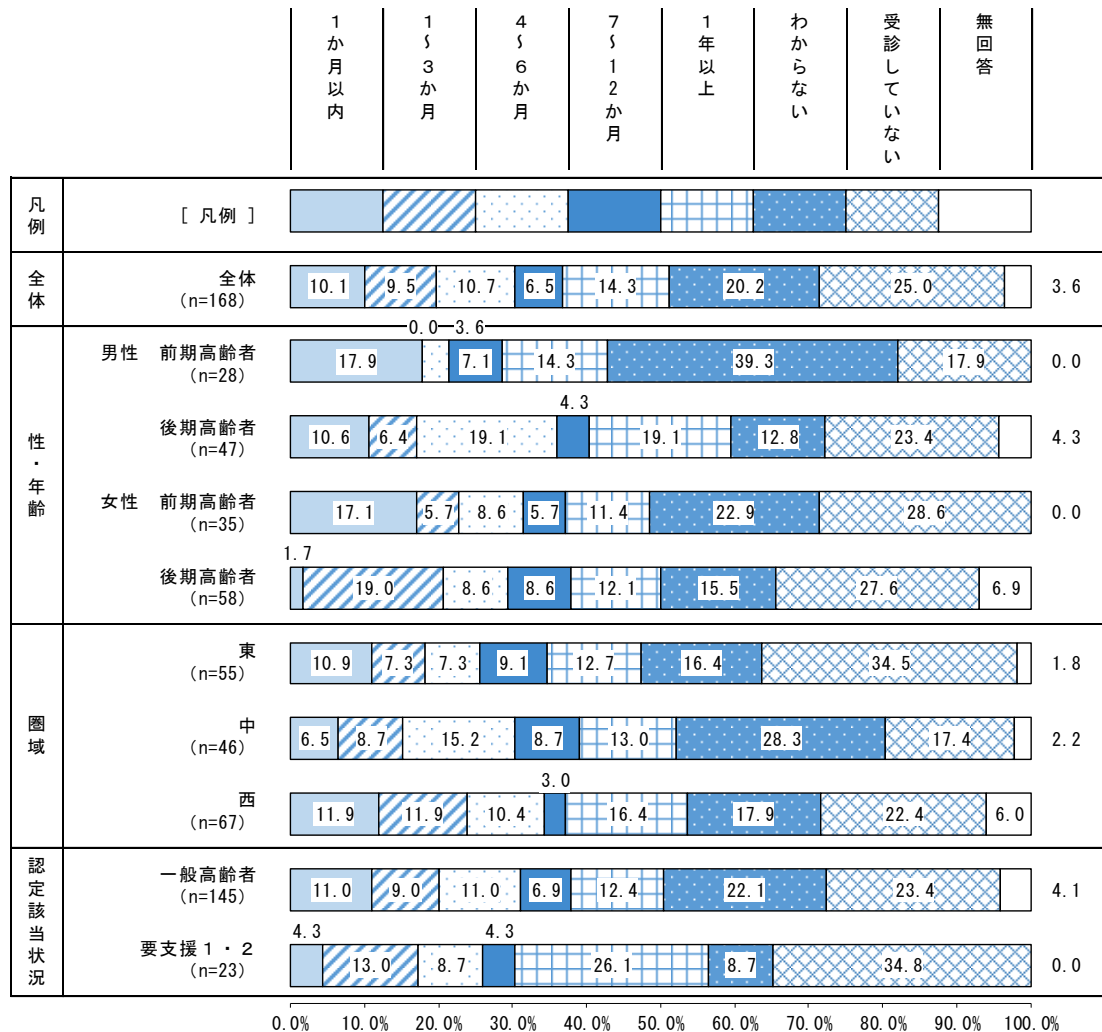
【自身や家族の認知症の症状有無】



- 問8.1-1 症状が現れてから、受診するまでどれくらいの期間がかかりましたか。
(1つに○)

【全体】	
○	受診するまでの期間について、「受診していない」が25.0%で最も多く、次いで「わからない」が20.2%、「1年以上」が14.3%となっています。
【性・年齢】	
○	受診するまでに1か月以上かかった割合をみると、男性 後期高齢者では48.9%、女性 後期高齢者では48.3%となっています。

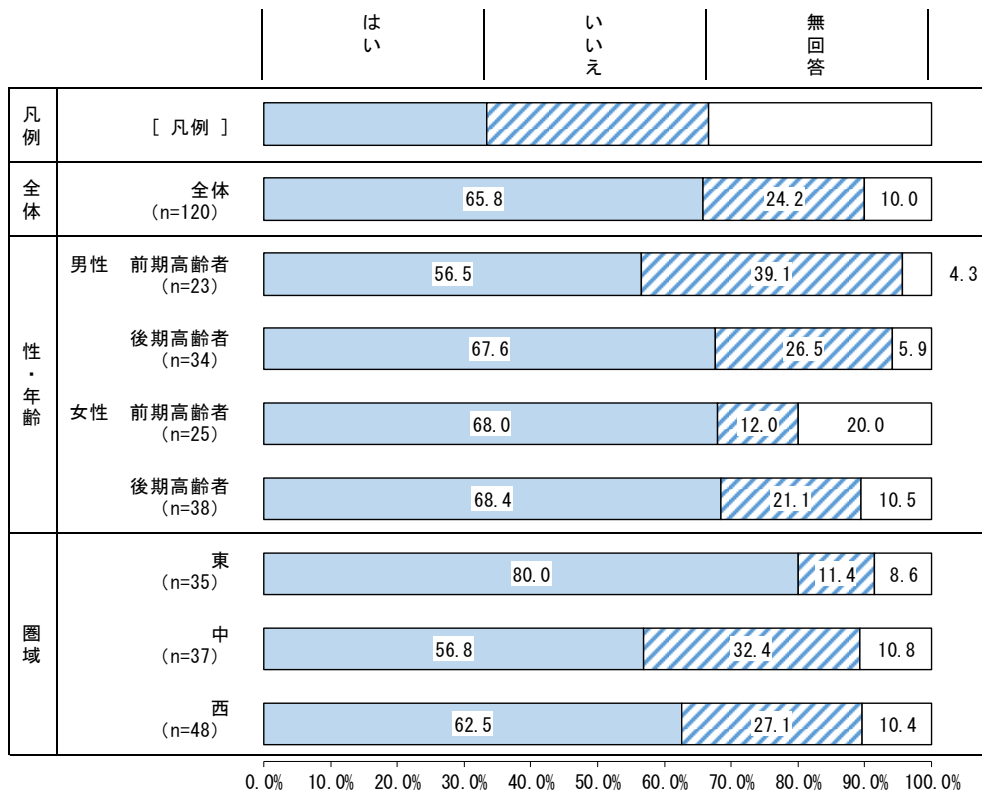
【受診するまでの期間】



●問8. 1-1-1 認知症の診断を受けていますか。(1つに○)

【全体】
○ 認知症の診断について、「はい」が65.8%、「いいえ」が24.2%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は男性 前期高齢者が56.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
【圏域】
○ 「はい」は東が80.0%と他の圏域に比べて多くなっています。

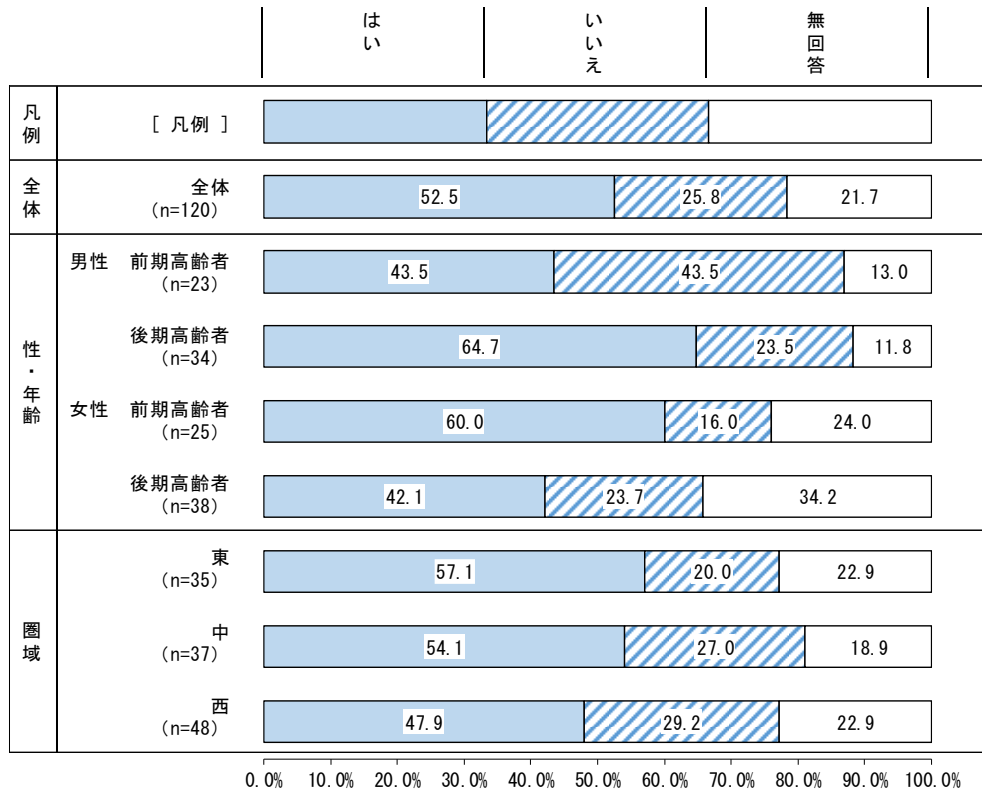
【認知症の診断】



●問8.1-1-2 治療を受けていますか。(1つに○)

【全体】
○ 認知症の治療について、「はい」が52.5%、「いいえ」が25.8%となっています。

【認知症の治療】

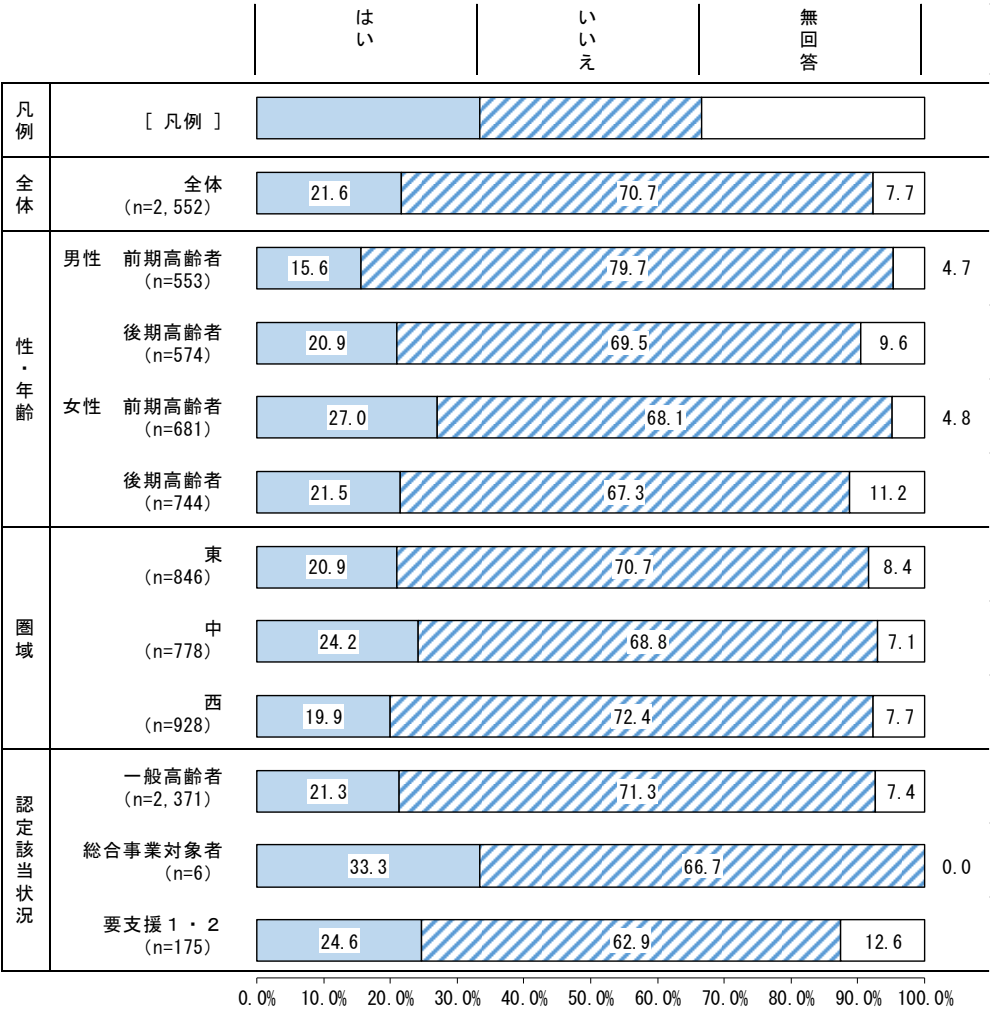


(2) 認知症の相談窓口の周知状況

●問8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

【全体】	
○	認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が21.6%、「いいえ」が70.7%となっています。
【性・年齢】	
○	「いいえ」は男性 前期高齢者が79.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】	
○	「はい」は中が24.2%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



●問8.2-1 知っている相談窓口は何がありますか。(いくつでも)

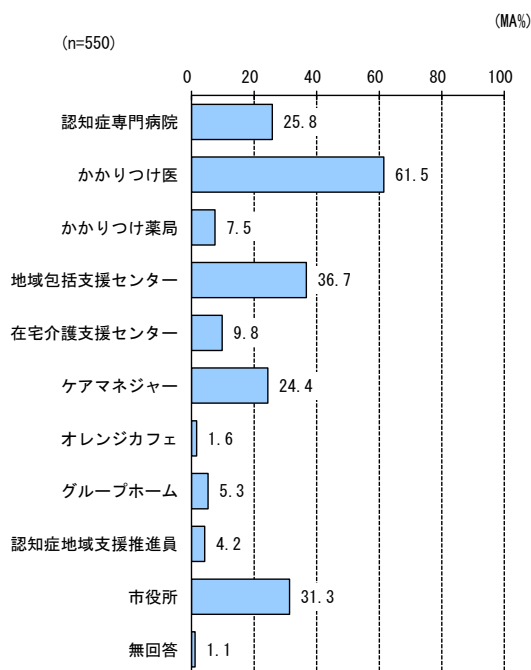
【全体】

- 知っている相談窓口について、「かかりつけ医」が61.5%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が36.7%、「市役所」が31.3%となっています。

【圏域】

- 「かかりつけ医」は中が55.9%と他の圏域に比べてやや少なくなっています。
 ○ 「地域包括支援センター」は中が39.9%と他の圏域に比べてやや多くなっています。
 ○ 「ケアマネジャー」は西が21.1%と他の圏域に比べてやや少なくなっています。

【知っている相談窓口】



単位：%

		母数 (n)	知っている相談窓口											単位：%
			認知症専門病院	かかりつけ医	かかりつけ薬局	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	ケアマネジャー	オレンジカフェ	グループホーム	認知症地域支援推進員	市役所	無回答	
全体		550	25.8	61.5	7.5	36.7	9.8	24.4	1.6	5.3	4.2	31.3	1.1	
圏域	東	177	27.1	62.1	7.9	34.5	11.9	25.4	1.7	6.8	4.0	31.1	1.1	
	中	188	24.5	55.9	6.4	39.9	9.6	26.6	2.1	5.9	4.3	35.6	1.1	
	西	185	25.9	66.5	8.1	35.7	8.1	21.1	1.1	3.2	4.3	27.0	1.1	

●問8.3 認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。(1つに○)

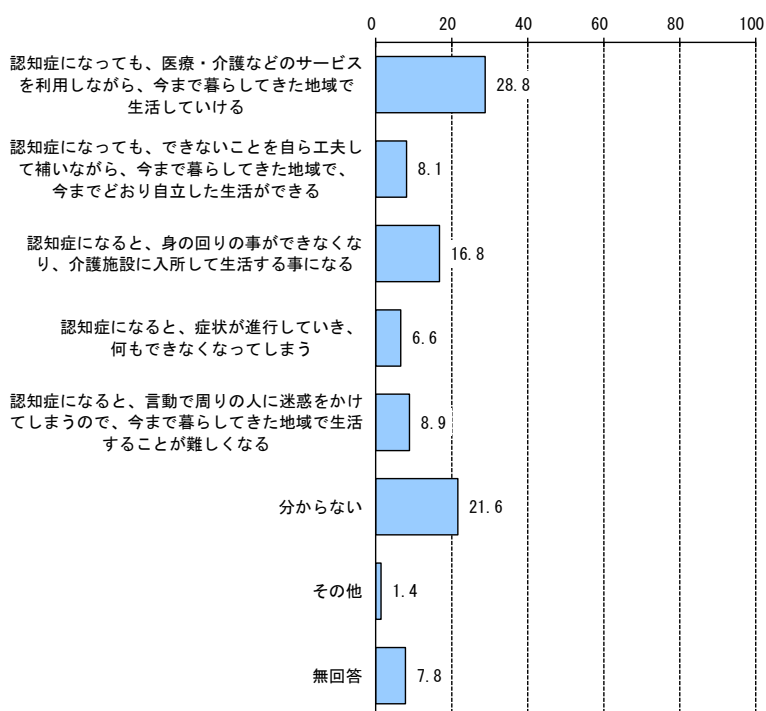
【全体】

- 認知症に対するイメージについて、「認知症になっても、医療・介護などのサービスを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 28.8%で最も多く、次いで「分からない」が 21.6%、「認知症になると、身の回りの事ができなくなり、介護施設に入所して生活する事になる」が 16.8%となっています。

【認知症に対するイメージ】

(%)

(n=2, 552)



单位：%

単位：％

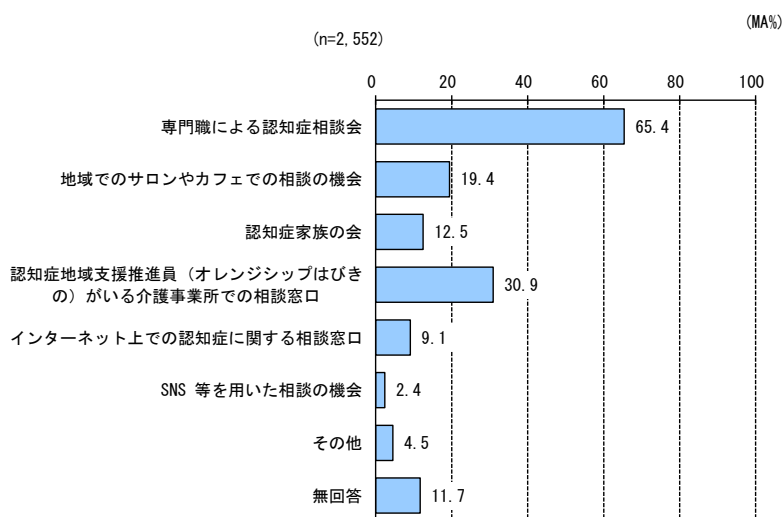
		母数 (n)	認知症に対するイメージ									
			今までも暮らしてきた地域で生活していける	認知症になっても、医療・介護などのサービスを利用しながら、地域で生活していける	工夫して補いながら、今までも暮らしてきた地域で、今までもおり自立した生活ができる	認知症になっても、できないことを自ら生活する事になる	認知症になると、身の回りの事ができなくなり、介護施設に入所して生活する事になる	認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう	地域で生活することが難しくなる	認知症になると、言動で周りの人に迷惑をかけてしまうので、今までも暮らしてきた	分からない	その他
性・年齢	全体	2,552	28.8	8.1	16.8	6.6	8.9	21.6	1.4	7.8		
	男性 前期高齢者	553	22.2	10.8	20.6	6.7	8.7	25.3	2.0	3.6		
	後期高齢者	574	26.5	10.3	14.6	6.1	7.3	24.0	1.2	9.9		
	女性 前期高齢者	681	37.3	5.7	16.7	6.6	11.6	15.9	1.5	4.7		
	後期高齢者	744	27.7	6.6	15.9	7.0	7.8	22.0	1.1	12.0		
圏域	東	846	28.0	8.2	17.5	7.4	9.6	20.6	1.1	7.7		
	中	778	28.5	9.1	14.9	7.2	8.4	21.6	1.9	8.4		
	西	928	29.7	7.2	17.9	5.4	8.7	22.4	1.3	7.3		

- 問8.4 認知症について、地域にどのようなものがあれば相談しやすいと感じますか。
(いくつでも)

【全体】

- 認知症について相談するために必要なものについて、「専門職による認知症相談会」が65.4%で最も多く、次いで「認知症地域支援推進員（オレンジシップはびきの）がいる介護事業所での相談窓口」が30.9%、「地域でのサロンやカフェでの相談の機会」が19.4%となっています。

【認知症について相談するために必要な機関や窓口】



単位：％

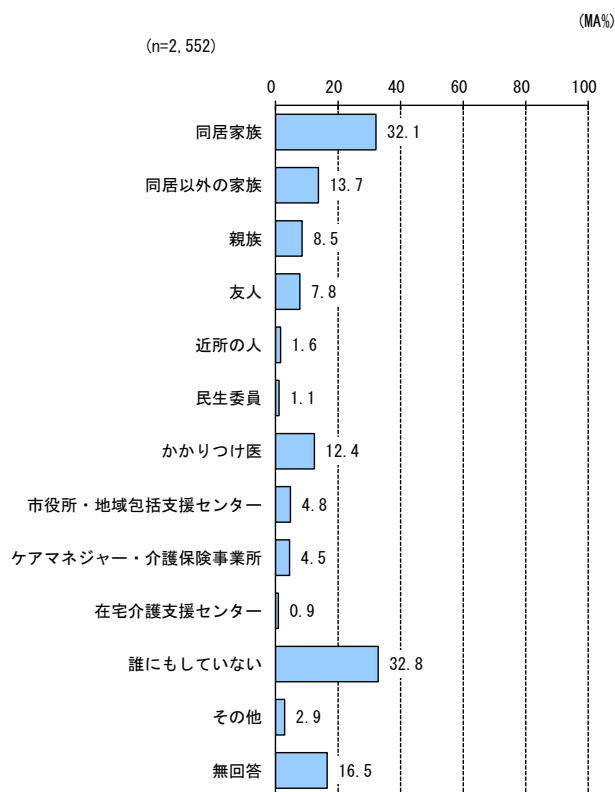
		母数 (n)	認知症について相談するために必要なもの							
			専門職による認知症相談会	地域でのサロンやカフェでの相談の機会	認知症家族の会	介護事業所での相談窓口 (オレンジシップはびきの) がある	認知症に関する相談窓口	S N S 等を用いた相談の機会	その他	無回答
全体		2,552	65.4	19.4	12.5	30.9	9.1	2.4	4.5	11.7
圏域	東	846	64.9	20.9	13.2	32.9	8.2	2.5	4.3	11.6
	中	778	65.7	19.0	14.5	31.5	10.0	2.7	5.1	10.4
	西	928	65.7	18.4	10.0	28.7	9.1	1.9	4.1	12.9

●問8.5 認知症の相談は誰にしていますか。(いくつでも)

【全体】

○ 認知症の相談は誰にしているかについて、「誰にもしていない」が32.8%で最も多く、次いで「同居家族」が32.1%、「同居以外の家族」が13.7%となっています。

【認知症の相談は誰にしているか】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「同居家族」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「誰にもしていない」が多くなっています。

【圏域】

- 「市役所・地域包括支援センター」は中が3.6%と他の圏域に比べてやや少なくなっています。

単位：％

		母数 (n)	認知症の相談は誰にしているか						
			同居家族	同居以外の家族	親族	友人	近所の人	民生委員	かかりつけ医
全体		2,552	32.1	13.7	8.5	7.8	1.6	1.1	12.4
性・年齢	男性 前期高齢者	553	36.9	8.3	10.3	5.6	0.9	0.4	10.8
	後期高齢者	574	38.9	13.8	8.4	5.1	0.5	1.6	15.7
	女性 前期高齢者	681	30.4	13.8	8.4	10.7	1.0	0.4	9.7
	後期高齢者	744	25.0	17.6	7.3	8.7	3.5	1.9	13.4
圏域	東	846	31.8	14.1	8.5	7.8	1.7	1.1	11.8
	中	778	31.9	13.5	7.5	7.3	1.9	1.2	11.3
	西	928	32.7	13.6	9.3	8.1	1.3	1.1	13.8
認定該当状況	一般高齢者	2,371	32.7	13.5	8.6	8.1	1.6	1.1	11.7
	総合事業対象者	6	△ 50.0	△ 33.3	16.7	-	-	-	16.7
	要支援 1・2	175	24.0	16.0	6.9	4.0	1.7	1.1	21.7

単位：％

		母数 (n)	認知症の相談は誰にしているか					
			市役所・地域包括支援センター	ケアマネジャー・介護保険事業所	在宅介護支援センター	誰にもしていない	その他	無回答
	全体	2,552	4.8	4.5	0.9	32.8	2.9	16.5
性・年齢	男性 前期高齢者	553	4.5	3.4	0.7	40.7	2.2	10.5
	後期高齢者	574	6.1	3.8	1.0	29.6	2.1	16.9
	女性 前期高齢者	681	5.0	5.9	1.2	32.6	4.6	17.2
	後期高齢者	744	3.8	4.4	0.7	29.4	2.4	20.2
圏域	東	846	5.7	4.5	1.2	34.2	2.8	13.9
	中	778	3.6	4.6	0.5	32.0	3.5	18.0
	西	928	5.0	4.3	1.0	32.1	2.4	17.7
認定該当状況	一般高齢者	2,371	4.7	3.5	0.8	33.6	3.0	16.2
	総合事業対象者	6	-	△ 16.7	-	33.3	-	-
	要支援 1・2	175	6.3	△ 16.6	2.9	▼ 21.7	1.7	21.7

●問8.6 羽曳野市における認知症の取り組みを知っていますか。(いくつでも)

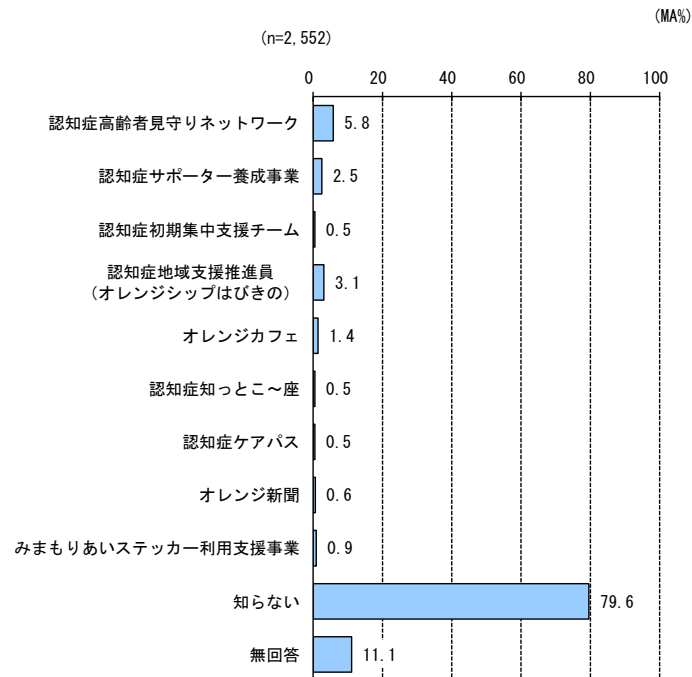
【全体】

- 認知症への取り組みを知っているかについて、「知らない」が 79.6%で最も多く、次いで「認知症高齢者見守りネットワーク」が 5.8%、「認知症地域支援推進員（オレンジシブはびきの）」が 3.1%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「知らない」が多くなっています。特に、男性では 90.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症への取り組みを知っているか】



単位：%

		母数 (n)	認知症への取り組みを知っているか										
			認知症高齢者見守りネットワーク	認知症サポーター養成事業	認知症初期集中支援チーム	認知症地域支援推進員 (オレンジシツプはびきの)	オレンジカフェ	認知症知つとこ座	認知症ケアパス	オレンジ新聞	利用 みまもりあいステッカー 支援事業	知らない	無回答
全体		2,552	5.8	2.5	0.5	3.1	1.4	0.5	0.5	0.6	0.9	79.6	11.1
性・年齢	男性 前期高齢者	553	3.4	1.1	0.2	2.0	0.2	0.4	0.2	0.4	0.7	90.1	4.5
	後期高齢者	574	5.6	1.0	0.5	3.8	0.5	-	0.2	0.3	0.7	78.0	13.1
	女性 前期高齢者	681	8.1	4.8	1.2	3.1	3.2	1.2	1.2	1.0	1.3	78.3	9.5
	後期高齢者	744	5.8	2.6	0.3	3.2	1.5	0.3	0.4	0.7	0.9	74.2	16.0
圏域	東	846	7.4	2.5	0.2	3.0	1.4	0.7	0.7	0.5	0.6	78.6	11.3
	中	778	5.3	2.4	0.8	4.0	1.4	0.3	0.3	0.6	1.0	79.9	10.2
	西	928	4.8	2.6	0.6	2.4	1.5	0.4	0.5	0.8	1.2	80.2	11.7

10. 高齢者の暮らしについて

- 問9.1 高齢者になっても自立した生活を送るために必要なことは何だと思いますか。
(2つに○)

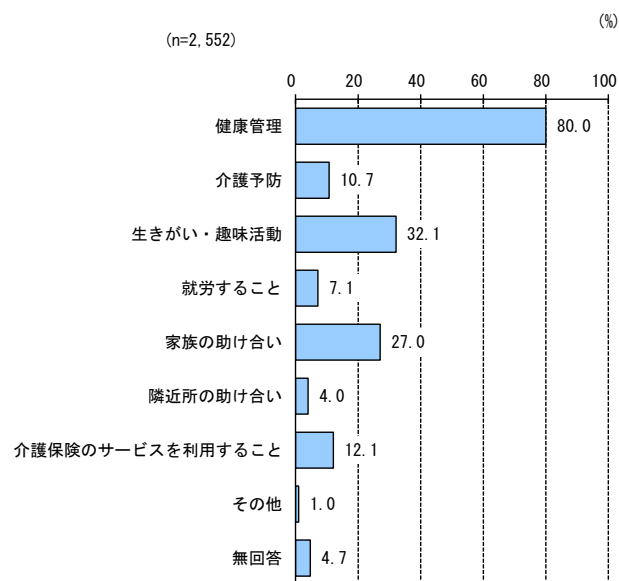
【全体】

- 自立した生活に必要なことについて、「健康管理」が 80.0%で最も多く、次いで「生きがい・趣味活動」が 32.1%、「家族の助け合い」が 27.0%となっています。

【性・年齢】

- 「介護予防」は女性 前期高齢者が 15.4%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 男性 後期高齢者では、「健康管理」が 81.5%で最も多く、次いで「家族の助け合い」が 31.7%、「生きがい・趣味活動」が 28.7%となっています。

【自立した生活に必要なこと】



単位：%

		母数 (n)	自立した生活に必要なこと									単位：%
			健康管理	介護予防	生きがい・趣味活動	就労すること	家族の助け合い	隣近所の助け合い	介護保険のサービスを利用すること	その他	無回答	
性・年齢	全体	2,552	80.0	10.7	32.1	7.1	27.0	4.0	12.1	1.0	4.7	
	男性 前期高齢者	553	79.0	6.9	34.0	16.3	24.8	2.7	9.8	1.8	3.6	
	後期高齢者	574	81.5	8.5	28.7	5.2	31.7	2.6	10.1	0.7	5.4	
	女性 前期高齢者	681	80.2	15.4	34.5	6.0	25.8	3.1	13.7	1.2	4.3	
	後期高齢者	744	79.3	10.8	30.9	2.6	26.2	6.9	14.1	0.4	5.2	
圏域	東	846	81.2	11.5	32.3	5.9	27.1	3.8	11.5	1.1	4.8	
	中	778	79.6	11.2	30.8	7.7	27.5	4.2	12.5	0.9	4.4	
	西	928	79.2	9.5	32.9	7.5	26.6	4.0	12.5	1.0	4.7	

●問9.2 現在、移動手段がなくて困っていますか。(1つに○)

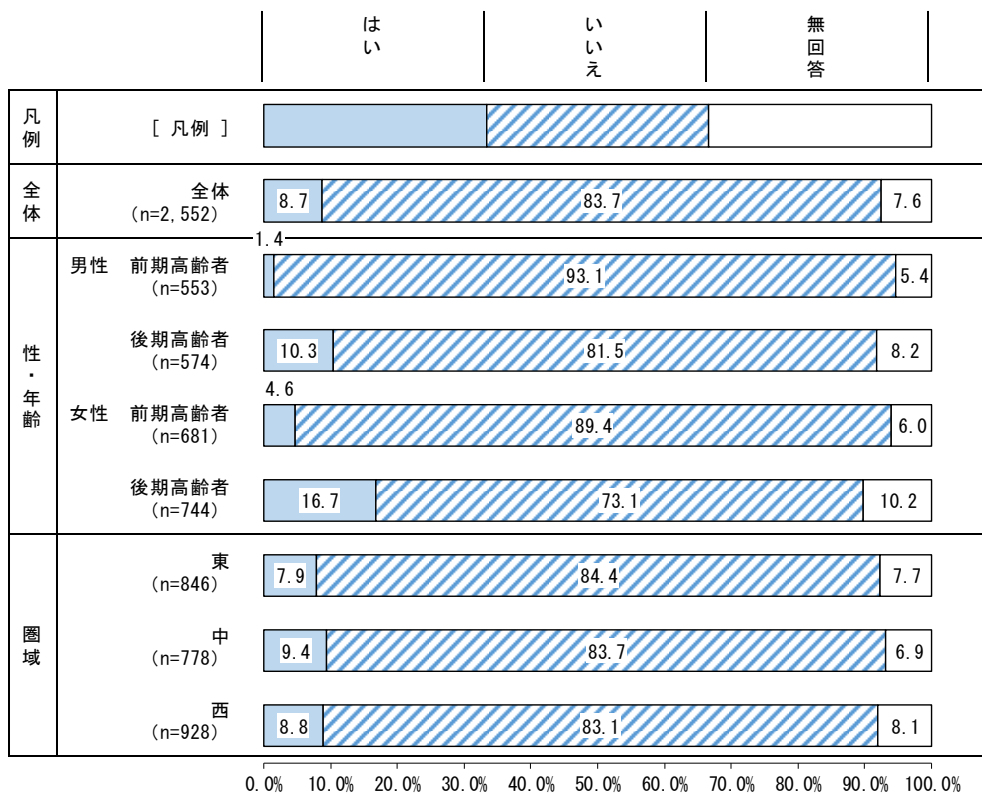
【全体】

○ 移動手段がなくて困っているかについて、「はい」が 8.7%、「いいえ」が 83.7%となっています。

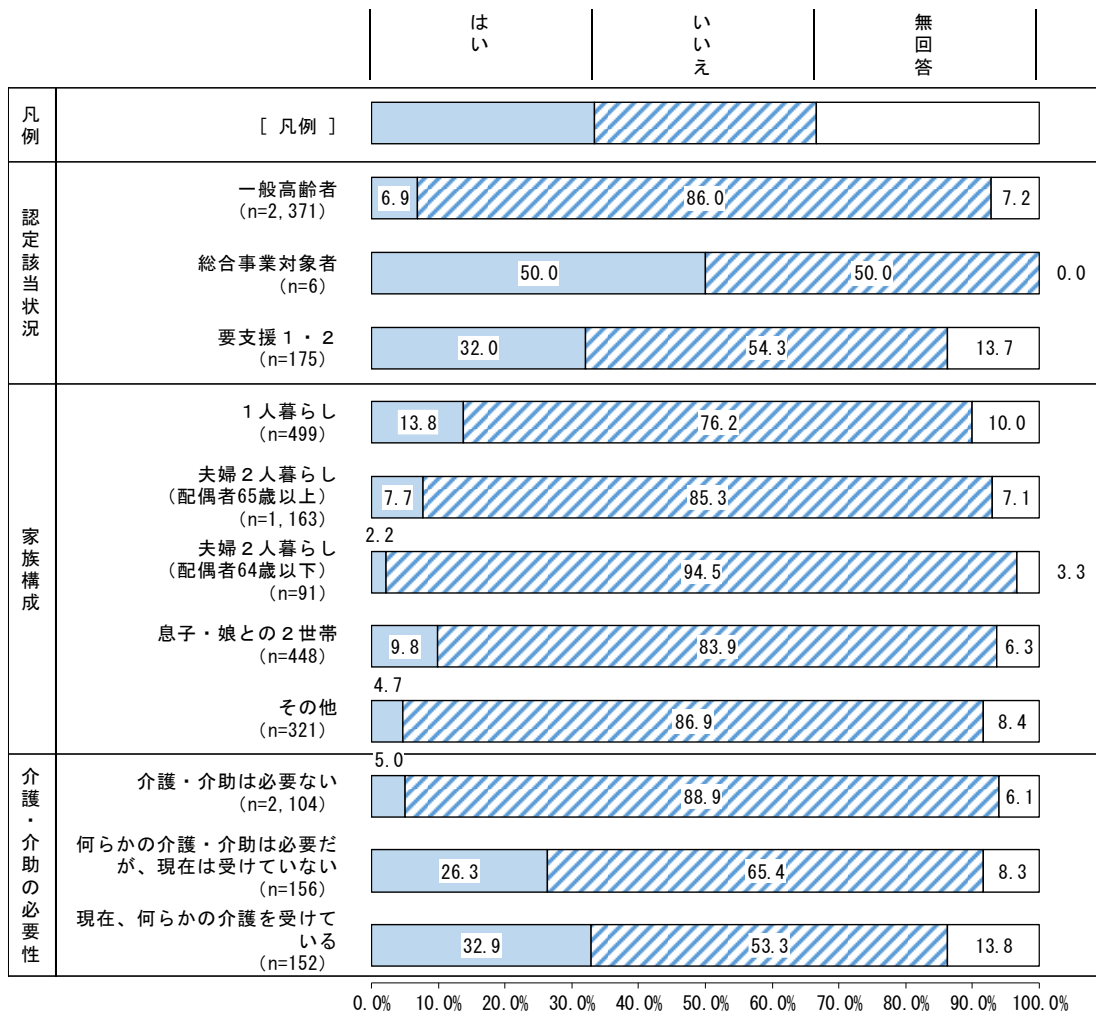
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

【移動手段がなくて困っているか】



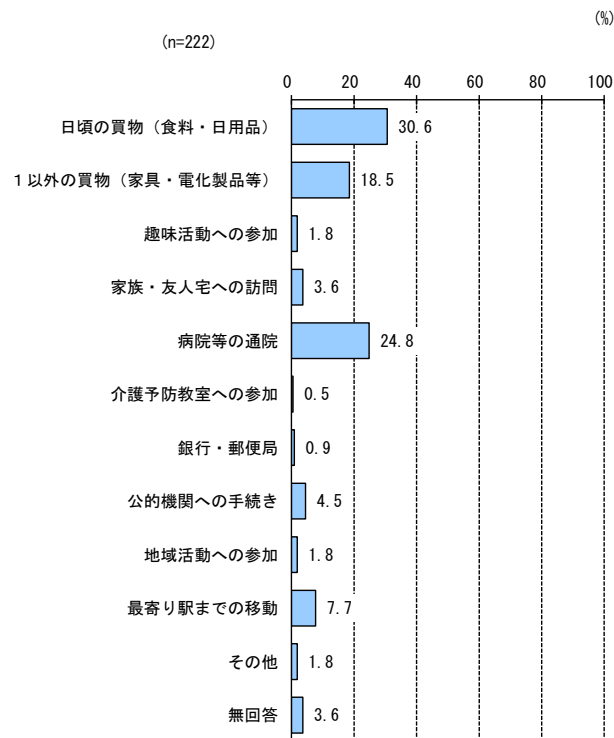
【家族構成】 ○ 「はい」は1人暮らしが13.8%と他の区分に比べて多くなっています。 【介護・介助の必要性】 ○ 介護・介助が必要な人ほど「はい」が多くなる傾向がみられます。
--



●問9.2-1 特に困っていることは何ですか。(1つに○)

【全体】	
○	特に困っていることについて、「日頃の買物（食料・日用品）」が 30.6%で最も多く、次いで「病院等の通院」が 24.8%、「1以外の買物（家具・電化製品等）」が 18.5%となっています。
【圏域】	
○	「日頃の買物（食料・日用品）」は西が 34.1%と他の圏域に比べて多くなっています。
○	「1以外の買物（家具・電化製品等）」は東が 23.9%と他の圏域に比べて多くなっています。
○	「病院等の通院」は中が 31.5%と他の圏域に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	要支援1・2では「日頃の買物（食料・日用品）」が 42.9%と多くなっています。

【特に困っていること】



単位：％

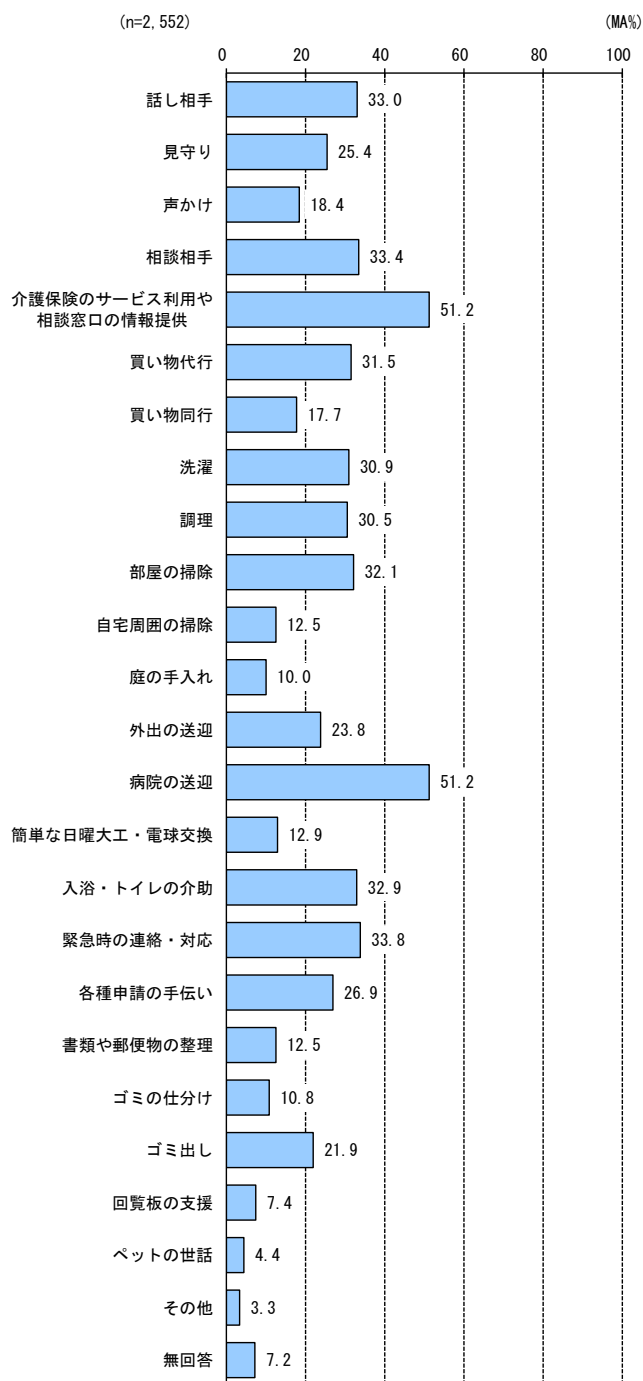
		母数 (n)	特に困っていること											
			日頃の買物 (食料・日用品)	1以外の買物 (家具・電化製品等)	趣味活動への参加	家族・友人宅への訪問	病院等の通院	介護予防教室への参加	銀行・郵便局	公的機関への手続き	地域活動への参加	最寄り駅までの移動	その他	無回答
全体		222	30.6	18.5	1.8	3.6	24.8	0.5	0.9	4.5	1.8	7.7	1.8	3.6
性・年齢	男性 前期高齢者	8	△ 50.0	△ 37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-
	後期高齢者	59	37.3	▼ 8.5	3.4	5.1	27.1	1.7	1.7	3.4	1.7	5.1	1.7	3.4
	女性 前期高齢者	31	29.0	△ 32.3	-	3.2	▼ 6.5	-	-	3.2	3.2	12.9	3.2	6.5
	後期高齢者	124	26.6	18.5	1.6	3.2	29.8	-	0.8	5.6	1.6	8.1	0.8	3.2
圏域	東	67	26.9	23.9	1.5	3.0	19.4	1.5	3.0	3.0	1.5	7.5	1.5	7.5
	中	73	30.1	13.7	4.1	2.7	31.5	-	-	5.5	1.4	6.8	2.7	1.4
	西	82	34.1	18.3	-	4.9	23.2	-	-	4.9	2.4	8.5	1.2	2.4
認定該当状況	一般高齢者	163	26.4	21.5	1.2	4.3	23.9	-	0.6	4.3	2.5	8.6	2.5	4.3
	総合事業対象者	3	33.3	-	-	-	-	△ 33.3	-	△ 33.3	-	-	-	-
	要支援1・2	56	△ 42.9	10.7	3.6	1.8	28.6	-	1.8	3.6	-	5.4	-	1.8

- 問9.3 もしあなたの要介護度が進み、介護が必要になった場合や、認知症の症状が出た場合、身体が不自由になったりした場合、あなたはどのような支援があればいいと思いますか。

【全体】

- 要介護時に必要な支援について、「介護保険のサービス利用や相談窓口の情報提供」「病院の送迎」が 51.2%で最も多く、次いで「緊急時の連絡・対応」が 33.8%、「相談相手」が 33.4%となっています。

【要介護時に必要な支援】



【性・年齢】

- 女性 前期高齢者では、「介護保険のサービス利用や相談窓口の情報提供」が60.5%で最も多く、次いで「病院の送迎」が57.0%、「緊急時の連絡・対応」が38.5%となっています。

単位：％

		母数 (n)	要介護時に必要な支援								
			話し相手	見守り	声かけ	相談相手	介護保険のサービス利用や 相談窓口の情報提供	買い物代行	買い物同行	洗濯	調理
全体		2,552	33.0	25.4	18.4	33.4	51.2	31.5	17.7	30.9	30.5
性・年齢	男性 前期高齢者	553	31.6	25.1	18.1	35.1	47.2	33.6	13.6	37.6	34.7
	後期高齢者	574	34.3	24.2	17.1	31.0	45.8	31.7	13.1	32.4	30.3
	女性 前期高齢者	681	30.5	29.1	20.9	35.8	60.5	34.8	23.1	31.4	33.8
	後期高齢者	744	35.3	23.1	17.3	31.9	49.9	26.6	19.4	24.2	24.5
圏域	東	846	34.4	26.4	19.0	35.9	50.5	31.9	18.0	32.2	31.6
	中	778	31.2	26.6	18.4	30.8	51.9	31.7	17.7	30.5	31.5
	西	928	33.3	23.5	17.8	33.3	51.3	30.8	17.3	30.1	28.7

単位：％

		母数 (n)	要介護時に必要な支援								
			部屋の掃除	自宅周囲の掃除	庭の手入れ	外出の送迎	病院の送迎	簡単な日曜大工・電球交換	入浴・トイレの介助	緊急時の連絡・対応	各種申請の手伝い
全体		2,552	32.1	12.5	10.0	23.8	51.2	12.9	32.9	33.8	26.9
性・年齢	男性 前期高齢者	553	33.5	13.6	8.0	24.4	49.4	11.6	39.8	36.3	29.8
	後期高齢者	574	30.1	12.0	10.1	22.5	47.7	11.7	31.7	31.7	25.8
	女性 前期高齢者	681	33.3	11.5	10.0	27.9	57.0	13.5	32.5	38.5	30.5
	後期高齢者	744	31.5	12.9	11.4	20.7	49.9	14.4	29.0	29.3	22.3
圏域	東	846	33.9	14.4	10.2	24.5	53.0	12.4	34.3	35.7	27.8
	中	778	31.5	13.6	11.3	23.3	50.9	12.9	33.8	34.7	26.2
	西	928	30.9	9.7	8.7	23.7	49.8	13.5	30.8	31.4	26.7

単位：％

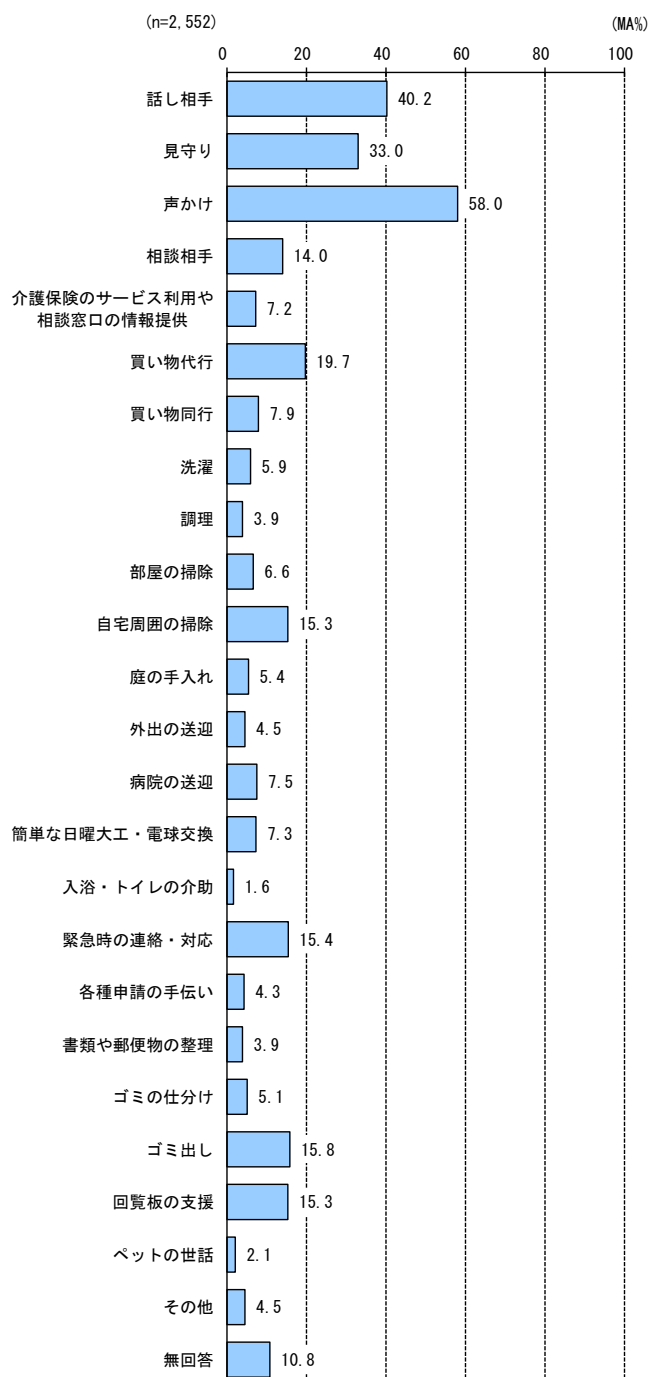
			要介護時に必要な支援							
			書類や郵便物の整理	ゴミの仕分け	ゴミ出し	回覧板の支援	ペットの世話	その他	無回答	
母数 (n)										
全体			2,552	12.5	10.8	21.9	7.4	4.4	3.3	7.2
性・年齢	男性	前期高齢者	553	13.9	14.8	26.9	9.0	6.3	5.4	4.5
		後期高齢者	574	12.2	11.0	20.9	8.4	2.1	2.4	9.2
	女性	前期高齢者	681	14.2	11.3	22.2	6.3	5.7	1.9	6.6
		後期高齢者	744	10.2	7.3	18.8	6.6	3.5	3.5	8.3
圏域	東		846	12.6	11.5	22.9	7.3	3.7	3.1	7.1
	中		778	12.9	11.6	22.8	7.8	5.1	3.9	6.7
	西		928	12.2	9.6	20.4	7.2	4.4	2.9	7.0

- 問9.4 あなたの近所に一人暮らしや認知症の高齢者、身体の不自由な方がおられた場合、あなたはどのような支援ならできると思いますか。(いくつでも)

【全体】

- 近所の支援が必要な人にしてあげられることについて、「声かけ」が58.0%で最も多く、次いで「話し相手」が40.2%、「見守り」が33.0%となっています。

【近所の支援が必要な人にしてあげられること】



【性・年齢】

- 男性 前期高齢者では、「声かけ」が 52.8%で最も多く、次いで「見守り」が 36.0%、「話し相手」が 29.3%となっています。
- 「話し相手」は女性 後期高齢者が 50.4%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	近所の支援が必要な人にしてあげられること								
			話し相手	見守り	声かけ	相談相手	介護保険のサービス利用や 相談窓口の情報提供	買い物代行	買い物同行	洗濯	調理
全体		2,552	40.2	33.0	58.0	14.0	7.2	19.7	7.9	5.9	3.9
性・年齢	男性 前期高齢者	553	▼ 29.3	36.0	52.8	13.7	6.7	17.2	6.7	4.0	3.3
	後期高齢者	574	34.3	32.8	55.7	12.0	6.3	12.5	6.1	3.7	1.4
	女性 前期高齢者	681	43.0	38.8	64.8	15.6	9.5	△ 30.7	10.4	7.9	6.2
	後期高齢者	744	△ 50.4	25.5	57.5	14.4	6.0	17.1	7.8	7.3	4.2
圏域	東	846	40.0	31.1	57.9	16.5	7.2	18.2	7.4	5.0	3.3
	中	778	41.5	35.1	58.0	13.9	8.0	22.1	8.9	7.2	4.8
	西	928	39.4	32.9	58.2	11.9	6.5	19.1	7.4	5.7	3.7

単位：％

		母数 (n)	近所の支援が必要な人にしてあげられること								
			部屋の掃除	自宅周囲の掃除	庭の手入れ	外出の送迎	病院の送迎	簡単な日曜大工・電球交換	入浴・トイレの介助	緊急時の連絡・対応	各種申請の手伝い
全体		2,552	6.6	15.3	5.4	4.5	7.5	7.3	1.6	15.4	4.3
性・年齢	男性 前期高齢者	553	5.1	16.5	7.2	8.0	12.8	16.3	1.4	21.2	6.1
	後期高齢者	574	5.1	15.0	7.7	4.9	8.0	13.9	1.9	17.1	5.1
	女性 前期高齢者	681	8.8	17.2	4.1	4.0	7.3	1.8	1.5	15.6	4.3
	後期高齢者	744	6.9	12.9	3.5	2.3	3.2	0.5	1.5	9.5	2.4
圏域	東	846	4.8	15.2	4.1	4.4	7.1	6.4	0.9	15.2	4.6
	中	778	8.7	15.8	6.4	4.8	7.2	8.5	1.9	17.1	5.1
	西	928	6.4	14.9	5.7	4.5	8.1	7.1	1.8	14.0	3.3

単位：％

			近所の支援が必要な人にしてあげられること							
			書類や郵便物の整理	ゴミの仕分け	ゴミ出し	回覧板の支援	ペットの世話	その他	無回答	
母数 (n)										
全体			2,552	3.9	5.1	15.8	15.3	2.1	4.5	10.8
性・年齢	男性	前期高齢者	553	4.0	4.0	15.2	14.8	3.1	6.3	9.8
		後期高齢者	574	3.8	4.2	11.8	14.8	1.6	4.5	12.5
	女性	前期高齢者	681	5.1	6.3	18.8	17.0	3.1	2.8	7.9
		後期高齢者	744	2.8	5.6	16.4	14.5	0.9	4.8	12.9
圏域	東		846	3.2	4.5	15.8	14.7	1.4	5.0	11.1
	中		778	4.8	6.0	17.1	17.5	2.3	4.1	10.5
	西		928	3.9	5.0	14.5	14.1	2.6	4.5	10.0

- 問9.5 もしあなたの要介護度が進み、介護が必要になった場合や、身体が不自由になったりした場合、これからの生活をどのようにして送りたいと思いますか。
(1つに○)

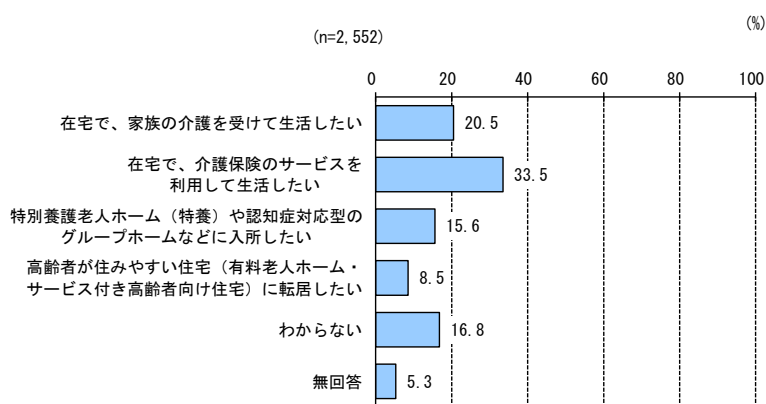
【全体】

- 要介護度が進行したあとにどのような生活を送りたいかについて、「在宅で、介護保険のサービスを利用して生活したい」が 33.5%で最も多く、次いで「在宅で、家族の介護を受けて生活したい」が 20.5%、「わからない」が 16.8%となっています。在宅で、介護保険のサービスを利用して生活したい」「在宅で、家族の介護を受けて生活したい」を合わせた“在宅で生活したい”は 54.0%となっています。

【性・年齢】

- 男性 後期高齢者では、「在宅で、家族の介護を受けて生活したい」が 33.6%と他の区分に比べて多くなっています。一方で、女性 前期高齢者では 11.3%と少なくなっています。

【要介護度が進行したあとにどのような生活を送りたいか】



単位：%

単位：％

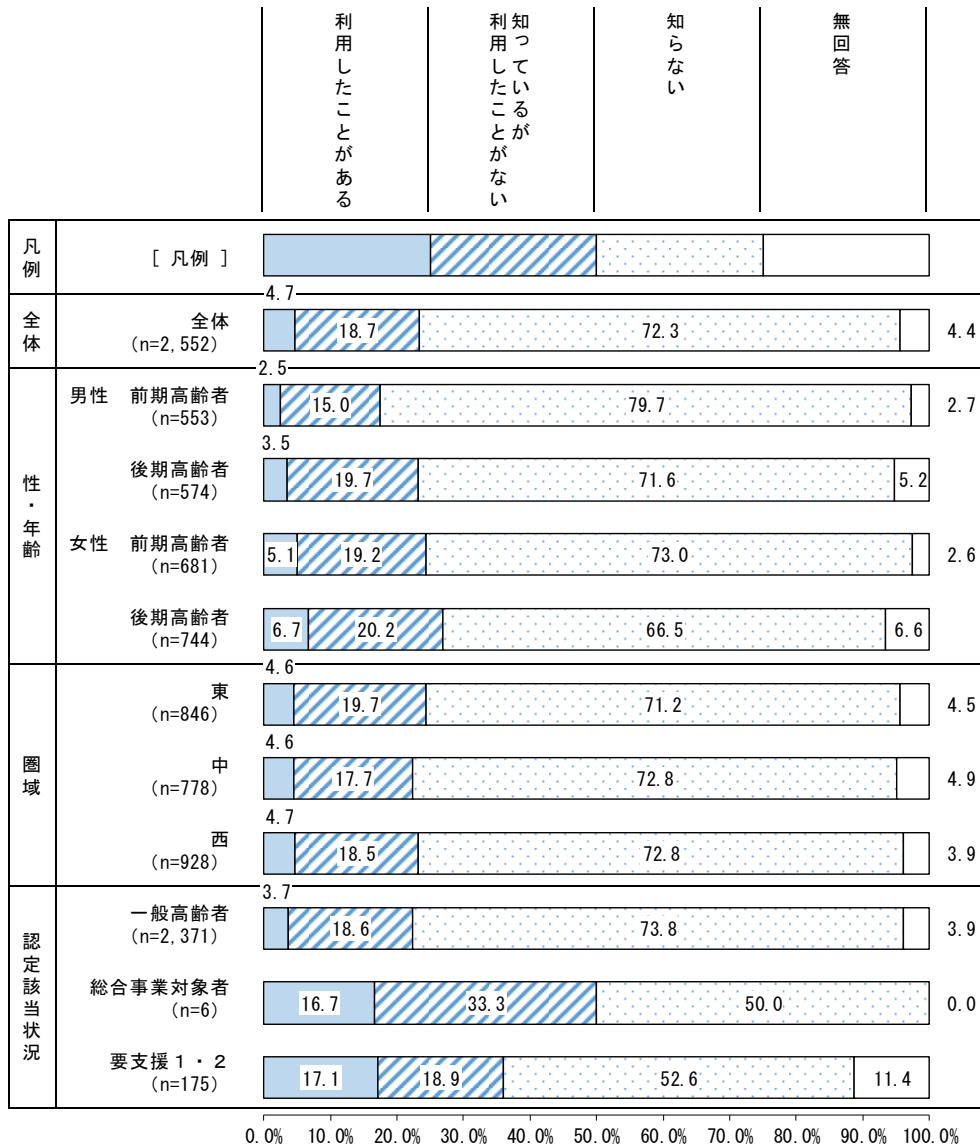
		母数 (n)	要介護度が進行したあとに どのような生活を送りたいか					
			在宅で、 家族の介護を受けて生活したい	在宅で、 介護保険のサービスを 利用して生活したい	入所したい 認知症対応型のグループホームなどに	特別養護老人ホーム（特養）や サービス付き高齢者向け住宅）に転居したい・	高齢者が住みやすい住宅（有料老人ホーム・	わからない
全体		2,552	20.5	33.5	15.6	8.5	16.8	5.3
性・年齢	男性 前期高齢者	553	22.2	30.2	16.3	9.2	19.0	3.1
	後期高齢者	574	△ 33.6	28.9	13.1	5.7	12.4	6.3
	女性 前期高齢者	681	11.3	35.2	18.9	10.9	19.5	4.1
	後期高齢者	744	17.3	37.8	13.8	7.8	16.0	7.3
圏域	東	846	21.6	31.1	15.8	8.7	17.3	5.4
	中	778	20.2	35.7	14.4	8.9	16.3	4.5
	西	928	19.6	33.7	16.3	7.9	16.7	5.8
認定該当状況	一般高齢者	2,371	20.3	33.6	15.5	8.6	17.1	4.9
	総合事業対象者	6	16.7	33.3	△ 33.3	16.7	—	—
	要支援 1・2	175	22.3	31.4	16.0	6.9	13.1	10.3

- 問9.6 あなたがお住まいの地域の在宅介護支援センターを利用したことがありますか。
(1つに○)

【全体】

○在宅介護支援センターの利用有無について、「知らない」が72.3%で最も多く、次いで「知っているが利用したことがない」が18.7%、「利用したことがある」が4.7%となっています。

【在宅介護支援センターの利用有無】



●問9.7 市からの行政情報などは、どのように入手していますか。(いくつでも)

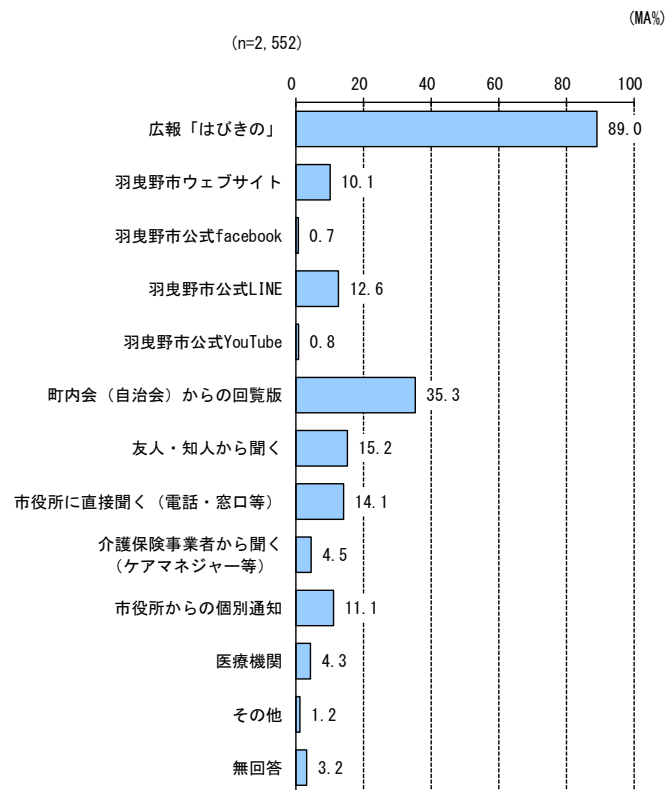
【全体】

- 行政情報の入手先について、「広報「はびきの」」が 89.0%で最も多く、次いで「町内会（自治会）からの回覧版」が 35.3%、「友人・知人から聞く」が 15.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「羽曳野市ウェブサイト」「羽曳野市公式LINE」が多くなっています。

【行政情報の入手先】



単位：%

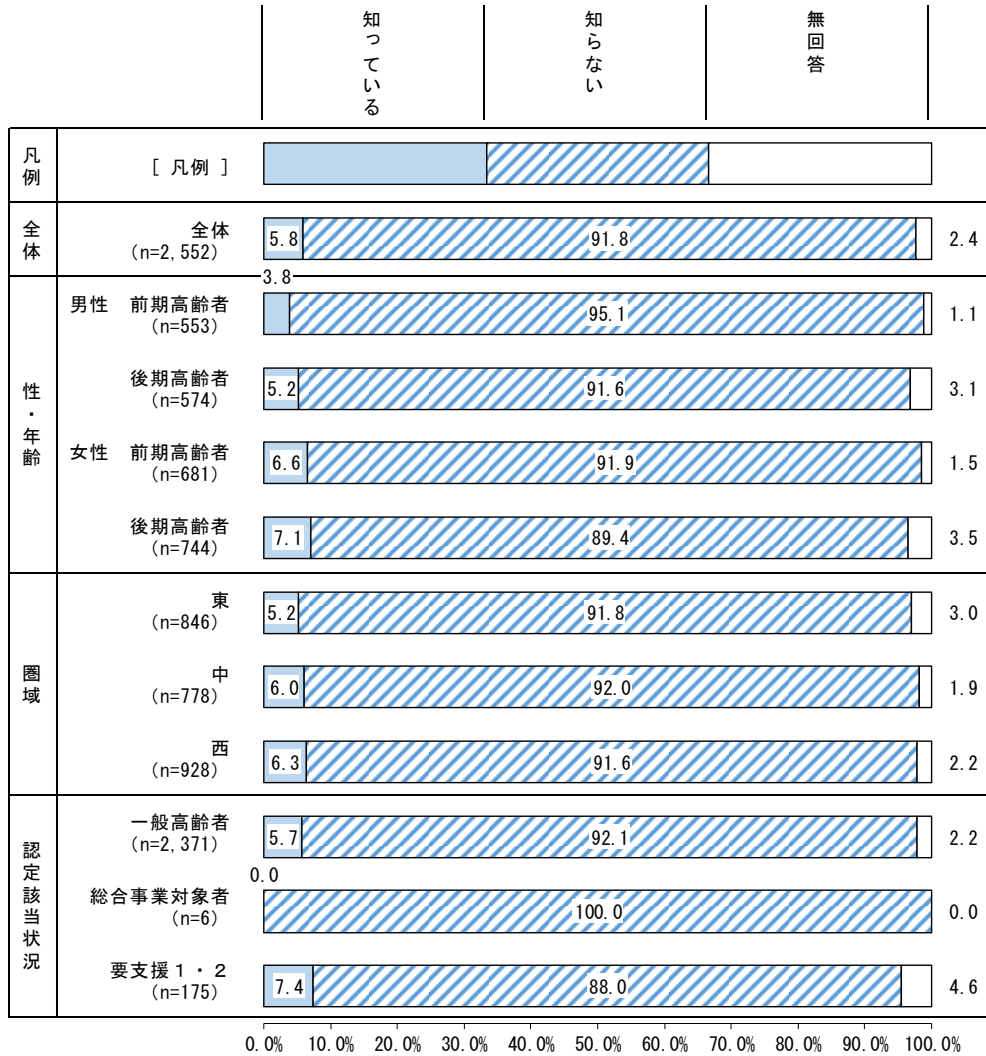
		母数 (n)	行政情報の入手先													単位：%
			広報「はびきの」	羽曳野市ウェブサイト	羽曳野市公式facebook	羽曳野市公式LINE	羽曳野市公式YouTube	町内会（自治会）からの回覧版	友人・知人から聞く	市役所に直接聞く（電話・窓口等）	介護保険事業者から聞く（ケアマネジャー等）	市役所からの個別通知	医療機関	その他	無回答	
全体		2,552	89.0	10.1	0.7	12.6	0.8	35.3	15.2	14.1	4.5	11.1	4.3	1.2	3.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	87.9	19.5	0.9	17.9	1.3	31.3	8.1	13.7	2.9	13.4	2.7	0.9	2.0	
	後期高齢者	574	90.1	5.6	0.9	6.1	0.7	40.8	12.2	15.5	5.1	12.2	6.4	0.7	3.5	
	女性 前期高齢者	681	91.0	13.7	0.6	21.3	0.7	31.9	17.9	14.2	3.5	11.0	3.2	1.0	2.3	
	後期高齢者	744	87.1	3.2	0.4	5.6	0.7	37.1	20.3	13.0	6.3	8.6	4.7	1.9	4.6	
圏域	東	846	89.5	11.1	0.5	12.4	1.1	35.3	15.1	12.6	4.7	11.7	3.4	1.1	3.5	
	中	778	89.5	11.2	0.9	13.6	0.8	36.6	16.6	16.8	5.0	10.3	4.1	1.3	2.7	
	西	928	88.1	8.2	0.6	11.9	0.6	34.1	14.1	13.0	4.0	11.2	5.2	1.2	3.2	
認定該当状況	一般高齢者	2,371	89.8	10.6	0.7	13.3	0.8	36.1	15.2	14.3	2.7	11.3	4.2	1.1	2.9	
	総合事業対象者	6	▼ 50.0	16.7	-	-	-	-	-	16.7	△ 33.3	-	-	-	16.7	
	要支援1・2	175	79.4	2.9	0.6	3.4	0.6	25.7	16.0	11.4	△ 29.1	8.6	5.1	1.7	6.9	

●問9.8 あなたは、生活支援コーディネーターを知っていますか。(1つに○)

【全体】

○ 生活支援コーディネーターの認知度について、「知っている」が 5.8%、「知らない」が 91.8%となっています。

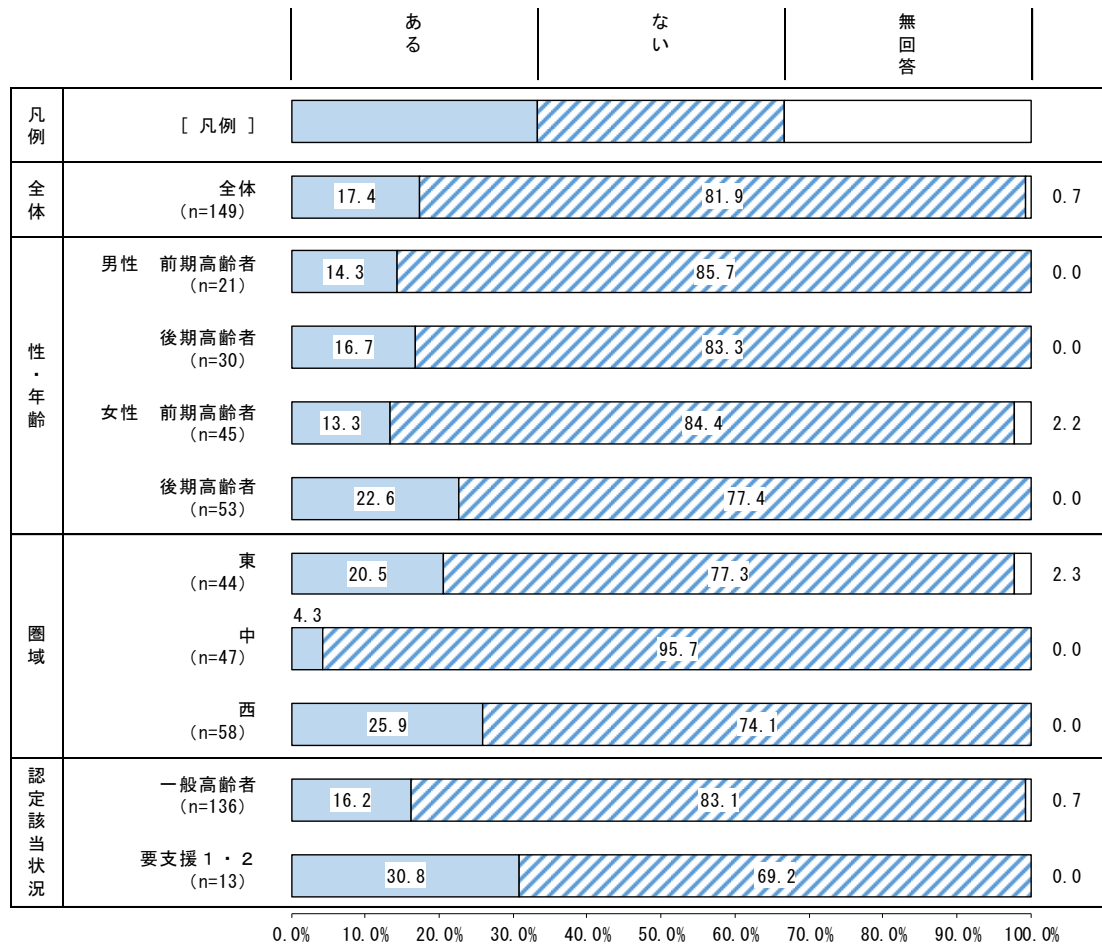
【生活支援コーディネーターの認知度】



●問9.8-1 生活支援コーディネーターに相談をしたことはありますか。(1つに○)

【全体】
○ 生活支援コーディネーターとの相談有無について、「ある」が17.4%、「ない」が81.9%となっています。
【圏域】
○ 「ある」は中が4.3%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【生活支援コーディネーターとの相談有無】



11. 調査結果のまとめ

(1) 回答者の属性・住まいの状況等

回答者の属性について、男性が 1,127 人、女性が 1,425 人と女性のほうが多く、前期高齢者が 1,234 人、後期高齢者が 1,318 人となっています。また、回答者の圏域については、東圏域は 33.2%、中圏域は 30.5%、西圏域は 36.4%となっています。

家族構成について、1人暮らしが 19.6%、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）が 45.6%となっており、合わせて 65.2%が高齢者のみの世帯となっています。女性の後期高齢者の 33.6%が1人暮らしをしており、また、要支援1・2の認定を受けた方で1人暮らしの方は、42.9%と高くなっています。

現在の暮らしについて、3割以上（「大変苦しい」が 9.1%、「やや苦しい」が 27.7%）が経済的に苦しいと回答しています。

(2) 介護の状況

介護・介助が必要になった原因について、高齢による衰弱、骨折・転倒、関節の病気で5割を超えており、筋力低下を防止することや、生活機能向上のための取り組みが必要と考えられます。その他、生活習慣病に起因する疾病もみられるため、外出のきっかけであり身体機能・認知症予防等の効果が期待される通いの場において、介護予防と保健事業を合わせた取り組みを進めることが重要です。圏域を比較すると要介護状態になった原因については、東圏域では呼吸器の病気や脳卒中、中圏域では糖尿病、西圏域では関節の病気や骨折・転倒が多くなっています。それぞれの地域で実施する通いの場において、参加する高齢者の状態像に応じた内容にすることが必要となります。

要介護度が進み、介護が必要になった場合や身体が不自由になった場合に希望する生活について、在宅で介護を受けて生活を送りたいと考えている人は 54.0%となっていますが、身近な相談窓口として在宅介護支援センター等を知らない方の割合が高く、今後増加が見込まれる、家族介護者への支援や、在宅生活する上での多様なニーズに対応するために、身近な相談窓口の周知を図る必要があります。

(3) 運動・外出について

運動器機能の低下をみると、リスク該当者の割合は全体で 16.5%となっていますが、女性後期高齢者では 28.6%と特に多くなっています。また、「15 分位続けて歩いているか」の質問に対し、15.5%の方が「できるけどしていない」と回答しており、「過去1年に転んだ経験のある人」は 34.1%となっています。これらの人には転倒予防をはじめとする介護予防への意識づけが必要と考えられるため、リハビリの専門職を自宅に派遣する事業を進め、介護予防自主グループの活動を支援していきます。

外出の状況については、週1回以上外出する人が 92.4%（前回：92.1%）で前回調査時と同程度となっています。「昨年と比べ外出が減っている」や、「外出を控えている」割合が4割弱あり、理由について「足腰などの痛み」が 36.8%と多くなっています。次いで「外での楽しみがない」や「トイレの心配」などがあり、足腰の痛み軽減に努めながら、外出に楽しみが持てることが大切となってきます。また、「その他(自由記述)」が 46.7%となっており、その回答のうち 87.6%が新型コロナウイルス感染症に関する理由となっています。

(4) 口腔・栄養について

咀嚼機能、嚥下機能等の口腔機能低下のリスクをみると、加齢に伴い機能の低下がみられます。多くの人が歯磨きや入れ歯の手入れを日々行っていますが、自分の歯が20本以上ある人は、前期高齢者では半数以上であるのに対し、後期高齢者では約4割に留まっています。定期的な口腔チェックや口腔ケアを行うことで、口腔機能の維持・栄養状態の改善のほか、肺炎や認知症の予防にもつながるとされていることから、これらの周知と習慣付けを行うことが必要です。

誰かと食事をともにする機会について、加齢に伴い減少する傾向がみられます。通いの場等を通じて誰かと食事を楽しむことで、栄養状態の維持・改善や閉じこもりの予防につながると考えられます。

(5) 日常生活について

IADL の状況をみると、バスや電車を使った1人での外出や食品・日用品の買い物、食事の用意、金銭管理等について、「できるけどしていない」と回答している人は1～2割程度みられ、この層での IADL 低下リスクに留意する必要があります。

バスや電車を使った1人での外出について「できるし、している」と答えた方は、75.4%でしたが、移動手段に困っている人は8.7%おり、各圏域とも、特に「食料・日用品の買物」「病院等の通院」「食料・日用品以外（家具・電化製品等）の買物」の時と答える方が多くいました。中圏域では「病院等の通院」、西圏域では「食料・日用品の買物」、東圏域では「食料・日用品以外（家具・電化製品等）の買物」について困っている方が、他の圏域より多くなっています。

「趣味あり」は66.3%（前回：67.4%）、「生きがいあり」は52.2%（前回：54.3%）となっており、前回調査時よりもわずかに減少しています。また、「趣味・生きがいあり」と回答している人は、中圏域でやや多くなっています。高齢者になっても自立した生活を送るために必要なことについて、「生きがい・趣味活動」と回答した人が32.1%となっており、高齢者の自立した生活を支えるため、生きがい・趣味活動の支援も重要です。

新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響をみると、「外出の機会が減った」が80.1%と最も多くなっており、運動機能の低下や閉じこもりのリスクの要因になっている可能性があります。また、「人が集まるところに行かなくなった」「家族・友人と会う機会が減った」も多くなっており、地域のつながりの希薄化につながる可能性があります。

趣味・生きがいを見つけられるような地域の取り組みを推進するとともに、感染症に留意した集いの場を設けることで、地域のつながりを保つ取り組みが必要となります。

(6) 社会参加について

地域活動について、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、町内会・自治会に参加している人が2割以上と比較的多くなっています。また、収入のある仕事をしている人は24.4%と前回調査時の18.4%よりも多くなっています。趣味・スポーツ関係のグループや、町内会・自治会、収入のある仕事などへの参加を通じて地域の人との関わりの場を持ち、これを地域づくり活動に展開していくよう取り組む必要があります。また、はびきのウェルネス、高年生きがいサロン、いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場については、参加している人が全体で1割未満となっています。特に、男性前期高齢者の「参加していない」の割合が91.1%と多くなっており、通いの場の周知に加えて、元気なうちから介護予防に取り組むことの重要性を啓発する必要があります。圏域を比較すると、週1回以上通いの場に参加している割合は、東圏域で6.4%、中圏域で7.7%、西圏域で6.6%となっており、どの圏域においても参加しやすい介護予防の場づくりが必要です。

地域づくり活動について、参加者として参加可能である人（「既に参加している」「是非参加したい」「参加してもよい」の和）は53.0%（前回：53.6%）、お世話役として参加可能である人は28.2%（前回：30.7%）となっています。性・年齢をみると、女性前期高齢者では参加者として参加意向がある人（「是非参加したい」と「参加してもよい」の和）が5割以上と多くなっています。圏域を比較すると、参加者・お世話役ともに参加可能である人は中圏域が多くなっています。

まずは参加者として活動に参加する人を増やし、地域での活動を活発にするとともに、地域づくり活動の担い手となる人材育成を支援し、住民主体の地域づくり活動に繋げていく必要があります。

(7) 健康について

自身の健康状態をよいと感じている人（「とてもよい」と「まあよい」の和）は76.8%となっています。

普段の健康管理について、「定期的に医療機関を受診している」人が半数以上、「毎年、健診を受けている」が4割以上と、定期的な健康管理ができている人が多くみられます。また、身近な医療の専門家について、かかりつけ医がいる人が85.1%、かかりつけ歯科医がいる人が74.5%、かかりつけ薬局がある人が57.8%となっています。

健康上の問題により、日常生活に影響が出ている人は18.7%おり、男女ともに後期高齢者で多くなっています。また、こころの健康ではうつリスク該当者が45.3%となっています。気分が沈んだりゆううつな気持ちになる事を軽減するために、外出する機会や人と交流する機会を増やす為の通いの場の整備等環境づくりが重要となります。

(8) 認知症について

認知症について、自身や家族に症状がある人は 6.6%となっています。このうち受診するまでに1か月以上かかった割合は全体で 41.0%となっており、後期高齢者では男女ともに約5割と多くなっています。また、認知症に関する相談窓口を知っている人は約2割となっています。相談窓口で知っている場所について、「かかりつけ医」が 61.5%（前回：51.2%）、「認知症専門病院」が 25.8%（前回：19.4%）と前回調査時に比べて多くなっています。加えて、認知症相談をする機会や窓口について、「専門職による認知症相談会」や「認知症地域支援推進員がいる介護事業所での相談窓口」が多くなっていることから、専門職との相談の機会へのニーズが高いことが考えられます。圏域を比較すると、圏域ごとの差はなく、「かかりつけ医」が多く、次いで「地域包括支援センター」となっています。羽曳野市における認知症の取り組みを知らない人は 79.6%と多くなっており、認知症の症状が現れる前に、正しい知識や理解をもっておくために、取り組みの更なる周知が必要です。

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」をめざし、認知症バリアフリーの地域づくりを進めるにあたり、認知症の症状の有無にかかわらず、まずは地域で認知症の相談窓口が周知されることが重要であり、認知症に対する正しい知識と理解を深める必要があると考えられます。